

平成 27 年度

F D 活 動 報 告 書

駒澤大学 F D 推進委員会

目 次

1. 委員会	1
(1) F D 推進委員会	
(2) F D 推進委員会小委員会	
(3) ワーキング・グループ	
2. 研修会	1 1
3. 公開授業	1 3
4. 学生による授業アンケート	2 4
(1) 「学生による授業アンケート」の概要	
(2) 授業アンケート質問項目	
(3) 項目別平均値	
(4) 受講生の講義への取り組み	
(5) 授業についての評価	
5. 総評	1 1 5
6. F D NEWSLETTER の発行	1 1 7
○F D NEWSLETTER 第 43 号	平成 27 年 6 月 30 日発行
○F D NEWSLETTER 第 44 号	平成 27 年 9 月 30 日発行
○F D NEWSLETTER 第 45 号	平成 27 年 12 月 15 日発行
○F D NEWSLETTER 第 46 号	平成 28 年 3 月 15 日発行

【付録資料】

- 駒澤大学 F D 推進委員会規程
- 平成 27 年度 駒澤大学 F D 推進委員会委員名簿
- 平成 27 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿
- 平成 27 年度 駒澤大学 F D 推進部会委員名簿

1. 委員会

(1) FD推進委員会

○第1回

日 程 平成27年4月24日（金）

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成27年度新規採用教員オリエンテーションについて
 - (2) 平成27（2015）年度学生による授業アンケート（前期）について
 - (3) その他
 2. 審議事項
 - (1) 駒澤大学FD推進委員会規程改正（案）について
 - (2) FD推進委員会小委員会委員長及び副委員長の選出について
 - (3) 平成27年度FD推進委員会活動年間日程について
 - (4) 平成27年度FD活動計画について
 - (5) その他

○第2回（臨時）

日 程 平成27年6月4日（木）

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) その他
 2. 審議事項
 - (1) 教学に関する施策体系の具体化並びに中期事業計画の策定について
 - (2) その他
 3. その他

○第3回（臨時）

日 程 平成27年7月22日（水）

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 学生による授業アンケートについて
 - (2) その他
 2. 審議事項
 - (1) 教学に関する施策体系の具体化並びに中期事業計画の策定について
（継続）
 - (2) その他
 3. その他

○第4回

日 程 平成27年11月5日（木）

議 題

1. 報告事項

- (1) 平成28年度入学者への入学前教育について
- (2) 2015（平成27）年度「学生による授業アンケート」（後期）について
- (3) 平成27年度「公開授業」の実施について
- (4) 平成27年度「FD研修会」について
- (5) 授業アンケート等のFD活動のシラバス記入について
- (6) アクティブ・ラーニング（外部連携）調査について
- (7) 学修成果を測るための外部業者テストについて
- (8) その他

2. 審議事項

- (1) 駒澤大学FD推進委員会小委員会に関する内規改正（案）について
- (2) 「駒澤大学 FD Circle」について
- (3) FD活動の視聴覚教育環境設備の整備への反映について
- (4) その他

3. その他

○第5回

日 程 平成28年3月10日（木）

議 題

1. 報告事項

- (1) 2015（平成27）年度「学生による授業アンケート」（後期）について
- (2) 平成27年度「公開授業」の実施について
- (3) 平成27年度「FD研修会」の実施について
- (4) 平成27年度『FD活動報告書』の発行について
- (5) 平成28年度「学生による授業アンケート」の実施期間について
- (6) 平成28年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
- (7) 学修成果を測るための外部業者テストについて
- (8) その他

2. 審議事項

- (1) 平成28年度「学生による授業アンケート」の質問項目について
- (2) 駒澤大学FD Award（案）について
 - ①FD憲章について
 - ②学生FDサポーターについて

- ③FD Award (案) について
- (3) その他
- 3. その他

(2) FD推進委員会小委員会

○第1回

- 日 程 平成27年4月24日(金)
- 議 題 1. 報告事項
- 2. 審議事項
 - (1) 平成27年度『FD NEWSLETTER』の編集委員について
 - (2) FD推進委員会小委員会のワーキング・グループ設置について
 - (3) 平成27年度FD活動計画について
 - (4) その他
- 3. その他

○第2回

- 日 程 平成27年6月4日(木)
- 議 題 1. 報告事項
 - (1) FD推進委員会小委員会のワーキング・グループについて
 - (2) 平成27年度『FD NEWSLETTER』第43号の発行について
 - (3) 平成28年度各種入学試験合格者への入学前教育の実施について
 - (4) 「学生による授業アンケート」の実施依頼について
 - (5) その他
- 2. 審議事項
 - (1) 公開授業の実施方法等について
 - (2) 教学に関する施策体系の具体化並びに中期事業計画の策定について
 - (3) その他
- 3. その他

○第3回(臨時)

- 日 程 平成27年6月26日(金)
- 議 題 1. 報告事項
- 2. 審議事項
 - (1) 学生による授業アンケートについて

- (2) 教学に関する施策体系の具体化並びに中期事業計画の策定について
- (3) その他
- 3. その他

○第4回

日 程 平成27年7月28日(火)

議 題

- 1. 報告事項
 - (1) 平成27年度『FD NEWSLETTER』第44号について
 - (2) その他
- 2. 審議事項
 - (1) 駒澤大学FD推進委員会小委員会に関する内規改正(案)について
 - (2) 新しい教育方法に関するWGについて
 - ①FD活動の視聴覚教育環境設備の整備への反映について
 - (3) 教育の質保証に関するWGについて
 - ①「学生による授業アンケート」結果のフィードバックについて
 - ②授業アンケート等のFD活動のシラバス記入について
 - (4) 「駒澤大学FD Circle」モデルについて
 - (5) その他
- 3. その他

○第5回

日 程 平成27年10月2日(金)

議 題

- 1. 報告事項
 - (1) 入学前教育について
 - (2) 平成27年度「学生による授業アンケート」について
 - (3) 「情報教育ICT戦略会議」出張報告について
 - (4) その他
- 2. 審議事項
 - (1) 「駒澤大学FD Circle」について(継続)
 - (2) 授業アンケート等のFD活動のシラバス記入について(継続)
 - (3) FD活動の視聴覚教育環境設備の整備への反映について(継続)
 - (4) 「駒澤大学教学に関する施策体系」に係る中期事業計画書(案)について
 - (5) 公開授業の実施方法等について
 - (6) アクティブ・ラーニング(外部連携)調査について
 - (7) 学修成果を測るための外部業者テストについて

- (8) その他
- 3. その他

○第6回

日 程 平成28年1月27日(水)

議 題

- 1. 報告事項
 - (1) 平成27年度「学生による授業アンケート」(後期)について
 - (2) 公開授業について
 - (3) FD研修会について
 - (4) 学修成果を測るための外部業者テストについて
 - (5) その他
- 2. 審議事項
 - (1) 130周年記念棟における視聴覚教育環境設備の具体的要望書の提出について
 - (2) 平成28年度「学生による授業アンケート」について
 - (3) 私立大学等改革総合支援事業について
 - (4) その他
- 3. その他

○第7回

日 程 平成28年2月16日(火)

議 題

- 1. 報告事項
 - (1) 平成27年度FD NEWSLETTER第46号の発行について
 - (2) FD研修会について
 - (3) 平成28年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
 - (4) その他
- 2. 審議事項
 - (1) 平成28年度「学生による授業アンケート」について(継続)
 - (2) FD Award(案)について
 - (3) その他
- 3. その他

○第8回(臨時)

日 程 平成28年3月10日(木)

- 1. 報告事項
- 2. 審議事項

- (1) 平成28年度「学生による授業アンケート」について（継続）
 - (2) FD Award（案）について（継続）
 - ①FD憲章について
 - ②学生FDサポーターについて
 - ③FD Award（案）について
 - (3) 駒澤大学としてのアクティブ・ラーニングの定義（案）について
 - (4) その他
3. その他

(3) ワーキング・グループ（WG）

① 新しい教育方法に関するワーキング・グループ

本WGは、前年度の「活動報告」を指針に、本学におけるアクティブ・ラーニング（以下、AL）の活性化につながるようなFD研修会の開催を主な目標とした。

5月にはFD研修会の開催日を翌年2月1日と決め、7月には本学の教員二人に講師を依頼し、基調講演の講師（学外）も決めた。9月のWGには本学教員二人にも来てもらい、ALの実践例を交流した。ここには、「ALの定義」を策定する以前に、学内で多様な実践例を交流した方がよいというWGの考えがあった。

また、ICTを活用したALの実例をFD委員が学ぶため、ICTを日常的に利用してAL型授業に取り組んでいる都内の小学校の視察、さらにALに向けたICT機器を諸大学に納入している商社のショールームの視察を行ない（11月6日）、報告書を出した。

さらに「学外組織と連携したアクティブ・ラーニングの実施状況」のアンケート調査を11月に行ない、24件の回答をいただき、学外組織と連携したALでも学内に多様な実践例があることを明らかにした。

2月1日のFD研修会には140人の教員が参加し、全教員の半数近く、去年の三倍近くの参加となり、研修内容も好評だった。多くの皆様のご協力に感謝したい。

○構成員 小林正人（座長）、東辰之介、

○第1回

日時 平成27年 5月28日（木）

- 議題
- (1) 平成27年度FD研修会について
 - (2) 学外で開催される研修会に対する取り組みについて
 - (3) その他

○第2回

日時 平成27年 7月 9日（木）

- 議 題 (1) 平成27年度FD研修会の具体化について
(2) アクティブ・ラーニングの定義の策定について
(3) FD推進委員のための出張研修について
(4) その他

○第3回

日 時 平成27年 9月17日(木)

- 議 題 (1) 平成27年度FD研修会の学内講師の事前交流会
(2) ICTを利用した先進的アクティブ・ラーニングの視察会(11月6日)
について
(3) 学外組織と連携したアクティブ・ラーニングの実施状況調査について
(4) 学外組織連携協定書の雛形作成について
(5) その他

○第4回

日 時 平成27年11月26日(木)

- 議 題 (1) ICTを利用した先進的アクティブ・ラーニングの視察会からの教訓
について
(2) 平成27年度FD研修会について
(3) 「学外組織と連携したアクティブ・ラーニングの実施状況調査」(11/6-13)
の結果について
(4) その他

○第5回

日 時 平成28年 1月21日(木)

- 議 題 (1) 平成27年度FD研修会について
(2) 「学外組織と連携したアクティブ・ラーニングの実施状況調査の結果」
について
(3) その他

○第6回

日 時 平成28年 2月12日(金)

- 議 題 (1) 平成27年度FD研修会の成果と今後の課題
(2) FD広報のあり方について
(3) アクティブ・ラーニングの定義について
(4) 学外組織との連携協定書の雛形について
(5) 「学外組織と連携したアクティブ・ラーニング実施状況調査」のまとめ
(6) 新教育WGの来年度の方向性について
(7) その他

② 教育の質保証に関するワーキング・グループ

本年度は、主として、次の2点について取り組んだ。

1. 学生による授業アンケートについて、回答率の向上及びC-learningの利用とフィードバックの促進を目指して、教員及び学生への周知方法を工夫するなどし、アンケートの意義や実施方法、C-learningの利用方法、フィードバックの実施例などをわかりやすく伝えることに努めた。結果、教員及び学生の協力により、前・後期共に昨年度よりも進展が見られた。また、授業に対する学生の意見をよりの確に把握し授業の改善に結び付けてもらえるように、次年度のアンケートの質問項目や文言を見直したほか、各教員には、アンケート結果を踏まえた授業の改善策やコメントを次年度のシラバスに記載する形で学生に周知して頂くこととした。

2. 学修成果を図るための外部業者テストについて、導入の是非を検討するため、WGメンバーのゼミ生を対象に3社のテストを試行した。各社へのヒアリングの結果も踏まえ、次年度も引き続き検討を行う。

○構成員 田中優企（座長）、長尾譲治、山口良博

○第1回

日時 平成27年 5月27日（水）

議題 (1) 今後の作業の進め方について
(2) 教育の質保証について
(3) その他

○第2回

日時 平成27年 7月 8日（水）

議題 (1) 学生による授業アンケートについて
(2) シラバスの改善について
(3) 障害を持つ学生対応の在り方について
(4) その他

○第3回

日時 平成27年 9月16日（水）

議題 (1) 学生による授業アンケートについて
(2) シラバスの改善について
(3) 障害を持つ学生対応の在り方について
(4) その他

○第4回

日時 平成27年10月14日（水）

議題 (1) 外部業者テストについて

- (2) 学生による授業アンケートについて
- (3) シラバスの改善について
- (4) 障害を持つ学生対応の在り方について
- (5) その他

○第5回

日 時 平成28年 1月20日(水)

- 議 題
- (1) 平成28年度の学生による授業アンケートの実施について
 - (2) 平成27年度後期の学生による授業アンケートの実施結果について
 - (3) 外部業者テスト(3社)の実施結果について
 - (4) その他

○第6回

日 時 平成28年 2月16日(火)

- 議 題
- (1) 外部業者テスト(3社)について
 - (2) その他

③ 相互研修型FDに関するワーキング・グループ

公開授業を教員、学生双方にとって如何に有意義なものにしていくかの検討がこのWGの最大のテーマでした。公開授業の広報の仕方から始まり、公開授業を聴きに来る教員の出席率の向上のための工夫や授業終了後の意見交換会の開催を促す事をはじめ、公開授業を行う教員にとっても、公開授業を聞きに来た教員にとっても、今後の各位の授業の参考になるような「ふり返しシート」の作成に至るまで多くの議題を話し合ったつもりです。公開授業への取り組みを盛んにすることは大学の内部質保証の向上にもおのずと繋がります。大学の授業というものは大学教育の根本にあるもので、かなめ石となるものです。いずれは、「公開授業の駒澤大学」と言われるような公開授業の在り方を考えながらWG活動致したつもりです。各位のご協力ありがとうございました。

○構成員 熊坂さつき(座長)、高 媛、遠藤 司

○第1回

日 時 平成27年 5月26日(火)

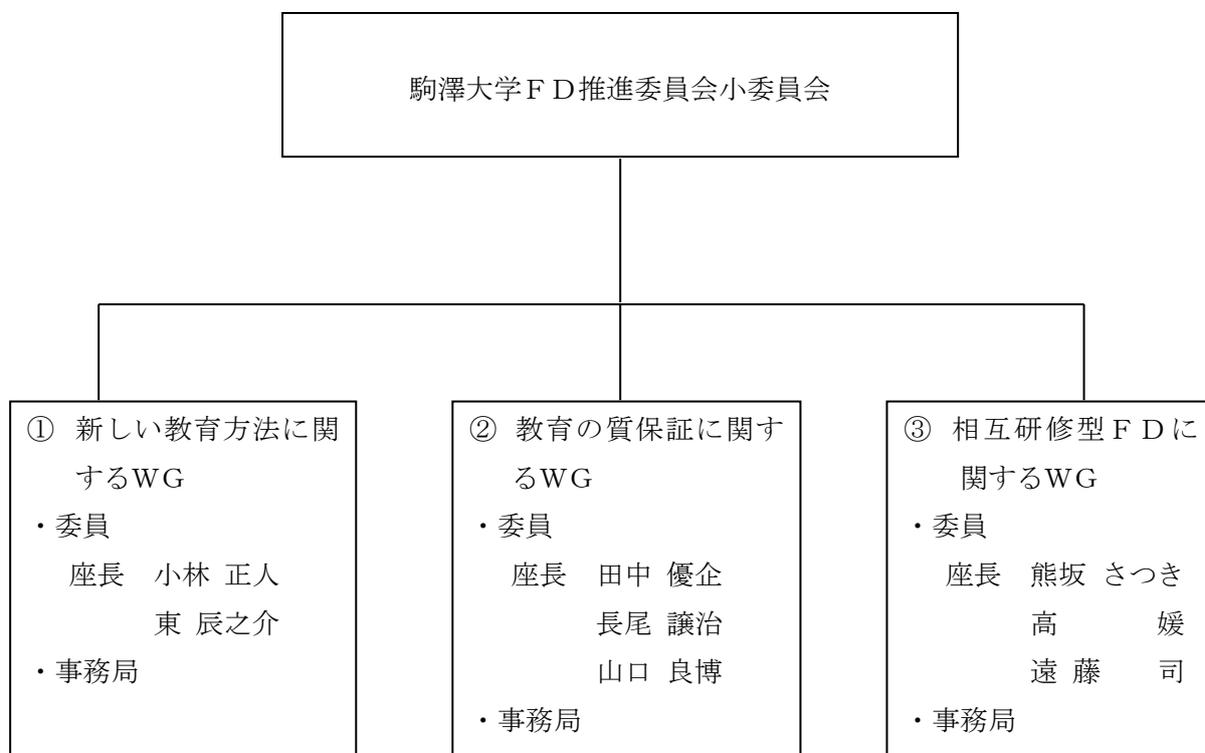
- 議 題
- (1) 公開授業について
 - (2) その他

○第2回

日 時 平成27年 9月22日(火)

- 議 題
- (1) 公開授業について
 - (2) その他

平成27年度 駒澤大学FD推進委員会小委員会ワーキング・グループ 構成



注. 委員長・副委員長は適宜各ワーキング・グループに参加することとする。

2. 研修会

(1) FD研修会

全教職員を対象としたFD研修会を開催した。

日 時：平成28年2月1日（月）14:00～17:00

場 所：1号館 1-301教場

テ ー マ：「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」

講 師：湯浅 且敏 先生（青山学院大学情報メディアセンター）

「アクティブ・ラーニングがなぜ必要なのか」

—「アクティブ・ラーニング型授業」とは何か—

長山 宗広 先生（経済学部現代応用経済学科）

<アクティブ・ラーニング実践報告1>

「産学連携により学生の社会人基礎力を高める」

中嶋 真也 先生（文学部国文学科）

<アクティブ・ラーニング実践報告2>

「日本古典文学をアクティブ・ラーニングで学ぶ」

参 加 者：教員 140名

職員 7名



(中嶋真也先生、長山宗広先生、湯浅且敏先生)



(会場の様子)

(2) 平成27年度新規採用教員オリエンテーション

新規採用専任教員・非常勤教員を対象にしたオリエンテーションを開催した。

日 時：平成27年4月1日（水）14:40～17:00

出席者数：76名（対象者119名）

次 第：学長挨拶

教務部長挨拶

FD推進委員会小委員会委員長挨拶

大学案内（教務部・総合情報センター・図書館）

（3）ICTを利用したアクティブ・ラーニングの先進的事例の見学

新しい教育方法に関するワーキング・グループを中心にICTを利用したアクティブ・ラーニングの先進的事例の見学を行った。

日 時：平成27年11月6日（金）

見 学 先：東京都多摩市立愛和小学校

内 容：先進的事例（授業）見学、及び情報交換

3. 公開授業

公開授業の目的は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

本年度の公開授業は、各学部等の F D 推進部会の協力により、「平成 27 年度公開授業一覧」(表 1) のとおり実施した。参観希望の授業科目の時間に直接教場に行き、後方に着席し、当日、学部によっては意見交換会が開催された。また、「公開授業実施結果の報告」(表 2) のとおり実施結果について報告がなされた。

(表 1) 平成 27 年度公開授業一覧

学部	担当教員	実施日	時限	教場	科目名称
仏教	徳野 崇行	11/24 (火)	2	9-179	仏教文化史
	石井 清純 熊本 英人		3	禅研一 坐禅堂	坐禅
	山口 弘江	12/3 (木)	1	9-172	仏教漢文入門
文	高橋 健太郎	12/7 (月)	1	1-202	村落地理学 B
経済	吉田 真広	11/24 (火)	1	8-255	国際金融論 b
	増田 幹人		1	8-361	人口論 b
	松本 典子		2	1-301	非営利組織論 b
	清水 卓		3	9-391	現代西欧経済論
	岩波 文孝	11/25 (水)	1	8-150	企業管理論 b / 経営管理論 b
	矢野 浩一		1	1-201	経済統計 b
	北口 りえ		1	9-392	会計学基礎 b
	宮田 惟史		1	1-401	経済学史 b
	深見 泰孝		1	8-255	証券市場論 b
	鈴木 伸枝		2	9-401	経済外国書講読 I b / 外国書講読 I b 経済外国書講読 II b / 外国書講読 II b
	北口 りえ		2	9-392	税務会計論 b
	小栗 崇資		3	9-392	財務会計論 b
	友松 憲彦		4	8-255	西洋経済史 b
	渡邊 恵一		4	8-360	日本経済史 b
	鄭 章淵	11/26 (木)	1	8-467	アジア経済論 b
	番場 博之		1	8-465	流通政策 b
	森田 佳宏		2	8-255	会計監査論 b

経済	明石 英人	11/26 (木)	2	8-151	社会経済学 b
	中濟 光昭		3	1-201	情報・経済ネットワーク論 b
	舘 健太郎		3	9-391	産業組織論 b
	瀬戸岡 紘		4	1-301	アメリカ経済論 b
	小西 宏美		4	8-257	グローバル・ファイナンス b
	江口 允崇	11/27 (金)	1	1-301	財政学 b
	山縣 弘志		2	8-151	ロシア・東欧経済論 b
	吉田 真広		2	8-255	貿易論 b
	明石 英人		2	8-360	経済理論 A・資本の原理
	増田 幹人		3	8-150	福祉経済論
	浅田 進史		4	9-391	経済史 b
	石川 祐二		5	2研-203	管理会計論 b
	西村 健	11/28 (土)	2	8-152	企業経済学 b
	曾我 信孝		3	2研-203	マーケティング b
	井上 智洋	11/30 (月)	1	1-301	経済政策 b
	代田 純		2	9-391	金融論 b
	長山 宗広		2	1-301	起業論
	荒木 勝啓		3	8-151	応用ミクロ経済学 b
	姉齒 暁		4	1-202	消費経済論 b
	村松 幹二		4	8-151	制度の経済学
	齊藤 正		5	1-302	現代銀行事情
	福島 浩治	12/2 (水)	1	1-516	経済外国書講読 I b / 外国書講読 I b 経済外国書講読 II b / 外国書講読 II b
	長山 宗広		2	8-152	地域経済論 b
	小林 正人	12/3 (木)	1	8-255	日本経済論 b
	松井 柳平		2	8-152	ミクロ経済学
	谷敷 正光		3	8-465	教育経済論 b
	瀬戸岡 紘		4	1-301	アメリカ経済論 b
	村松 幹二		5	2研-102	契約理論
	福島 浩治	12/4 (金)	3	9-391	国際経済論 b
	光岡 博美		5	9-391	社会政策 b
吉田 敬一	12/5 (土)	1	2研-102	中小企業政策論	
百田 義治	12/7 (月)	4	8-255	企業経営学 b	

法	村井 良太	12/3 (木)	5	1-401	政治史
	奥村 公輔	12/4 (金)	3	8-360	憲法
経営	小野瀬 拓	11/18 (水)	3	8-360	経営学
	日野 健太	12/3 (木)	5	8-150	経営組織論
医療健康科	保科 正夫	11/16 (月)	3	9-170	応用計測学
GMS	テツカ ヨシハル	12/1 (火)	2	1-204	映像産業論
総合教育	西村 祐子	11/18 (水)	3	1-406	英語ディスカッションⅡb
研究	坂野井和代	11/27 (金)	4	8-467	自然環境論

(表 2) 平成 27 年度「公開授業実施結果」報告

学部	仏教学部	実施教員	徳野 崇行
1. 実施日・曜日・時限	11月24日(火)・2時限	教場	9-179
2. 実施科目名	仏教文化史	報告責任者	石井 公成
3. 学生履修者数	101人		
4. 公開授業参加者数	3人		
5. 授業実施状況			
<p>「近世絵画に見る幽霊のかたち」というテーマの講義であって、図が多く掲載され、参考資料も詳しく記された資料が配られたほか、パワーポイントと鮮明で見やすいスライドを使い、興味深い図像などを示し、最新の研究成果を紹介しながら講義を進めていた。足の無い、いわゆる幽霊のイメージが成立してゆく過程がわかりやすく説明されていたうえ、現代との関連にも言及しており、興味深い内容となっていた。私語はほとんど無く、授業態度はおおむね良好であった。</p> <p>ただ、記念棟工事の音が少々響いてきていたため、教室の後尾の方ではやや聞きとりづらい時もあった。また、資料が豊富であって、パワーポイントやスライドで示される内容が載っていたため、スクリーンに目をやらずに資料を眺めている学生も見られた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>しゃべり方ははっきりしていたが、工事の騒音を考えると、マイクを使ったほうが良いと思われる。</p> <p>資料はきわめて豊富であったが、それだけに逆に資料に注意を向けすぎる学生もいたため、印刷して渡す資料では、パワーポイントやスライドで示しつつ説明する内容については、簡略な形しておくなどの工夫が必要だろう。</p> <p>1、2年生と思われる学生が少なくないことを考えると、講義で用いられた「施餓鬼」「観音懺法」「善因楽果、悪因苦果」といった仏教用語については、何らかの形での説明が必要と思われる。</p> <p>非常に良く準備し、内容が濃い授業ではあったが、教員の説明が続くため、学生からの質問や意見を求めるなどして、交互のやりとりをすることも考慮すべきだろう。</p>			

学部	仏教学部	実施教員	石井 清純・熊本 英人
1. 実施日・曜日・時限	11月24日(火)・3時限	教場	禅研-坐禅堂

2. 実施科目名	坐禅	報告責任者	藤井 淳
3. 学生履修者数	120人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>11月下旬ではあるが例年よりは暖かい気温の中で行われた。昼食後の3限ということもあり、睡眠をしている学生も一部見受けられたが、ほとんどのものは真面目に坐禅に取り組んでいた。また新校舎建設のため、騒音や振動もときおり大きく、必ずしも望ましい静謐な環境ではないが、それに気をとられている学生は見受けられなかった。</p> <p>通常の坐禅実習の通り、坐禅2回、間に経行、2回目の坐禅では提唱（講義）を行った。</p> <p>参加教員は、椅子坐で、実習を見学した。</p> <p>授業終了後、参加教員全員と振り返りの意見交換を行った。</p> <p>その後、参加教員から振り返りシートを回収・確認し、振り返りの意見交換を行った。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>空調は新校舎建設のための解体で導入されたようであるが照明など、教場（坐禅堂）設備については、検討課題とする。実習の際の服装について、最近のジーンズは窮屈ではないとの話であったが、どの程度まで許容するか今後の課題とする。</p>			

学部	仏教学部	実施教員	山口 弘江
1. 実施日・曜日・時限	12月3日（木）・1時限	教場	9-172
2. 実施科目名	仏教漢文学入門	報告責任者	飯塚 大展
3. 学生履修者数	25人		
4. 公開授業参加者数	7人		
5. 授業実施状況			
<p>YeStudy 利用（予習・復習）、教科書・指定漢語辞書利用、スクリーン使用（パワーポイントによる教材提示）、出席確認（口頭）、前週の授業のふり返り、解答者指名（各問2名）、文章内容の理解、授業アンケートのフィードバック。授業は講義形式で、スクリーンとプリント・教科書を併用し、事項説明は板書で行ったが、説明の内容も簡潔であり、理解しやすかった。小教場だが、マイクとハンディタイプのスピーカーを利用していたのは効果的であった。学生の回答に対する教員の対応は細かな配慮が作されており、正解への誘引の仕方は適切だった。用語・文法の説明には板書を用いていたが、進行のスピードが好く配慮されていた。冒頭で講義内容の大まかな流れを提示していたのは導入として好かった。各担当者の範囲がスクリーン上で確認でき、正解の確認も出来た点は、効果的に思われた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>発言する学生の音量が小さく聞き取れない時があったので、学生側にマイクは準備できないか。旧字体や語法に慣れるためにも辞書を引かせる頻度を多くした方が良い。電車の事故による遅延のためか、学生の途中入室が気になった。担当分が畢ると気をぬいてしまう学生が居た。教場スクリーンの位置、輝度、明瞭さがあれば、学生にとって有益であろう。教科書の改訂、授業内容の一定のレベル維持が必要ではないか。</p>			

学部	文学部	実施教員	高橋 健太郎
1. 実施日・曜日・時限	12月7日(月)・1時限	教場	1-202
2. 実施科目名	村落地理学B	報告責任者	平井 幸弘
3. 学生履修者数	60人		
4. 公開授業参加者数	3人		
5. 授業実施状況 (特色と評価) ①授業冒頭に、前回の授業で実施した内容確認のミニレポートに対する教員からのコメントが述べられ、今回の授業のテーマへと導入される。学生にとって、今日の授業への意欲が励起される。 ②パワーポイントを使って、授業のテーマやキーとなる概念に関する風景・景観が呈示され、それから、学生が重要な点に気づき、読み解くよう、誘導される。本授業の特色。 ③授業途中で(およそ30分ごと)、そこまでの「授業内容の確認」ということで、パワーポイントで、重要点についてのまとめ(箇状書き)が、示され、受講生は、それをノートに筆記しながら、学んだ内容を整理し、自分のものとしてすることができる。			
6. 授業改善ポイント指摘事項 ①1時限目の授業であるためか、受講生の遅刻が多い。授業開始時はおよそ半数で、20～30分後にほぼ揃った。これに、どのように反応するかは、本公開授業だけでなく、全体的な課題と思われる。 ②パワーポイントの景観写真や、配布資料の地図や統計から、授業内容に関する重要点を読み解く際に、いかにして学生も主体的な発言や気づきを引き出すか、難しい課題です。 ③授業内容によっては、他の授業との連携も、学生にとっては、より理解が深まる可能性があると思った。例えば、「里山」は、「地形学」・「環境地理学」でも、自然的側面から授業で扱っているの、協力できそうです。			

学部	経済学部	実施教員	長山 宗広
1. 実施日・曜日・時限	11月30日(月)・2時限	教場	9-283
2. 実施科目名	起業論	報告責任者	小林 正人
3. 学生履修者数	50人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況 「社会的起業家」に関する授業のひとつとして、実際の起業経験者の体験談を聴く授業だった。社会的起業とは何かについては前回までに講義がされており、また教員が冒頭で体験談の三つのポイントについて解説を行なった。さらに学生には質問用紙が配られ、体験談が終わると集められて、教員が質問全体を整理したうえで、起業経験者に質問をなげかけると丁寧に回答がなされた。また、教員が学生に挙手を求めると、多くの学生が起立して積極的に質問を出していた。			

6. 授業改善ポイント指摘事項

教員による事前の授業や解説がていねいであり、細かくなりがちな体験談がかなり聴きやすかった。

学生との質疑応答の時間がたっぷりであり、しかも教員の整理によって整然と分類されて行なわれたのでわかりやすかった。

起業論の授業に、実際の起業家の体験談を聴く機会があることで、学生たちも集中して授業を受けていた。

教室が記念棟の工事現場の真横で、工事の騒音が気になった。

学部	法学部	実施教員	村井 良太
1. 実施日・曜日・時限	1 2 月 3 日 (木)・5 時限	教場	1 - 4 0 1
2. 実施科目名	政治史	報告責任者	田中 優企
3. 学生履修者数	1 4 3 人		
4. 公開授業参加者数	5 人		
5. 授業実施状況			
<p>当日の講義は、新しい授業スタイルがもてはやされる中で、事件日列举の項目方式（詳しい年表）型のポイントを絞った板書（大きい文字による板書、大きい黒板 2 つをフル活用）と色々なエピソードを交えた講義を中心にした、ある意味では「古い」スタイルの授業形態で実施された。学生の立場でノートを取りながら受講してみると、「板書の文字を移す」という作業の持つ意味は、物事を深く考えさせる上で、メリットが大きいことを再認識した。また、学生に板書をノートに筆記させた上で、板書事項について説明を加えていくという形式なので、学生の立場からすると、板書をしつつ順次説明を加えていくという形式よりも、ノートの筆記がしやすかったのではないかと思われる。</p> <p>当時の状況をリアルタイムで知っている者にとっては、映像付きのドキュメンタリータッチで楽しむことができて面白く、とても聞きやすい講義であった。</p> <p>テキストの早期読了が前提となっているためか、学生のほとんどがテキストを持参していないように思われた。</p> <p>学生たちが最も気になっている「試験」の告知が丁寧になされていた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>絵巻物式に黒板を使う場合には、横書よりも縦書の方が適していると思われる（例えば、Word を使用して、スクリーンやモニターに映すという形態であれば、横書きでも大丈夫であろう）。</p> <p>事項の評価あるいは事項間の歴史的な因果関係や理解を口頭で呈示するというのは、これらを学生がノートに取り切れていない様子を踏まえると、外交関係の展開や変遷といったダイナミズムが学生に十分に浸透しにくいのではないかと思われる。例えば、部分的に、これらを図式したもの（模式図）などを入れるなどの工夫があると、学生の頭に入りやすくなるかもしれない。</p> <p>説明がやや平板・早口であったため、（テキストがあるのでおそらく大丈夫なのだと思うが）学生が十分に理解できたか、少し気になる部分があった。また、テキストの早期読了が前提となっているものの、講説の内容とテキストの結び付きを、もう少し示してもよかったのではないかと思われる。</p>			

学部	法学部	実施教員	奥村 公輔
1. 実施日・曜日・時限	12月4日(金)・3時限	教場	8-360
2. 実施科目名	憲法	報告責任者	田中 優企
3. 学生履修者数	200人弱		
4. 公開授業参加者数	4人		
<p>5. 授業実施状況</p> <p>当日の授業は、テキスト(判例百選)、レジュメ及び板書を基にして、講説する形式で実施された。板書は、講説内容を整理した丁寧なものとなっており、学生の立場(特に、高校の授業の感覚からまだ抜けきれていない1年生など)からすると、項目だけの板書よりも、ノートに筆記しやすい上、授業に取り組みやすくなると思われる、学生のノート作成を意識したものとなっていた。また、黄色のチョークを用いるなど、板書をみやすくする工夫もなされていた。</p> <p>講説は、用語の定義を繰り返し説明するなどの工夫もなされていたため、非常にわかりやすく、あいまいさのないものであった。</p> <p>講説に際しては、適宜、テキストやレジュメの指示した重要な箇所にアンダーラインを引かせるといった作業を課していた。学生からすると、授業中に一定の作業を課されることによって、集中力をより維持できるのではないか。また、アンダーラインは、試験と連動させる意味で、一重線と二重線の使い分けをするといった工夫もなされていた。</p> <p>テキストに掲載されていない判例については、その抜粋したものをレジュメに載せるといった配慮もなされていた。</p>			
<p>6. 授業改善ポイント指摘事項</p> <p>判例の事実関係の説明も板書で行われていたが、あらかじめパワーポイントなどで作成して、スクリーンやモニターに映すという形の方が、効率的かつ時間の節約になるのではないかと(もっとも、「書かせる」ということを意識されているのであれば、別であろう)。</p> <p>アンダーラインを引くよう指示する際には、書画カメラでの提示も併用の方が有効であろう。</p> <p>授業内容について、判例の検討に加えて、学生の理解を促すために、もう少し学説の状況などの説明もあってもよかつたのではないかと。また、判例の事実関係について、学生からするとかなり昔(生まれる前)のものもあるので、より具体的なイメージを持たせるために、出てくる事項・用語の説明ももう少しあつてもよかつたのではないかと。</p> <p>マイクの音量も適切で、話し方もとても良かったが、もっと学生に語りかける形で講説すると、学生の方も講義内容がさらに印象に残るのではないかとと思われる。</p> <p>判例の紹介では、結論を先頭に記載する形式(頭括法)も取り入れてみてはどうか。</p>			

学部	経営学部	実施教員	小野瀬 拓
1. 実施日・曜日・時限	11月18日(水)・3時限	教場	8-360
2. 実施科目名	経営学部	報告責任者	高井 徹雄
3. 学生履修者数	252人		
4. 公開授業参加者数	5人		

5. 授業実施状況

冒頭 5 分のイントロダクションに次いで、15 分程、先週授業の復習に充ててから新しい内容に入っていた。事例重視の経営学テキストが指定されており、適宜プリントも配布するが、基本的にはよく準備されたパワーポイント資料によるプレゼンテーション形式で授業は進められた。また、学生との対話型授業形式で、先生の質問に対する学生の回答があれば、その報酬として、学生は先生からハンコが貰える仕組みになっている。

予習課題を与え、当日は、事例を挙げながら対話型授業により理解を深めるという、反転型授業の形式になっている。このような工夫により、200 名出席の大人数授業でありながら、静粛な環境下で学生達は前向きに授業に取り組んでいた。

6. 授業改善ポイント指摘事項

マイクの音量は適切で、話し方も聞きとり易かった。学生のもとに降りてフレンドリーに進められる授業に好感が持った。このように、よく準備された授業は、5 名の評価者から総じて高い評価を得たが、取上げて改善すべき点を挙げれば、評価者からは、

- ・やや早口過ぎて、ついていけない部分もあった。
- ・板書も使って、少しペースダウンしたほうが良いのではないかと。
- ・学生への報酬としてハンコをつくる方式は、時間的ロスが大きい。
- ・事例の採りあげ方が、やや散漫な感じがする。

などの指摘があった。これらが改善されれば、より理想に近い授業が実現する。

学部	経営学部	実施教員	日野 健太
1. 実施日・曜日・時限	12月3日(木)・5時限	教場	8-150
2. 実施科目名	経営組織論	報告責任者	飯田 哲夫
3. 学生履修者数	360人		
4. 公開授業参加者数	7人		
5. 授業実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容は、環境と組織② 組織群生態学についてであった。 ・講義形式は、教科書は用いず、配布資料(A4 1枚)を用いた板書による講義である。 <p>そして、学生に適宜質問するなどの対話形式も取り入れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書は見やすく、授業の進行スピードも適切である。 ・抽象的な内容の説明も、事例を用いつつ、ゆっくりと丁寧になされている。 ・研究者として、授業内容の面白さを学生に伝えようという意図が感じられた。 ・参加者数の多い授業であるが、終始、静寂な授業環境が保たれていた。 			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>公開授業についての振り返りの意見交換会において、参加者から以下の改善ポイントが指摘された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を用いることを検討されてはどうか。 ・事例の使い方の更なる工夫ができないか。 ・配付資料のグラフの見易さにもう少し気を配ってほしい。 			

学部	医療健康科学部	実施教員	保科 正夫
1. 実施日・曜日・時限	1 1 月 1 6 日 (月)・3 時限	教場	9 - 1 7 0
2. 実施科目名	応用計測学	報告責任者	原田 和正
3. 学生履修者数	4 5 人		
4. 公開授業参加者数	3 人		
5. 授業実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを活用し、他の授業実験と関連付けている。 ・学生の興味を引くように、治療現場との対応などをまぜ、話の進め方がうまい。また、ポイントを、ずい時説明している。 ・演習を宿題として、授業開始前に学生に板書させている。 ・説明がゆっくりで、板書もゆっくりで、大きな字で OK。 ・学生に質問をして、一方的授業にならないようにしている。 			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・マイクを使用しているが、時々、ハウリングをおこしている。マイクの位置をもっと上げて、ボリュームを下げると良い。 ・赤色のチョークは見づらいので、黄色が良いかも。 ・<u>もっと</u>、質問して、さらに対話型にすると、一層よくなると思う。 			

学部	GMS 学部	実施教員	テヅカ ヨシハル
1. 実施日・曜日・時限	1 2 月 1 日 (火)・2 時限	教場	1 - 2 0 4
2. 実施科目名	映像産業論	報告責任者	白水 繁彦
3. 学生履修者数	約 1 0 0 人		
4. 公開授業参加者数	3 人		
5. 授業実施状況			
(観察の結果：事実のみ)			
(1) 授業開始時、学生は広い教室の後ろのほうに着座。それについての言及なし。			
(2) 授業冒頭にグループ活動。教師が「先週の授業内容のポイントについて、隣近所の学生と話し合いの上、代表が述べよ」という内容の問いを発して、学生たちの話し合いを促す。いくつかのグループが話し合い、各グループの代表 2, 3 人が発表。このグループ活動に要した時間 6, 7 分程度。その後、教師のモノローグに移る。			
(3) PC に多量の映像をストック、随時それから取り出して提示。パワポ (PPT) のスライドも多数用意。スライド 1 枚に記載してある文字数多し。			
(4) 本日の授業ポイント 9 点を記載したハンドアウトを配付。			
(5) たまにテキストをとりだし、言及。ほとんどの学生、本を開かず。			
(6) 授業終了のチャイムで終了。本日のポイント 9 点のうち 3 点について言及されず。			
(7) 最後に次週までに遂行すべき課題を告知。			

6. 授業改善ポイント指摘事項

(コメント等)

(1) 冒頭の「グループ活動」は学生を授業に巻き込むためにも有効かと思われる。なお、代表で発表した学生にコメントペーパーなどを渡し、氏名や発言内容の要旨など書かせると学生たちのモチベーションがさらに上がると思われる。

(2) 多数の映像の用意、PPT スライドの用意、本日の授業ポイント記載のハンドアウト配付等、入念な準備。これをうまく連動させるとさらに学生の理解が深まると思われる。

(3) PPT スライドに大量の文字が書かれているが、文字が小さすぎて読めず。とくにほとんどの学生が後ろのほうの席に座っているためモニターの文字判読不可能。なお、当該スライドは Moodle (授業支援システム) に掲載してあると思われるが、もしそうなら、持参の PC でチェックさせるのも一法であろう。

(4) 教科書に言及する場合は学生に教科書を開かせ、明確に当該箇所を指摘するとさらに効果的かと思われる。

(5) 大きな声でゆっくりと話す、というスタイルは見習うべきかと思われる。ただ、マイクなしで話すシーンでは、教室が大きく、しかも多くの学生が後方の席を占めているため、聞き取りにくい。マイクの使い方を工夫するか、前のほうに座らせるか、さまざま試行してみたい。

(6) 授業の最後に、次週までに遂行すべき課題を与えたのは授業に学生を巻き込む上でも効果的かと思われる。課題を遂行してきた学生 (遂行してこなかった学生) にどう対処するか、自問してみた一幕である。

以上は参観者 3 人のメモおよび口頭でのコメントの概略である。3 人からの細々としたコメントは実施教員に直接伝え、加えて、特定教員の授業を参観するように勧めた。

上記コメントの部分は忌憚なく指摘させていただいたが、むろん、他人ごとではない。たえず自省を迫られる 90 分であった。したがってコメント等はひとつひとつ自戒を込めて書かせていただいた。こうした参観授業を快く引き受けられたテヅカ氏に深く感謝申し上げる。

学部	総合教育研究部	実施教員	西村 祐子
1. 実施日・曜日・時限	11月25日(水)・3時限	教場	1-406
2. 実施科目名	英語ディスカッションⅡb	報告責任者	上田 倫史
3. 学生履修者数	10人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況			
この授業では、英語でディスカッションを通じて、自分の意見を的確に伝えるとともに、現代社会における様々な問題に関する知識を身につけさせこと主眼としている。実際の授業は以下のような手順により実施された。授業開始約10分は導入として、前回の授業の予習を行った。その後、スカイプを使ったセッションにおいて相手に質問する内容を英語で生徒が発表を行った。その後、スカイプを使ったセッションが行われ、スカイプをフィリピンにつなぎ、英語母語話者に対してすべての学生がそれぞれの考えてきた質問を行い、それに相手が答えるということが行われた。このセッションの終了後、教員が今回のセッションでのまとめを行った。			

6. 授業改善ポイント指摘事項

この授業で特筆される点は、スカイプを用いて海外にいる英語母語話者と実際に会話を行う機会を提供している点である。これにより、教員、受講生間のやり取りだけで生まれないある種の緊張感が授業に生まれている。問題点としては、スカイプでのやり取りを行う際は一対一になるため、本来のディスカッションを行うことは難しいことが挙げられる。これは技術上の問題点が多分に影響を与えていると思われる。さらに、スカイプを使ったセッションが、より長く取り入れられていない点も改善点として挙げられる。授業後に授業担当教員に質問したところ、スカイプのセッションにおいては、契約上時間的制約がありこれ以上は長くできないということであった。

ICT を取り入れたこのような語学授業は他大学でも事例があるので、この授業で使用されているような授業形態をバックアップできるような仕組みを考える必要があると思われる。

学部	総合教育研究部	実施教員	坂野井 和代
1. 実施日・曜日・時限	11月27日(金)・4時限	教場	8-467
2. 実施科目名	自然環境論	報告責任者	清水 善和
3. 学生履修者数	約90人		
4. 公開授業参加者数	4人		
5. 授業実施状況			
授業内容：科学リテラシーと環境問題（2回目）			
「日常の社会問題を読み解く際に必要な科学・メディアリテラシーを身につける。」			
YeStudy を用いて出席の確認がなされた後、課題として予め調べておくように指示されていた日本人の死因、インフルエンザ死亡者数、交通事故死亡者数などの正解が示され、統計データの検索の仕方、リスクの考え方などが説明された。続いて、放射能の影響に関する新聞記事を題材に、学生がノートパソコン・ケータイ・スマホを用いてネット検索で事実を確かめながら、自ら記事の内容を科学的に検証する作業に入った。検索によって学生の得た結論は、C - Learning 上で予め教員が用意していた設問に答えさせる形でスクリーン上にリアルタイムで示された。教員は必要に応じて関連する用語や背景の解説を行い、スクリーン上に表示された集計結果や学生の意見にコメントを加えながら、各設問に対する正解を示した。授業を通じて、事実を確認する手法を体験し、数字を見るとき単位の重要性、異常値のとらえ方、新聞記事であっても結論を鵜のみにしてはいけないことなどを学んだ。なお、授業中の解説に使われたスライドはプリントでも配布され、後で YeStudy にも掲載するので授業中にノートをとらなくてもよいということであった。			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンなしでもケータイ・スマホで授業中にネット検索したり、結果を C - Learning でリアルタイムに示したりでき、大人数でもアクティブ・ラーニングができることがわかり参考になった。 ・事前の課題や C - Learning の設問などよく準備された授業であった。 ・話し方、マイクの音量、速度が適切であった。学生への指示も的確であった。 ・スクリーンに示されたグラフの数字等が見にくいので工夫が必要。 ・学生によりリテラシーのレベルが異なるので、授業についていけない学生のことが気になった。 ・解説の内容が高度なので、理解を定着させるには、事前、事後のフォローアップが必要と感じた。 			

4. 学生による授業アンケート

(1) 「学生による授業アンケート」の概要

各教員の授業の改善を目的に、平成 27 年度「学生による授業アンケート」を下記の要領で実施した。C-Learning システムを利用し、Web 上で学生は回答をし、教員は結果を確認する方式をとっている。本報告書では、集約したデータの学部学科専攻部門・質問項目ごとの平均値を示した。

◇実施期間

下記の期間に、該当科目の授業時間内に実施した。

前期（前期終了科目対象）： 2015 年 6 月 1 日～20 日

後期（後期・通年科目対象）： 2015 年 11 月 9 日～28 日

◇対象科目および対象学生数

全科目を対象に実施した。ただし、演習科目、集中講義科目ならびに受講者数が 20 名未満の科目は対象外とした。

前期	1, 212 科目	82, 147 人（延べ人数）
後期	1, 756 科目	143, 137 人（延べ人数）

◇実施科目数および回答者数

前期	1, 212 科目	48, 257 人（58.7%）
後期	1, 756 科目	58, 722 人（41.0%）

(2) 授業アンケート質問項目

Q 1. 所属学部学科等

- | | | |
|----------|-----------|---------------|
| 20: 仏教 | 13: 社会学 | 6: 法律 B |
| 19: 国文 | 12: 社会福祉学 | 5: 政治 |
| 18: 英米文 | 11: 心理 | 4: 経営 |
| 17: 地理 | 10: 経済 | 3: 市場戦略 |
| 16: 日本史学 | 9: 商 | 2: 診療放射線技術科 |
| 15: 外国史学 | 8: 現代応用経済 | 1: グローバル・メディア |
| 14: 考古学 | 7: 法律 A | |

Q 2. 学年

- 5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他

Q 3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

- 11: 一般入試
- 10: 大学入試センター試験利用入試
- 9: 一般推薦入試
- 8: スポーツ推薦入試
- 7: 指定校推薦
- 6: 附属校推薦入試
- 5: 留学生特別入試
- 4: 帰国生特別入試
- 3: 編入学試験
- 2: その他
- 1: 回答しない

Q 4. この授業に何回欠席しましたか。

- 5: 0回 4: 1~2回 3: 3~4回 2: 5~6回 1: 7回以上

Q 5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)

- 5: 授業内容に興味を持った
- 4: 資格の取得
- 3: 周りの人に勧められた
- 2: 必修科目または選択必修科目だったから
- 1: その他

Q 6. この授業の予習・復習にあてた時間は 1 週間に何時間くらいでしたか。

- 5: 4 時間以上
- 4: 3 時間以上~4 時間未満
- 3: 2 時間以上~3 時間未満
- 2: 1 時間以上~2 時間未満
- 1: 1 時間未満

Q 7. 授業に熱心に取り組みましたか。

Q 8. 授業はほぼ定刻通りに行われていましたか。

Q 9. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

Q 10. 受講を決める際にシラバスは役立ちましたか。

Q 11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていましたか。

- Q 1 2. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。
- Q 1 3. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的でしたか。
- Q 1 4. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
- Q 1 5. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすかったですか。
- Q 1 6. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすかったですか。
- Q 1 7. 教員は静粛な授業環境づくりに配慮していましたか。
- Q 1 8. 教員は学生からの意見や質問に対して適切に対応していましたか。
- Q 1 9. この科目の授業内容についてよく理解できましたか。
- Q 2 0. 授業内容に興味を持ってましたか。
- Q 2 1. あなたの学修目標を十分に達成できたと思いますか。
- (Q 7～Q 2 1 選択肢)
- 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない
- 1: 全くそう思わない
- Q 2 2. この授業のよかった点を具体的に記入してください。
- Q 2 3. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

(3) 項目別平均値

「項目別平均値」に関しては、前期・後期で実施されたアンケートについて、質問項目 Q4～Q21 の学部・学科・専攻・部門別平均値を表に示したものである。学科・専攻・部門は、担当教員の所属による集計となっている。

これらの表を解釈する際、Q4 から Q7 までが学生の授業への取り組みについての結果であるのに対して、Q8 から Q21 までが該当授業の内容についての結果であることを念頭においておく必要がある。

なお、学生による自由記述項目 (Q22、Q23) に関してはここでは報告していない。

I. 学部・学科別平均値

表 1 学科等別平均値 (前期実施科目) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.3	4.3	-	4.0	4.0	-	-	-	-
Q5 平均値	4.5	4.5	-	2.9	2.9	-	-	-	-
Q6 平均値	1.1	1.1	-	1.2	1.2	-	-	-	-
Q7 平均値	4.1	4.1	-	3.4	3.4	-	-	-	-
Q8 平均値	4.6	4.6	-	3.8	3.8	-	-	-	-
Q9 平均値	4.7	4.7	-	4.0	4.0	-	-	-	-
Q10 平均値	4.0	4.0	-	3.6	3.6	-	-	-	-
Q11 平均値	4.2	4.2	-	3.8	3.8	-	-	-	-
Q12 平均値	4.2	4.2	-	3.6	3.6	-	-	-	-
Q13 平均値	4.0	4.0	-	3.5	3.5	-	-	-	-
Q14 平均値	4.3	4.3	-	3.8	3.8	-	-	-	-
Q15 平均値	4.3	4.3	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q16 平均値	3.5	3.5	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q17 平均値	4.5	4.5	-	3.7	3.7	-	-	-	-
Q18 平均値	4.1	4.1	-	3.6	3.6	-	-	-	-
Q19 平均値	4.1	4.1	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q20 平均値	4.1	4.1	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q21 平均値	4.1	4.1	-	3.1	3.1	-	-	-	-
有効回答数	149			57			-		

(学部)学科等	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	-	4.3		4.4	4.3	4.4	4.5	4.3
Q5 平均値	2.3	-	2.3	3.7	3.6	3.8	3.9	3.6	4.2
Q6 平均値	1.7	-	1.7	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.2
Q7 平均値	3.9	-	3.9	3.8	3.9	3.7	3.8	4.0	3.6
Q8 平均値	4.3	-	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
Q9 平均値	4.5	-	4.5	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	4.0	-	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.1	-	4.1	4.0	4.1	3.8	4.2	4.2	4.1
Q12 平均値	3.9	-	3.9	3.8	3.9	3.6	4.1	4.0	4.1
Q13 平均値	4.0	-	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0
Q14 平均値	4.2	-	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	4.4	4.3
Q15 平均値	4.3	-	4.3	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値	4.2	-	4.2	3.9	4.0	3.7	4.1	4.0	4.2
Q17 平均値	4.1	-	4.1	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値	4.2	-	4.2	4.0	4.1	3.9	4.2	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	-	4.0	3.7	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	3.8	-	3.8	3.8	3.9	3.6	4.1	4.1	4.1
Q21 平均値	3.8	-	3.8	3.7	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
有効回答数	133			907			749		

(学部)学科等	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.5	4.2	4.3	-	4.3	4.7	4.7	4.7
Q5 平均値	2.4	2.0	4.0	4.5	-	4.5	3.3	2.1	3.9
Q6 平均値	1.4	1.1	2.5	1.2	-	1.2	1.3	1.2	1.4
Q7 平均値	4.0	3.9	4.5	4.0	-	4.0	4.1	4.3	4.0
Q8 平均値	4.1	4.0	4.8	4.4	-	4.4	4.4	4.3	4.5
Q9 平均値	4.5	4.4	4.8	4.5	-	4.5	4.5	4.6	4.4
Q10 平均値	3.7	3.5	4.4	4.1	-	4.1	3.8	3.7	3.8
Q11 平均値	4.1	3.9	4.6	4.1	-	4.1	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	4.0	3.9	4.2	4.1	-	4.1	4.1	4.3	4.0
Q13 平均値	4.2	4.1	4.4	4.2	-	4.2	4.2	4.4	4.1
Q14 平均値	4.2	4.2	4.5	4.4	-	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	-	4.3	4.3	4.6	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	-	4.1	4.4	4.5	4.3
Q17 平均値	4.3	4.2	4.6	4.3	-	4.3	4.4	4.5	4.3
Q18 平均値	4.1	4.0	4.4	4.2	-	4.2	4.4	4.5	4.3
Q19 平均値	4.0	3.9	4.3	4.1	-	4.1	4.1	4.3	4.0
Q20 平均値	4.0	3.9	4.3	4.3	-	4.3	4.1	4.4	4.0
Q21 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	-	3.9	4.0	4.1	3.9
有効回答数	117			139			160		

(学部)学科等	(文)社会学			(文)社会福祉学			(文)心理		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均值	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.3	-	4.3
Q5 平均值	3.5	2.9	4.0	4.0	3.8	4.1	4.4	-	4.4
Q6 平均值	1.3	1.3	1.3	1.4	1.5	1.3	1.2	-	1.2
Q7 平均值	3.8	3.8	3.8	4.0	4.1	3.9	3.9	-	3.9
Q8 平均值	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.3	4.4	-	4.4
Q9 平均值	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	-	4.6
Q10 平均值	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	4.0	4.0	-	4.0
Q11 平均值	4.0	4.2	3.8	4.1	4.1	4.0	4.2	-	4.2
Q12 平均值	3.8	4.1	3.4	4.0	4.2	3.9	4.1	-	4.1
Q13 平均值	3.7	4.1	3.2	4.1	4.3	4.0	4.0	-	4.0
Q14 平均值	4.0	4.2	3.7	4.3	4.4	4.2	4.3	-	4.3
Q15 平均值	3.8	4.2	3.4	4.1	4.4	4.0	4.2	-	4.2
Q16 平均值	3.6	3.9	3.2	4.0	4.2	3.9	4.1	-	4.1
Q17 平均值	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.0	4.4	-	4.4
Q18 平均值	3.9	4.1	3.7	4.1	4.2	4.0	4.1	-	4.1
Q19 平均值	3.6	3.9	3.3	3.9	4.1	3.9	3.9	-	3.9
Q20 平均值	3.7	4.0	3.4	4.0	4.1	4.0	4.0	-	4.0
Q21 平均值	3.5	3.8	3.3	3.8	3.9	3.8	3.8	-	3.8
有効回答数	976			908			543		

(学部)学科等	(経済)経済			(経済)商			(経済)現代応用経済		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均值	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q5 平均值	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.6	3.8
Q6 平均值	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4
Q7 平均值	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9
Q8 平均值	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均值	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均值	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.1	4.0
Q11 平均值	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q12 平均值	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0
Q13 平均值	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q14 平均值	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q15 平均值	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.8	4.2	4.2	4.2
Q16 平均值	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
Q17 平均值	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	3.8	4.1	4.1	4.1
Q18 平均值	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q19 平均值	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q20 平均值	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
Q21 平均值	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8
有効回答数	5,845			2,939			3,039		

(学部) 学科等	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
Q5 平均値	2.8	2.2	3.6	3.1	2.8	4.1	3.0	2.1	3.7
Q6 平均値	1.6	1.8	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値	3.7	3.5	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	3.6	3.4	3.9	4.0	4.0	4.2	3.7	3.4	3.8
Q11 平均値	3.8	3.7	4.0	4.1	4.1	4.2	3.9	3.8	3.9
Q12 平均値	3.6	3.4	3.8	4.1	4.1	4.2	3.8	3.9	3.7
Q13 平均値	3.7	3.6	3.7	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	3.8
Q14 平均値	3.9	3.8	4.0	4.4	4.4	4.4	4.0	4.1	4.0
Q15 平均値	3.9	3.8	3.9	4.4	4.4	4.3	4.0	4.1	4.0
Q16 平均値	3.6	3.6	3.6	4.1	4.0	4.2	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.2	4.0
Q18 平均値	3.8	3.7	3.9	4.3	4.3	4.3	4.0	4.1	3.9
Q19 平均値	3.5	3.4	3.7	3.9	3.9	4.1	3.8	3.9	3.6
Q20 平均値	3.5	3.4	3.7	4.1	4.0	4.2	3.7	3.7	3.7
Q21 平均値	3.4	3.3	3.6	3.8	3.7	4.0	3.7	3.8	3.6
有効回答数	719			834			731		

(学部) 学科等	(経営) 市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	専任・非	全体	専任	非常勤	専任・非
Q4 平均値	4.3	4.4	4.2	4.7	4.7	4.7	4.2	4.1	4.3
Q5 平均値	3.2	3.0	3.9	2.1	2.1	2.1	2.9	3.1	2.6
Q6 平均値	1.4	1.4	1.2	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.7
Q7 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	4.1
Q8 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5
Q10 平均値	3.7	3.6	4.0	3.7	3.7	3.6	3.9	3.9	3.9
Q11 平均値	3.9	3.8	4.1	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q12 平均値	3.6	3.5	4.1	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.1
Q13 平均値	3.7	3.5	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	3.9	3.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3
Q15 平均値	3.6	3.4	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	3.9	4.3
Q16 平均値	3.6	3.5	4.2	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値	3.9	3.8	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.3
Q19 平均値	3.5	3.4	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	4.0
Q20 平均値	3.6	3.4	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.1
Q21 平均値	3.5	3.4	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9
有効回答数	822			1,279			3,143		

(学部)学科等	(総合教育研究) 文化学			(総合教育研究) 自然科学			(総合教育研究) 日本文化		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3
Q5 平均値	4.0	3.9	4.5	3.9	3.9	4.1	3.7	3.2	4.3
Q6 平均値	1.3	1.3	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.9	4.3	3.8	3.8	3.8	3.6	3.4	3.9
Q8 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.0	4.3
Q9 平均値	4.6	4.6	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.2	4.5
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.8	3.6	4.0
Q11 平均値	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	4.1
Q12 平均値	4.1	4.0	4.2	3.8	3.9	3.8	3.9	3.7	4.0
Q13 平均値	4.1	4.0	4.3	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3
Q15 平均値	4.3	4.3	3.9	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.1
Q16 平均値	4.1	4.2	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	3.9	4.0	4.0	4.1
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.2	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.2	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.0
Q21 平均値	3.9	3.9	4.1	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8
有効回答数	717			3,147			1,417		

(学部)学科等	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	-
Q5 平均値	2.2	2.4	2.2	2.6	2.5	2.7	3.5	3.5	-
Q6 平均値	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.2	1.2	-
Q7 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	-
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	-
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.4	4.4	-
Q10 平均値	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	-
Q11 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	-
Q12 平均値	3.8	3.5	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	-
Q13 平均値	3.9	3.6	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-
Q14 平均値	4.1	3.9	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	-
Q15 平均値	4.0	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.4	-
Q16 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	-
Q17 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	-
Q18 平均値	4.0	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	-
Q19 平均値	3.8	3.6	3.9	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	-
Q20 平均値	3.7	3.5	3.7	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	-
Q21 平均値	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	-
有効回答数	8,558			3,501			440		

(学部)学科等	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.4	4.5
Q5 平均値	3.8	3.8	3.9
Q6 平均値	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.3	4.4	4.3
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4
Q10 平均値	4.0	4.0	3.9
Q11 平均値	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.0	4.2	4.0
Q13 平均値	4.1	4.2	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3
Q15 平均値	4.2	4.3	4.1
Q16 平均値	4.0	4.2	3.9
Q17 平均値	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.1	4.2	4.0
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0
Q20 平均値	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値	3.9	4.0	3.9
有効回答数	1,928		

表 2 学科等別平均値 (後期実施科目)

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.0	4.0	3.7	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2
Q5 平均値	2.4	2.4	2.3	2.6	2.6	3.6	3.0	2.5	3.1
Q6 平均値	1.3	1.3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.4
Q7 平均値	3.5	3.5	3.8	3.7	3.6	4.1	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.0	3.9	4.3	4.1	4.1	4.5	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	4.3	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	4.1	4.0
Q13 平均値	3.8	3.8	4.2	3.9	3.9	4.3	4.2	4.3	4.2
Q14 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値	3.8	3.8	4.2	3.8	3.8	4.2	4.1	4.2	4.1
Q17 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	4.3	4.0	4.0	4.4	4.2	4.2	4.3
Q19 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0	3.9
Q20 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.1	4.0	4.2	4.0
Q21 平均値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	4.0	3.9	3.9	3.9
有効回答数	1,332			1,694			1,129		

(学部)学科等	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.1
Q5 平均値	2.9	2.6	3.2	3.6	3.4	3.9	3.8	3.7	4.1
Q6 平均値	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.2
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.6
Q8 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.1
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.1
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9
Q14 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.2	4.0	3.9	4.1
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	4.0	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	3.9
Q21 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8
有効回答数	798			1,060			782		

(学部)学科等	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.3	4.1	4.2	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4
Q5 平均値	3.5	3.2	3.8	3.4	2.8	3.8	3.3	2.8	3.7
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4
Q7 平均値	3.8	3.9	3.7	3.7	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.1	3.7	4.3	4.2	4.3	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.6	4.1	3.9	3.9	4.0
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.0	4.0	3.9	4.0
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.6	4.1	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	3.9	4.4	4.3	4.3	4.3
Q15 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	3.9	4.3	4.0	3.9	4.1
Q16 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.2	4.2	4.2
Q19 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.4	3.9	3.8	3.8	3.9
Q20 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	4.0	4.0	3.9	4.0
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.8	3.8	3.8	3.9
有効回答数	1,273			712			562		

(学部)学科等	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1
Q5 平均値	3.6	3.1	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	3.4	3.9
Q6 平均値	1.4	1.3	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8
Q8 平均値	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4
Q10 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.0	3.9
Q11 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0
Q12 平均値	3.9	4.0	3.8	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	3.8	4.1	3.5	4.2	4.4	4.1	4.0	4.1	4.0
Q14 平均値	4.1	4.3	4.0	4.3	4.5	4.3	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値	4.0	4.2	3.7	4.2	4.5	4.1	4.1	4.2	4.1
Q16 平均値	3.6	3.8	3.5	4.1	4.3	3.9	4.0	3.9	4.0
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.8	4.2	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.9	3.9	3.8	4.1	4.3	4.1	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8
有効回答数	539			632			2,116		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2
Q5 平均値	3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.9	3.6	3.4	3.9
Q6 平均値	1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.7	1.4	1.4	1.4
Q7 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q20 平均値	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
有効回答数	3,951			1,536			1,751		

(学部)学科等	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
Q5 平均値	3.4	3.1	3.7	3.4	3.3	3.5	3.2	3.1	3.5	3.5
Q6 平均値	1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
Q7 平均値	3.7	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2
Q10 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9
Q12 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0
Q13 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2
Q15 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2
Q16 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0
Q17 平均値	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1
Q19 平均値	3.7	3.6	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
Q20 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	3.7	3.7	3.9
Q21 平均値	3.6	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8
有効回答数	4,839			2,658			3,572			

(学部)学科等	(経営) 市場戦略			(医療健康科)			(GMS)			
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	4.7	4.7	4.7	4.1	4.1	4.1	4.2
Q5 平均値	3.4	3.3	3.8	2.2	2.2	2.2	3.3	3.5	3.5	3.0
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.5	1.4	1.4	1.7
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	4.0	3.9	3.9	4.2
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	3.8	3.8	4.0	3.7	3.7	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0
Q11 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.2
Q12 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.0	4.0	4.0	4.1
Q13 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.6	4.1	4.0	4.0	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	3.8	4.2	4.1	4.1	4.5
Q16 平均値	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.1	4.2
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	3.8	4.1	4.1	4.1	4.3
Q19 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.5	4.0	3.9	3.9	4.1
Q20 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.1	4.0	4.0	4.2
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.9	3.9	3.9	4.0
有効回答数	1,553			960			1,169			

(学部)学科等	(総合教育研究) 文化学			(総合教育研究) 自然科学			(総合教育研究) 日本文化		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0
Q5 平均値	3.6	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値	3.6	3.7	3.6	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0
Q8 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	3.8	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q11 平均値	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	4.3
Q14 平均値	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.0	4.2	3.9	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
Q16 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2
Q19 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1
Q20 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0
有効回答数	3,664			1,827			965		

(学部)学科等	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4
Q5 平均値	2.3	2.8	2.2	2.7	2.9	2.6	3.2	3.4	2.9
Q6 平均値	1.6	1.7	1.5	1.6	1.6	1.7	1.2	1.2	1.1
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.4	4.4	4.3
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.2
Q10 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9
Q11 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.0	3.8	4.0	4.1	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8
Q14 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値	3.9	3.7	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2
Q19 平均値	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	4.3	4.3
Q20 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	4.0	3.9	4.3	4.3	4.3
Q21 平均値	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	4.2	4.2	4.2
有効回答数	4,909			2,393			1,109		

(学部)学科等	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤	専任	非常勤
Q 4 平均値	4.3	4.3	4.3
Q 5 平均値	3.9	3.8	4.0
Q 6 平均値	1.3	1.4	1.2
Q 7 平均値	3.9	3.9	3.9
Q 8 平均値	4.3	4.4	4.3
Q 9 平均値	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.0	4.1	4.0
Q11 平均値	4.1	4.2	4.0
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	4.1	4.2	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.2
Q15 平均値	4.2	4.3	4.2
Q16 平均値	4.0	4.1	4.0
Q17 平均値	4.1	4.2	4.1
Q18 平均値	4.1	4.2	4.0
Q19 平均値	4.0	4.1	4.0
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	3.9	4.0	3.9
有効回答数	1,449		

表 3 学科等別平均値 (全体)

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	専任・非常勤	専任	非常勤	専任・非常勤	専任	非常勤	専任・非常勤	専任	非常勤
Q 4 平均値	4.1	4.1	3.7	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2
Q 5 平均値	2.6	2.6	2.3	2.6	2.6	3.6	3.0	2.5	3.1
Q 6 平均値	1.3	1.2	1.5	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.4
Q 7 平均値	3.6	3.6	3.8	3.6	3.6	4.1	3.9	3.9	3.9
Q 8 平均値	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	4.5	4.4	4.4	4.4
Q 9 平均値	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	4.3	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	4.1	4.0
Q13 平均値	3.8	3.8	4.2	3.9	3.9	4.3	4.2	4.3	4.2
Q14 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.1	4.1	4.3	4.0	4.0	4.2	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値	3.7	3.7	4.2	3.8	3.8	4.2	4.1	4.2	4.1
Q17 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	4.3	4.0	4.0	4.4	4.2	4.2	4.3
Q19 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0	3.9
Q20 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.1	4.0	4.2	4.0
Q21 平均値	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	4.0	3.9	3.9	3.9
有効回答数	1,481			1,751			1,129		

(学部)学科等	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.4	4.2	4.3	4.4	4.2
Q5 平均値	2.8	2.6	3.0	3.7	3.5	3.9	3.8	3.7	4.2
Q6 平均値	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.2
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.6
Q8 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.1
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.1
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0
Q14 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	3.9	4.0	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8
有効回答数	931			1,967			1,531		

(学部)学科等	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.3	4.1	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5
Q5 平均値	3.4	3.1	3.8	3.6	2.8	4.0	3.3	2.7	3.8
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4
Q7 平均値	3.8	3.9	3.7	3.8	3.6	3.9	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.1	3.7	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.2	3.9	4.4	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	3.9	3.8	4.0	4.0	3.6	4.1	3.9	3.8	3.9
Q11 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.6	4.2	4.1	4.2	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	3.9	4.4	4.3	4.3	4.3
Q15 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	3.9	4.3	4.1	4.0	4.1
Q16 平均値	3.8	3.7	3.8	4.0	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0
Q17 平均値	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.3	4.3	4.3
Q19 平均値	3.8	3.8	3.7	3.7	3.4	3.9	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9	3.5	4.1	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.7	3.4	3.9	3.9	3.8	3.9
有効回答数	1,390			851			722		

(学部)学科等	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4	4.2	4.2	4.2
Q5 平均値	3.5	3.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	3.4	4.0
Q6 平均値	1.4	1.3	1.4	1.3	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5
Q10 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9
Q11 平均値	4.0	4.2	3.9	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	3.8	4.1	3.6	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	3.7	4.1	3.3	4.1	4.3	4.0	4.0	4.1	4.0
Q14 平均値	4.0	4.2	3.8	4.3	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値	3.9	4.2	3.5	4.1	4.4	4.0	4.1	4.2	4.1
Q16 平均値	3.6	3.9	3.3	4.0	4.3	3.9	4.0	3.9	4.0
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	4.1	3.7	4.1	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値	3.7	3.9	3.5	3.9	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.8	4.0	3.5	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値	3.6	3.8	3.4	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
有効回答数	1,515			1,540			2,659		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
Q5 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.5	3.8
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.6	1.4	1.4	1.4
Q7 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	4.2	4.3	4.2
Q16 平均値	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.8	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
有効回答数	9,796			4,475			4,790		

(学部)学科等	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1
Q5 平均値	3.3	2.9	3.7	3.3	3.2	3.6	3.2	3.0	3.6
Q6 平均値	1.5	1.6	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.4	1.5
Q7 平均値	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2
Q10 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9
Q11 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	3.9
Q12 平均値	3.8	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	3.9
Q13 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1
Q15 平均値	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
Q16 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q18 平均値	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
Q19 平均値	3.7	3.6	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7	3.8
Q20 平均値	3.8	3.7	3.9	4.0	4.0	3.9	3.7	3.7	3.8
Q21 平均値	3.6	3.5	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7
有効回答数	5,558			3,492			4,303		

(学部)学科等	(経営) 市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.1	4.2	4.0	4.7	4.7	4.7	4.2	4.1	4.3
Q5 平均値	3.3	3.2	3.8	2.1	2.1	2.1	3.0	3.2	2.7
Q6 平均値	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.7
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	4.1
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.4	4.3	4.4
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	3.8	3.7	4.0	3.7	3.7	3.6	3.9	3.9	3.9
Q11 平均値	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	3.8	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.7	3.7	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	4.1
Q13 平均値	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3
Q15 平均値	3.8	3.8	3.9	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.4
Q16 平均値	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2
Q17 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.3
Q19 平均値	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	4.1
Q20 平均値	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	4.1
Q21 平均値	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.9
有効回答数	2,375			2,239			4,312		

(学部)学科等	(総合教育研究) 文化学			(総合教育研究) 自然科学			(総合教育研究) 日本文化			
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1
Q5 平均値	3.7	3.6	3.8	4.0	3.9	4.1	3.8	3.5	4.2	4.2
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	4.0	4.0
Q8 平均値	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.4	4.4
Q9 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5
Q10 平均値	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.2	4.2
Q11 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2
Q12 平均値	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	4.1	4.1
Q13 平均値	3.9	4.0	3.9	3.9	4.0	3.8	4.0	3.9	4.2	4.2
Q14 平均値	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3
Q15 平均値	4.0	4.2	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2
Q16 平均値	3.8	4.0	3.7	3.9	4.0	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.9	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.2	4.2
Q19 平均値	3.8	3.9	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	4.0	4.0
Q20 平均値	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	4.1	4.1
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9
有効回答数	4,381			4,974			2,382			

(学部)学科等	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学			
	専任・非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q5 平均値	2.3	2.5	2.2	2.7	2.7	2.7	3.3	3.4	2.9	2.9
Q6 平均値	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.2	1.2	1.1	1.1
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.3	4.3
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4	4.4
Q9 平均値	4.4	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.2	4.2
Q10 平均値	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9
Q11 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	3.8	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9	4.2	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	3.9	3.7	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8
Q14 平均値	4.1	3.9	4.1	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.1	3.8	4.1	4.2	4.2	4.1	4.5	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9
Q17 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2	4.2
Q19 平均値	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.9	4.2	4.2	4.3	4.3
Q20 平均値	3.7	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9	4.2	4.2	4.3	4.3
Q21 平均値	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	4.1	4.1	4.2	4.2
有効回答数	13,467			5,894			1,549			

(学部)学科等	(総合教育研究) 教職課程		
	全体	専任	非常勤
専任・非常勤			
Q 4 平均値	4.4	4.4	4.4
Q 5 平均値	3.9	3.8	3.9
Q 6 平均値	1.3	1.3	1.3
Q 7 平均値	3.9	3.9	3.9
Q 8 平均値	4.3	4.4	4.3
Q 9 平均値	4.4	4.5	4.4
Q10 平均値	4.0	4.1	4.0
Q11 平均値	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.0
Q13 平均値	4.1	4.2	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.2
Q15 平均値	4.2	4.3	4.2
Q16 平均値	4.0	4.1	4.0
Q17 平均値	4.2	4.3	4.1
Q18 平均値	4.1	4.2	4.0
Q19 平均値	4.0	4.1	4.0
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	3.9	4.0	3.9
有効回答数	3,377		

Ⅱ. 学年別平均値

表 4、5 は、アンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。Q 4 と Q 5 については、前期後期とも学年ごとに差が見られる。

表 4 学年別平均値（前期実施科目）

学年	1 年	2 年	3 年	4 年
Q4 平均値	4.4	4.4	4.2	3.7
Q5 平均値	2.8	3.3	3.8	3.9
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4
Q7 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9
Q8 平均値	4.2	4.2	4.3	4.3
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	3.7	3.9	4.0	4.1
Q11 平均値	3.9	4.1	4.1	4.2
Q12 平均値	3.8	3.9	3.9	4.1
Q13 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1
Q14 平均値	4.1	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0
Q17 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1
Q19 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9
Q20 平均値	3.8	3.9	3.8	4.0
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9
有効回答数	19,122	14,714	7,154	2,907

表 5 学年別平均値（後期実施科目）

学年	1 年	2 年	3 年	4 年
Q4 平均値	4.2	4.2	4.0	3.5
Q5 平均値	3.0	3.4	3.7	3.9
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.6
Q7 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.5
Q10 平均値	3.8	4.0	4.0	4.1
Q11 平均値	3.9	4.1	4.1	4.3
Q12 平均値	3.9	4.0	4.0	4.2
Q13 平均値	3.9	4.0	4.0	4.2
Q14 平均値	4.1	4.2	4.2	4.4
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3
Q18 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2
Q19 平均値	3.8	3.9	3.8	4.0
Q20 平均値	3.8	3.9	3.9	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.8	3.9
有効回答数	22,664	16,688	8,896	2,769

Ⅲ. 入試形態別平均値

表 6、7 はアンケートの質問項目の入試形態別平均値を示したものである。留学生特別入試での入学者が、比較的高い数値を示しているようである。

表 6 入試形態別平均値（前期実施科目）

入試形態	一般入試	大学入試センター試験利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.3	4.2	4.4	4.0	4.4	4.3	4.5	3.7	4.1	4.3	4.1
Q5 平均値	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.9	3.5	3.6	3.2	3.3
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.9	1.8	1.6	1.5	1.4
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.3	4.0	4.1	4.1	3.7
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.1	4.4	4.4	4.2
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.3	4.7	4.5	4.3
Q10 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.4	3.8	4.2	4.1	3.8
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	4.0	4.3	4.2	3.8
Q12 平均値	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	4.3	3.9	4.2	4.1	3.7
Q13 平均値	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	3.8	4.2	4.1	3.8
Q14 平均値	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.4	4.1	4.5	4.4	4.0
Q15 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.4	4.2	3.9
Q16 平均値	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	4.4	4.1	4.2	4.1	3.7
Q17 平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.2	4.4	4.2	3.9
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.4	4.1	4.4	4.2	3.9
Q19 平均値	3.9	3.9	3.7	3.8	3.7	3.8	4.2	3.9	4.0	3.9	3.6
Q20 平均値	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	3.8	4.1	4.0	3.6
Q21 平均値	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7	4.2	3.8	4.0	3.8	3.5
有効回答数	23,195	4,456	3,927	1,427	4,904	4,451	592	70	311	214	350

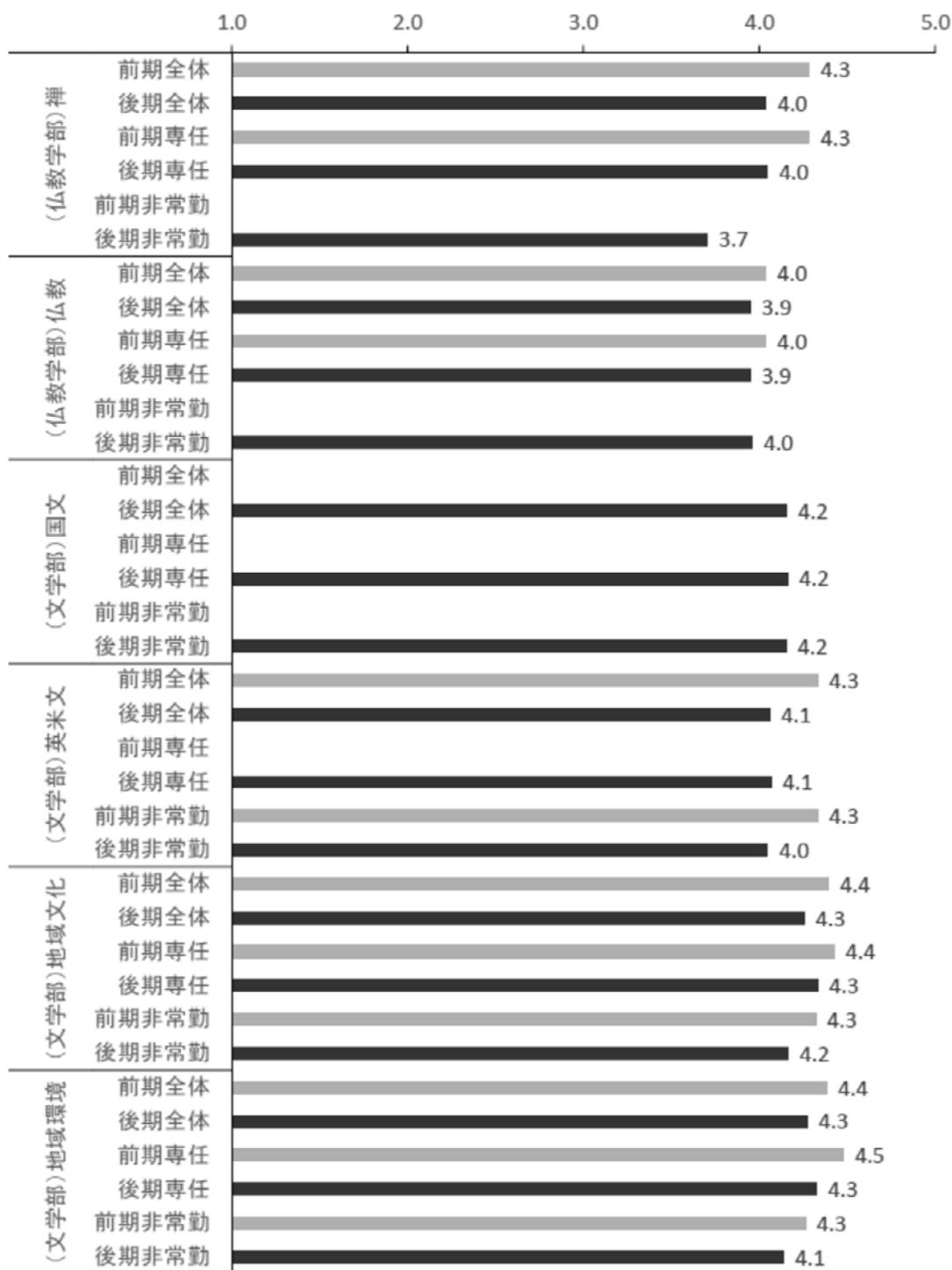
表 7 入試形態別平均値（後期実施科目）

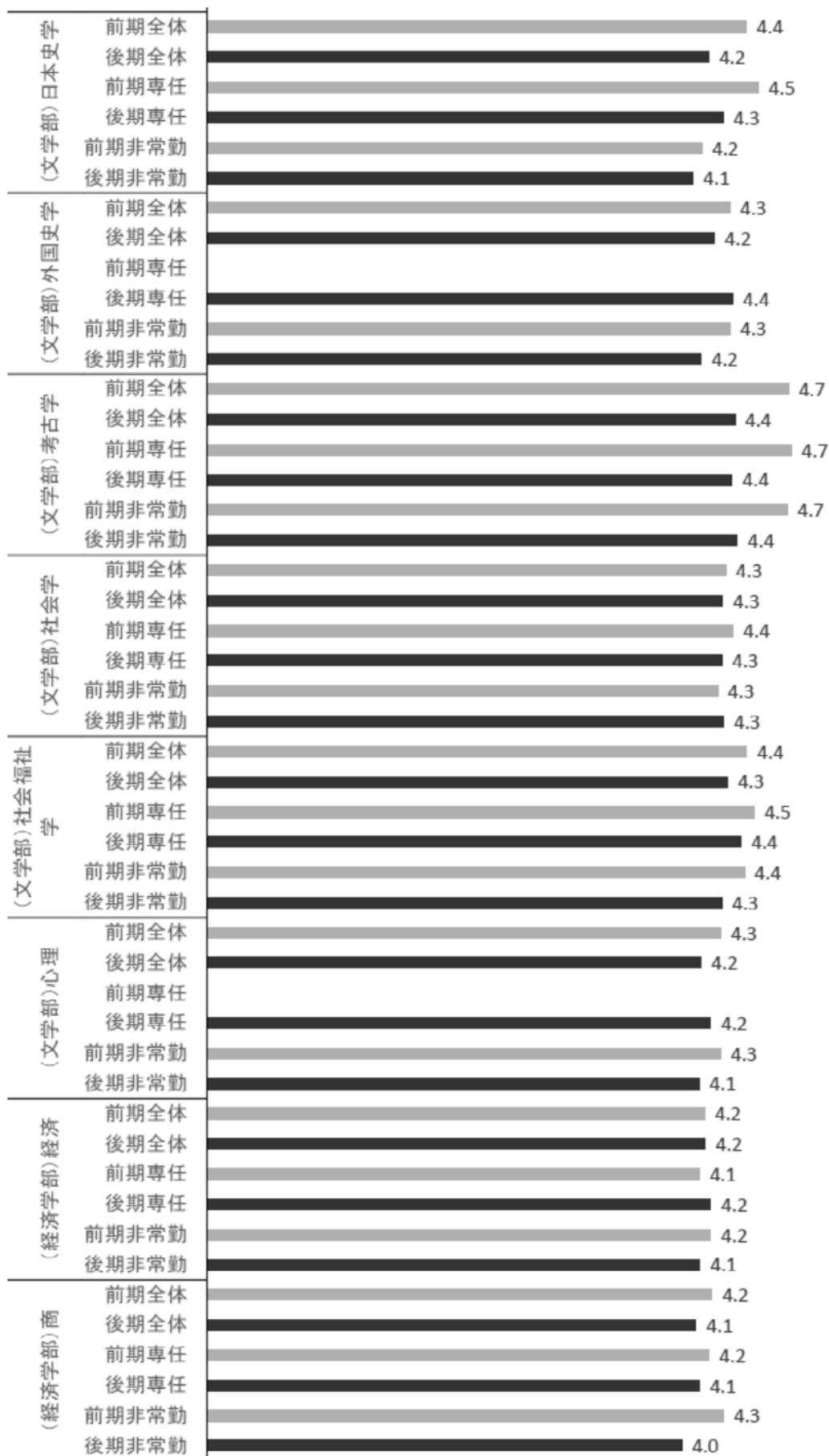
入試形態	一般入試	大学入試センター 試験利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1	4.1	4.4	3.8	3.9	4.3	4.2
Q5 平均値	3.3	3.2	3.3	3.0	3.3	3.2	3.8	3.3	3.4	3.5	3.4
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	2.0	1.8	1.5	1.5	1.6
Q7 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	4.3	3.9	3.9	3.8	3.6
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2	4.3	4.2	4.2
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.2	4.5	4.3	4.3
Q10 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	4.4	3.8	4.1	3.9	3.8
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	4.0	4.2	4.0	3.9
Q12 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	4.0	4.2	3.9	3.8
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.3	4.1	4.2	3.9	3.8
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.4	4.4	4.3	4.0
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.2	4.0
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.4	4.0	4.2	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.5	4.2	4.3	4.2	4.0
Q18 平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.4	4.2	4.3	4.1	4.0
Q19 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	3.8	4.0	3.8	3.6
Q20 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	4.2	4.0	4.1	3.9	3.7
Q21 平均値	3.8	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	4.1	3.7	4.0	3.8	3.6
有効回答数	27,050	5,261	5,131	1,400	5,572	4,610	766	65	418	333	411

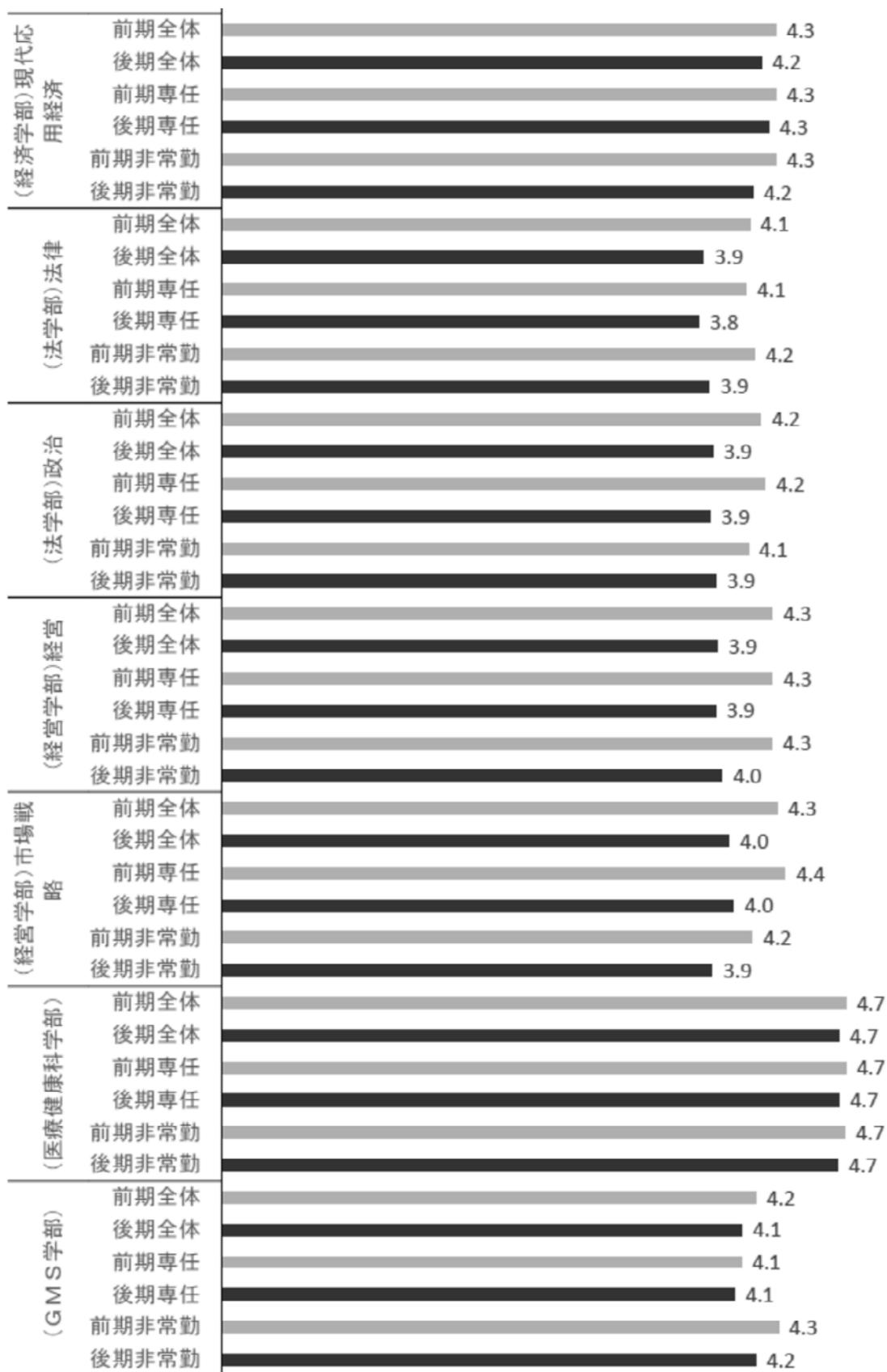
(4) 受講生の講義への取り組み

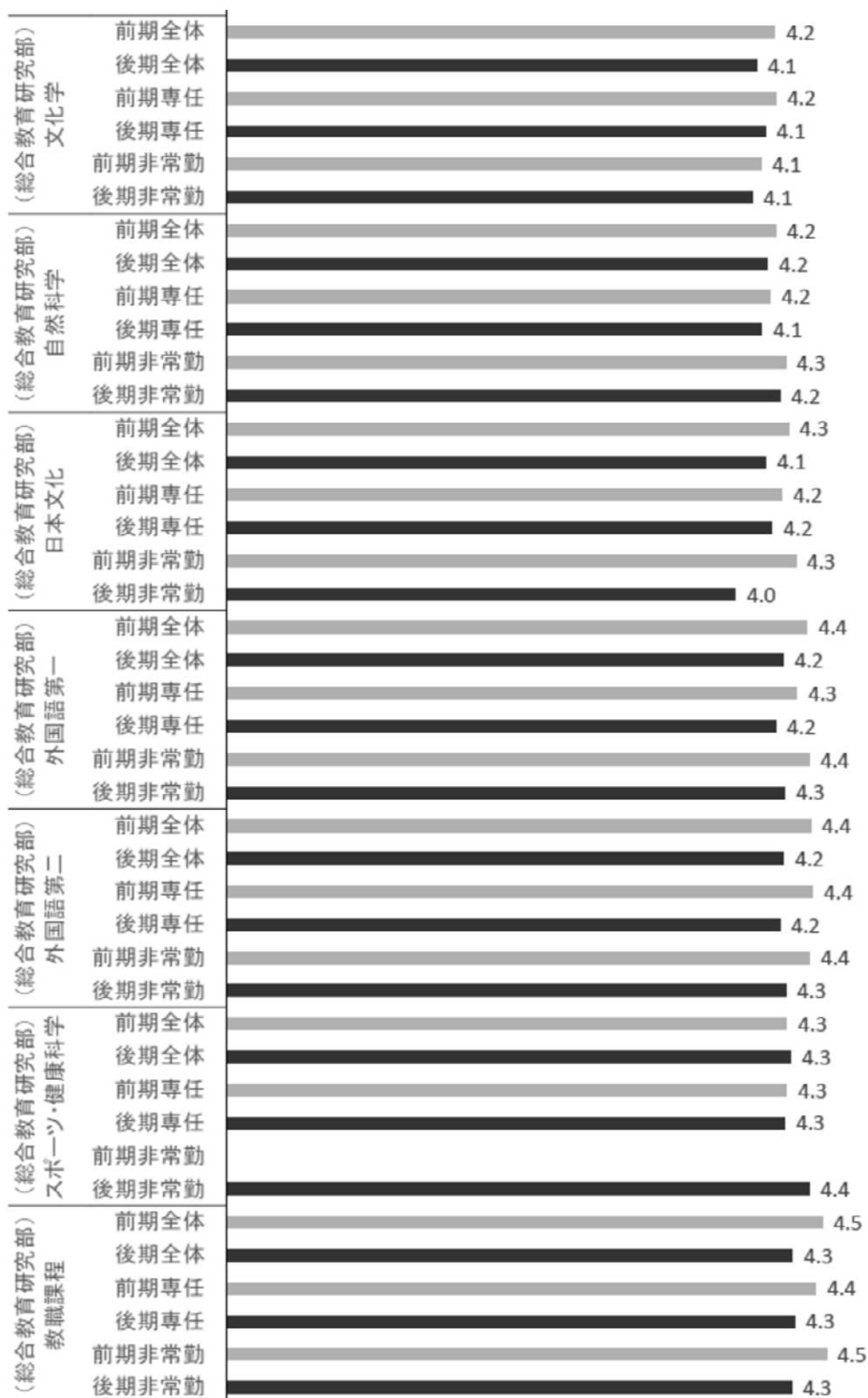
「受講生の講義への取り組み」に関しては、(3)項目別平均値における(学)部・学科・部門別の全体・専任・非常勤別平均値を提示している。なお、各グラフには前期実施科目と後期実施科目の平均値を掲載している。各アンケート項目は5段階評価で、ポイントが大きいほど良い評価となっている。

Q 4. この授業に何回欠席しましたか。
5 : 0回 4 : 1~2回 3 : 3~4回 2 : 5~6回 1 : 7回以上





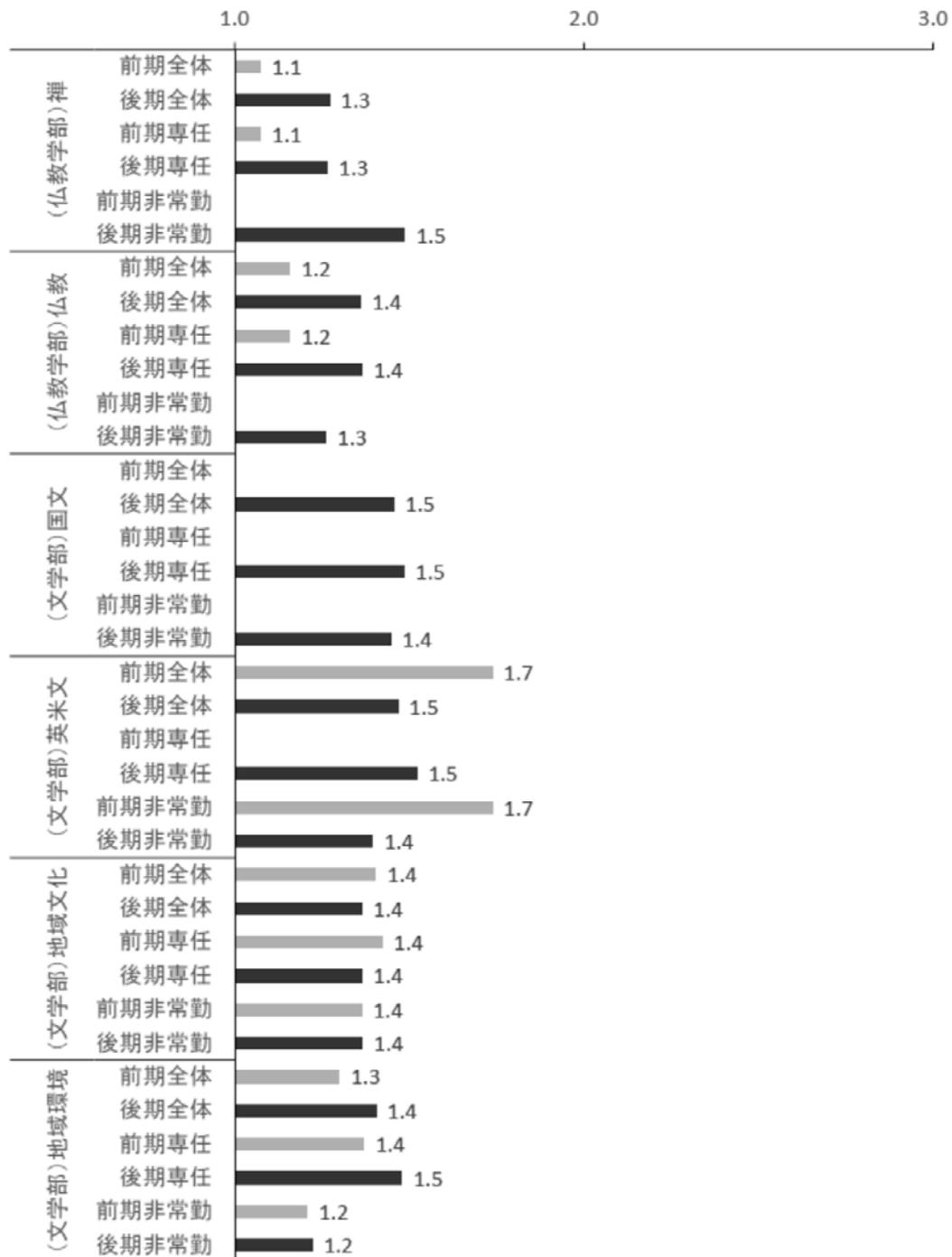


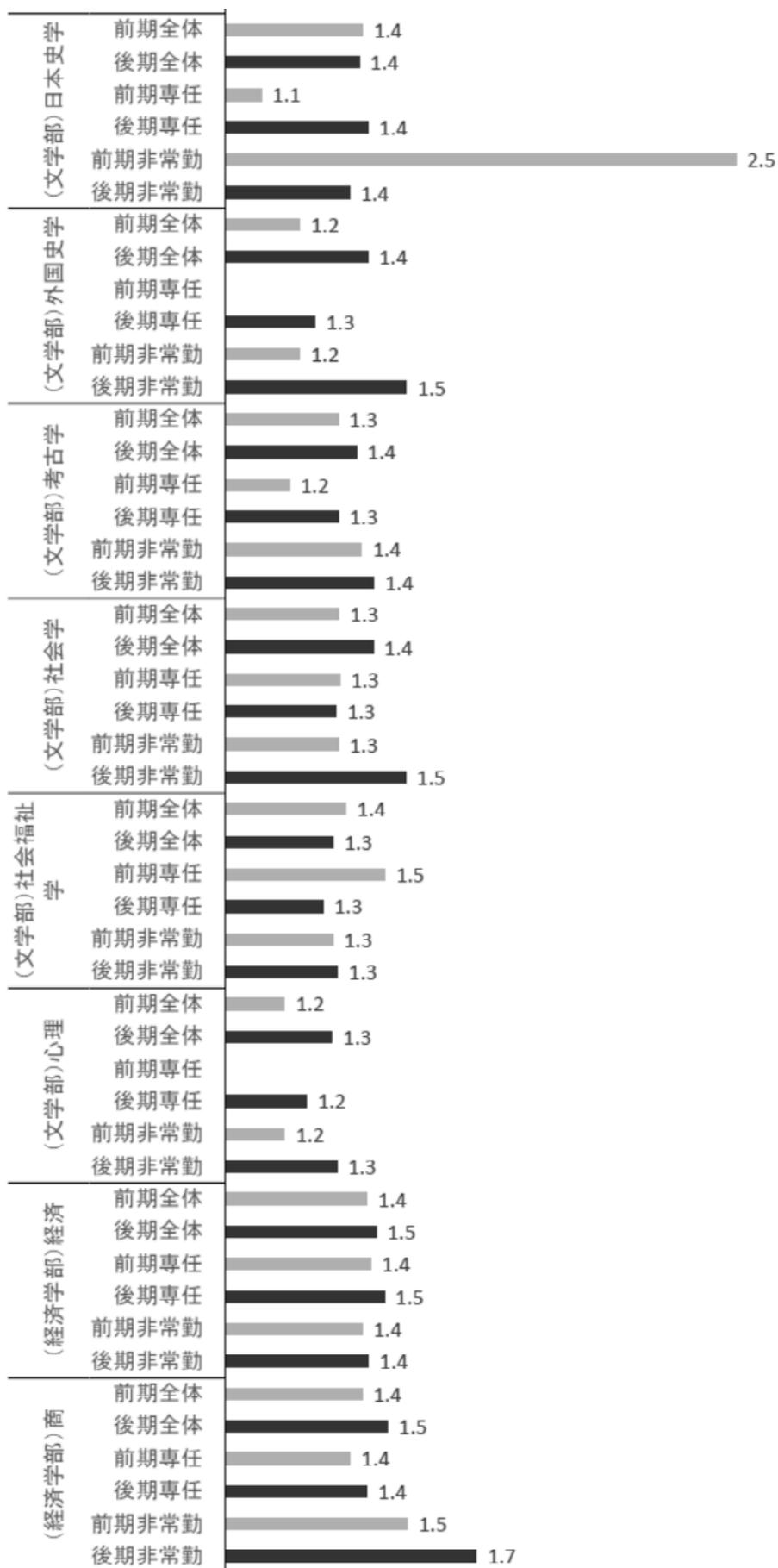


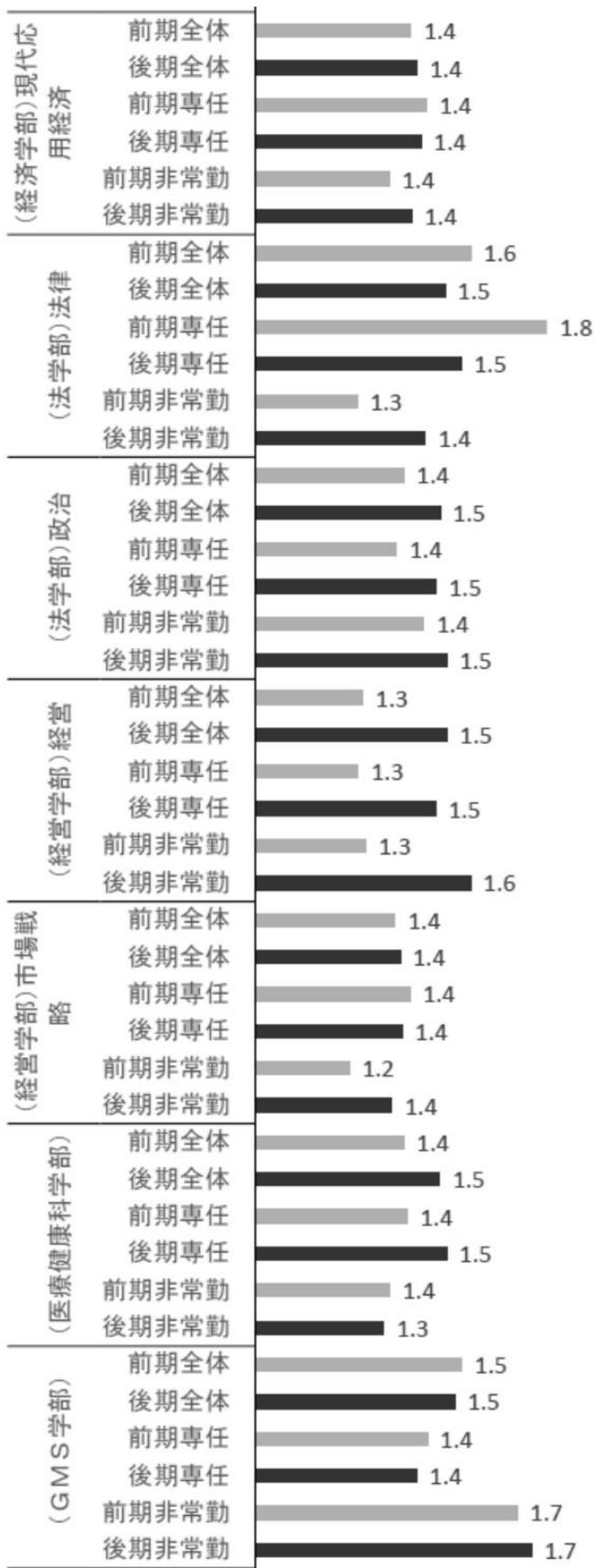
Q 6. この授業の予習・復習にあてた時間は、1週間に何時間くらいでしたか。

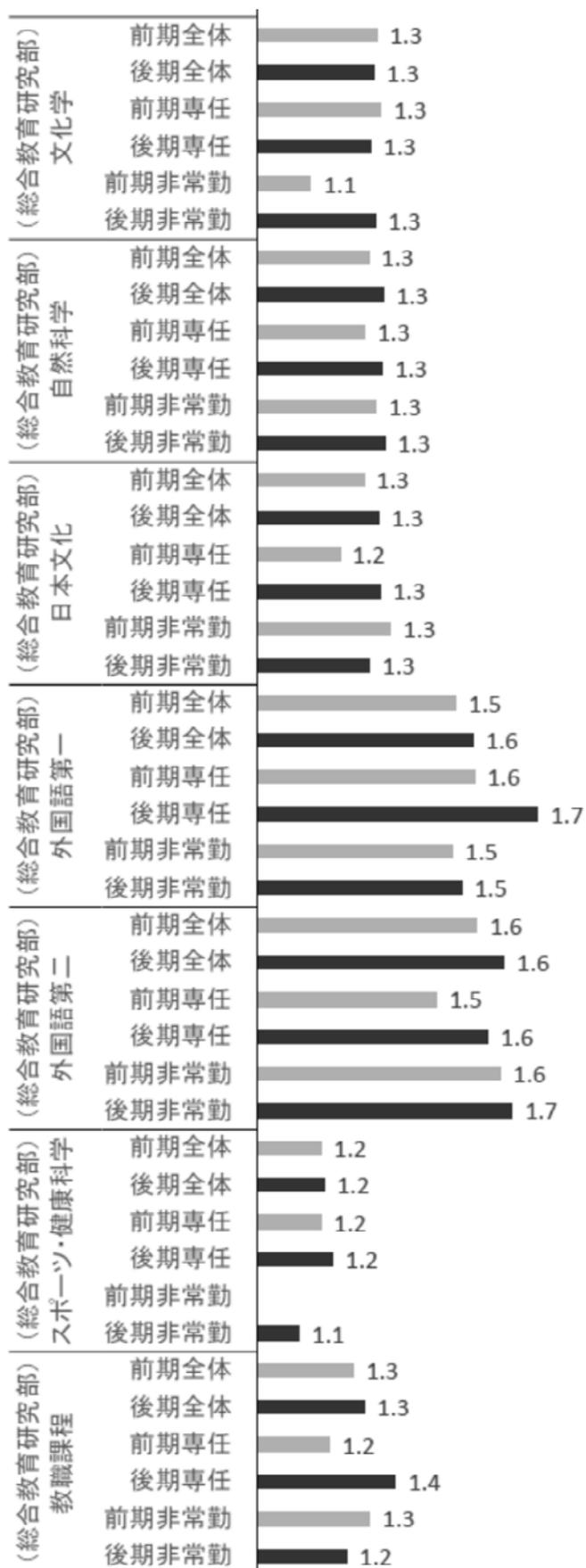
5 : 4 時間以上 4 : 3 時間以上～4 時間未満 3 : 2 時間以上～3 時間未満

2 : 1 時間以上～2 時間未満 1 : 1 時間未満



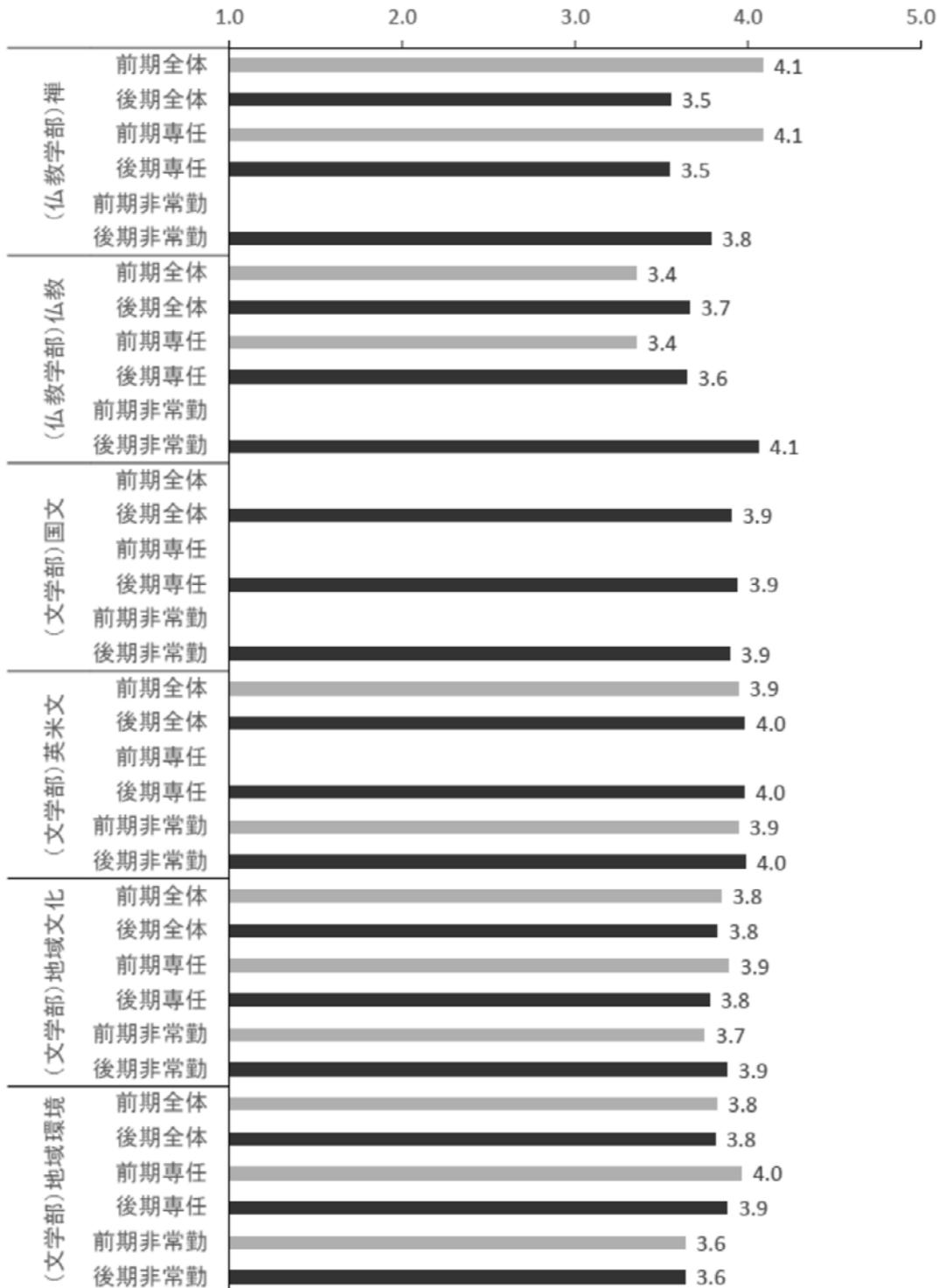


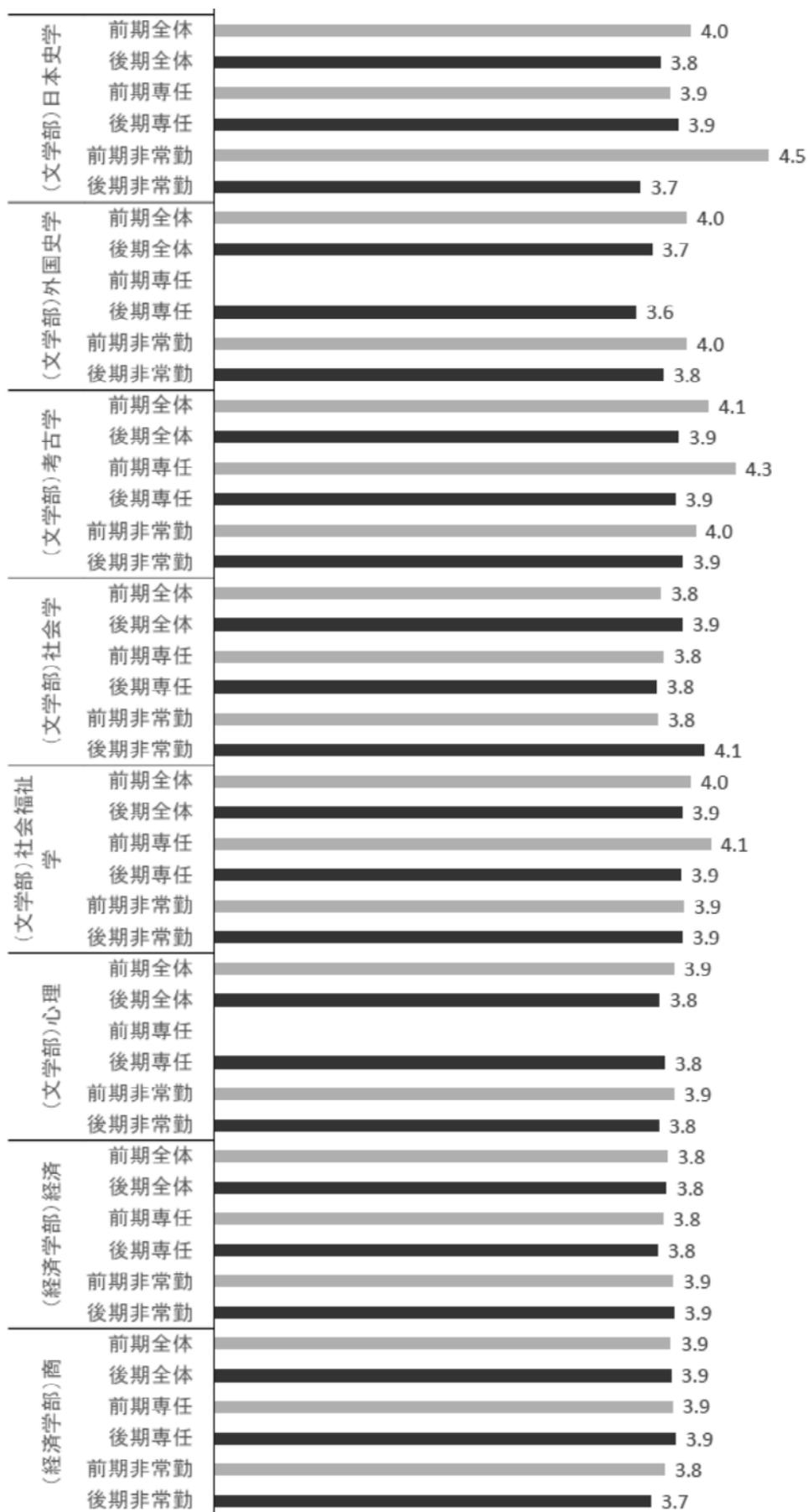


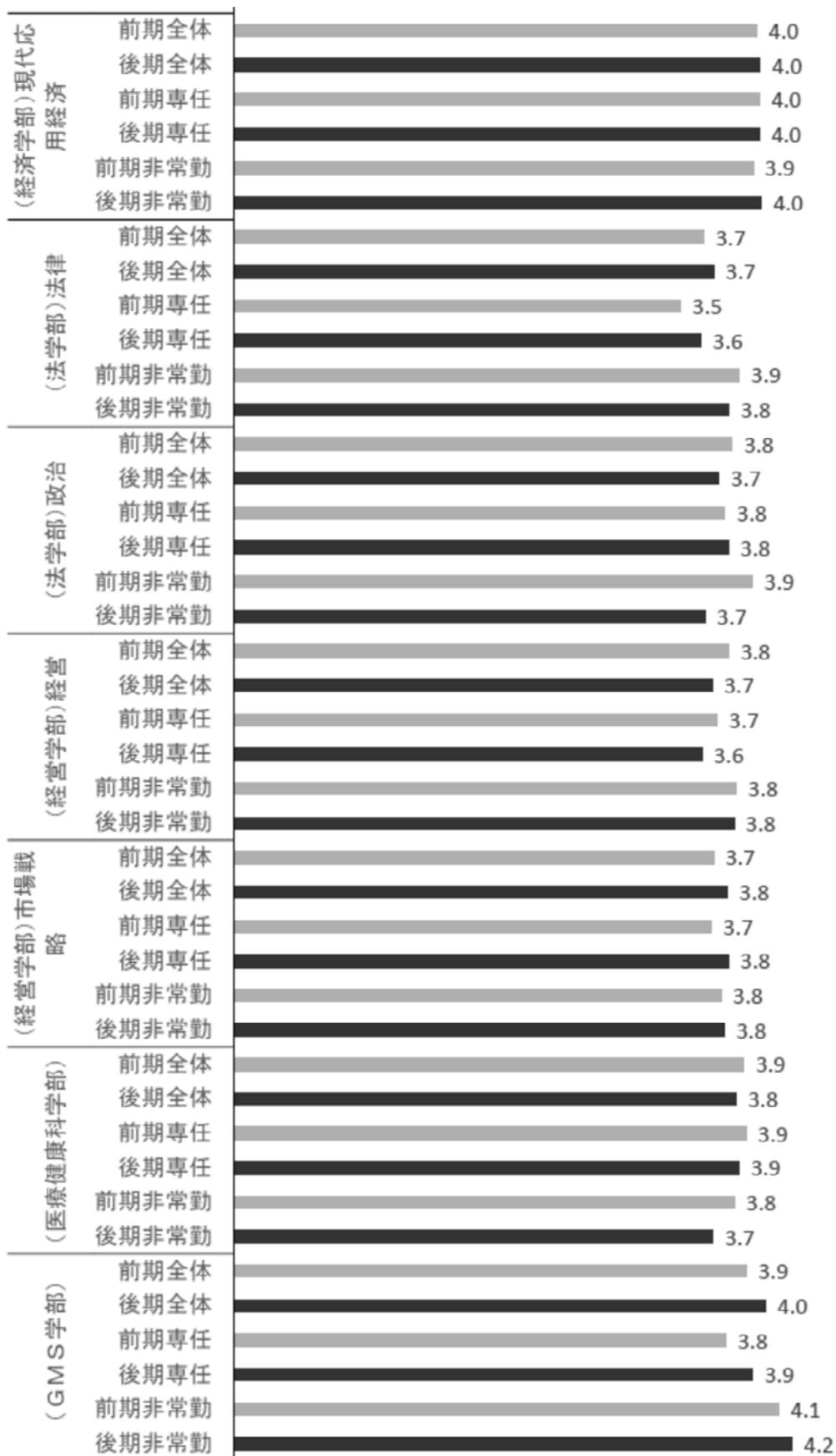


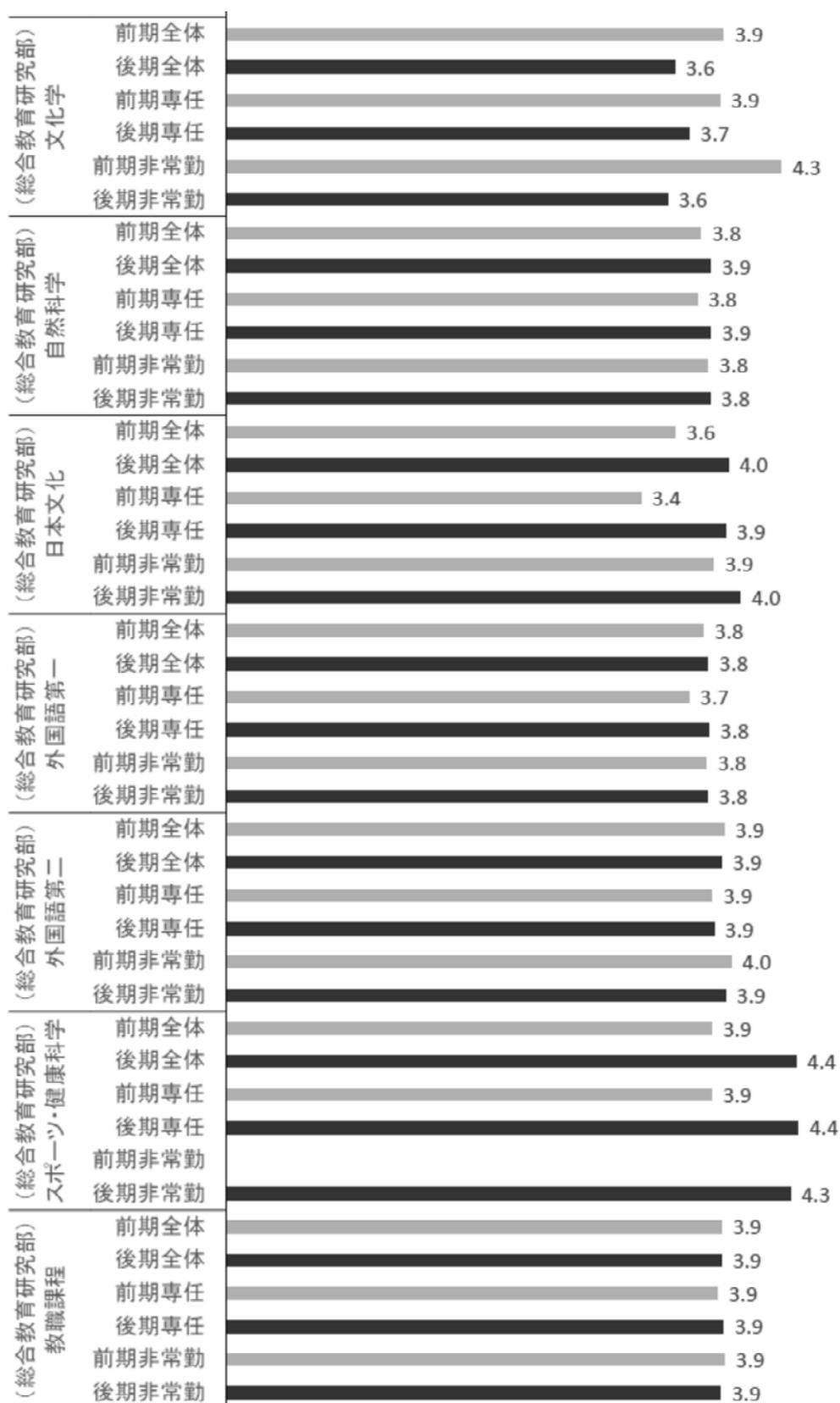
Q 7. 授業に熱心に取り組みましたか。

5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない









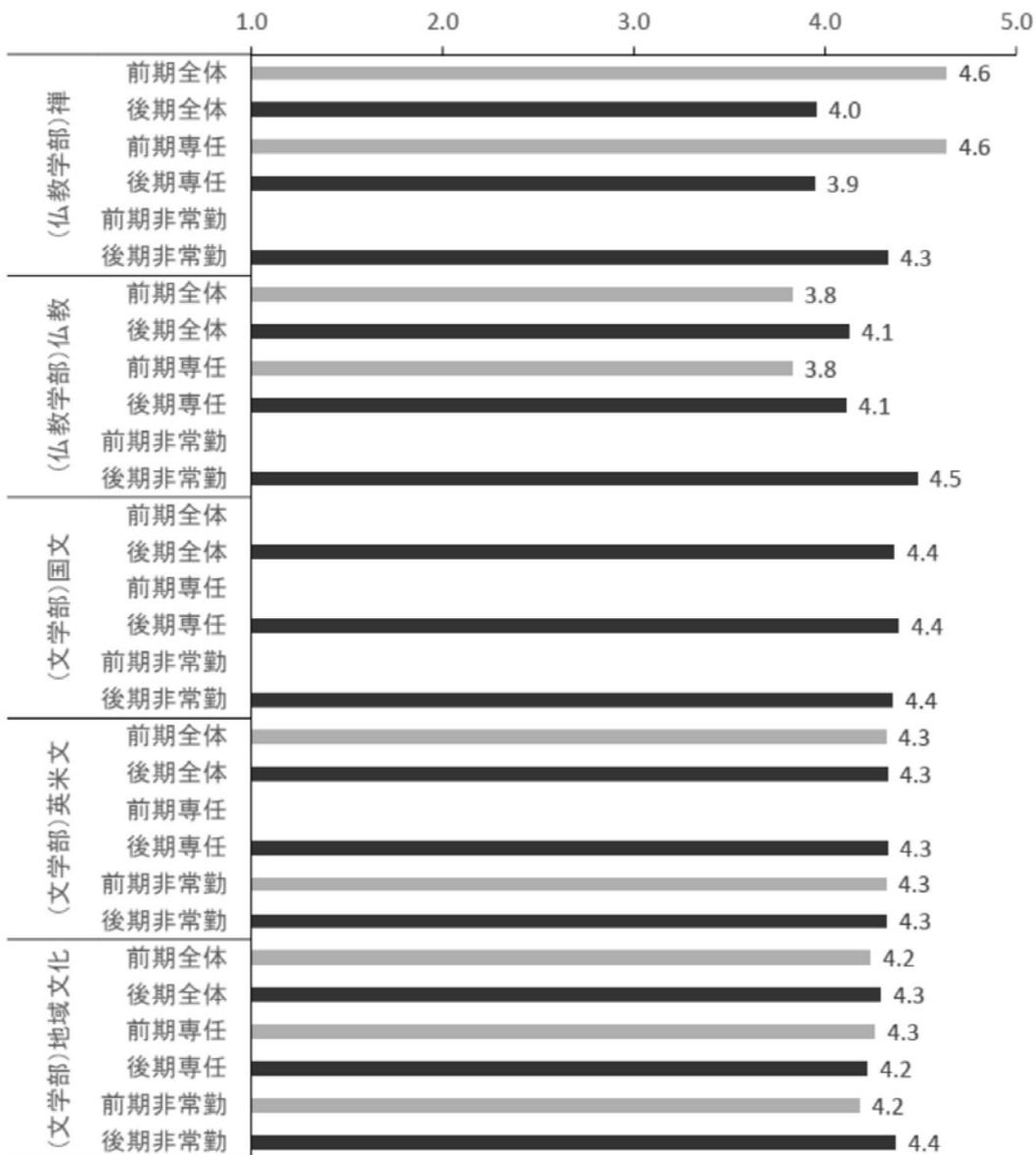
(5) 授業についての評価

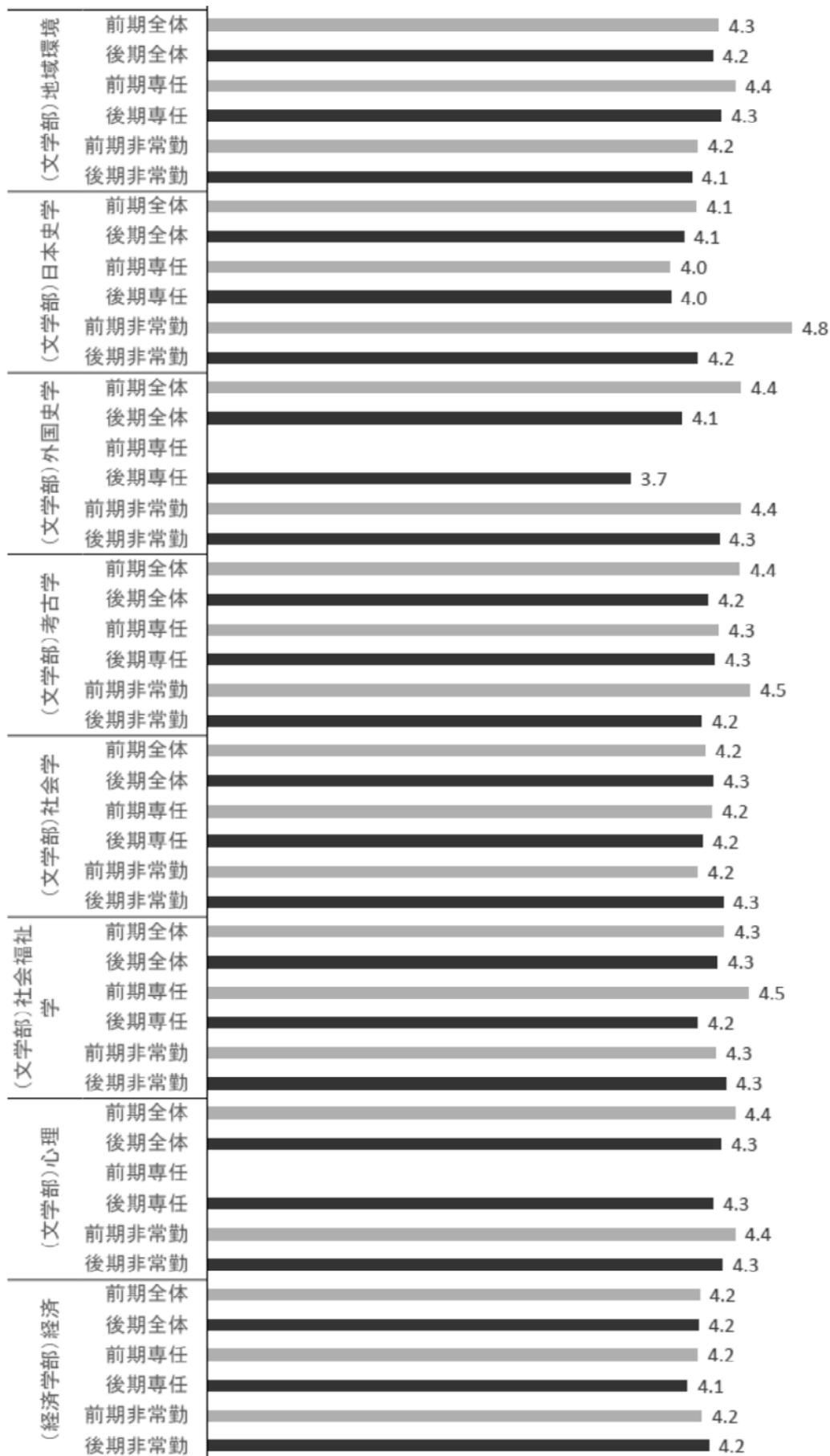
「授業についての評価」に関しては、(3) 項目別平均値における(学)部・学科・部門別専任・非常勤別平均値に基づき、授業の開始時刻・終了時刻(Q8)、休講(Q9)、シラバスについて(Q10・11)、授業の進み方(Q12)、教材・資料・機材等の使い方(Q13)、授業に対する教員の取り組み(Q14~18)、授業内容の理解度(Q19)、授業内容への興味(Q20)、学修目標の達成(Q21)を検討した。

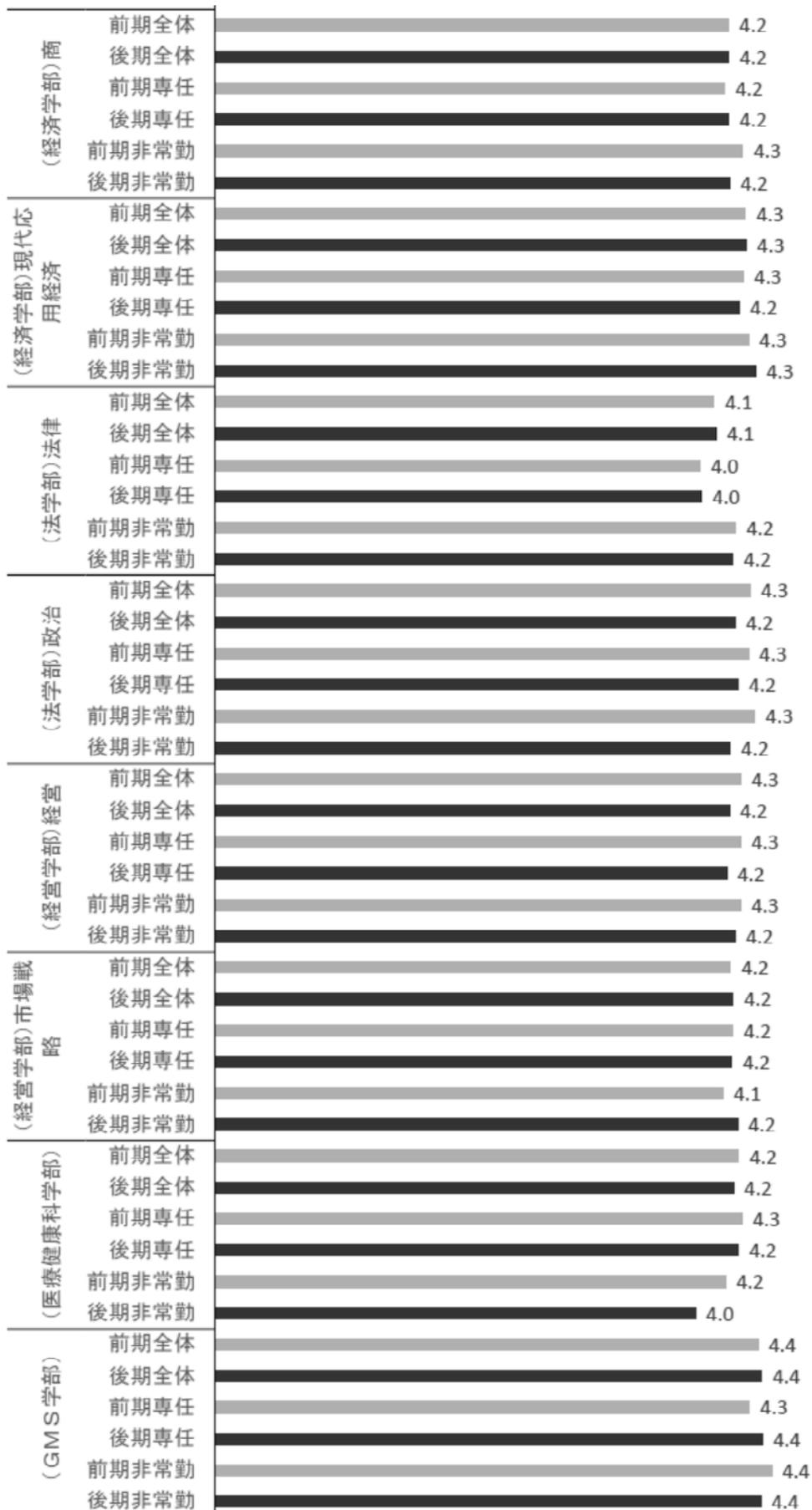
Q 8. 授業はほぼ定刻通りに行われていましたか。

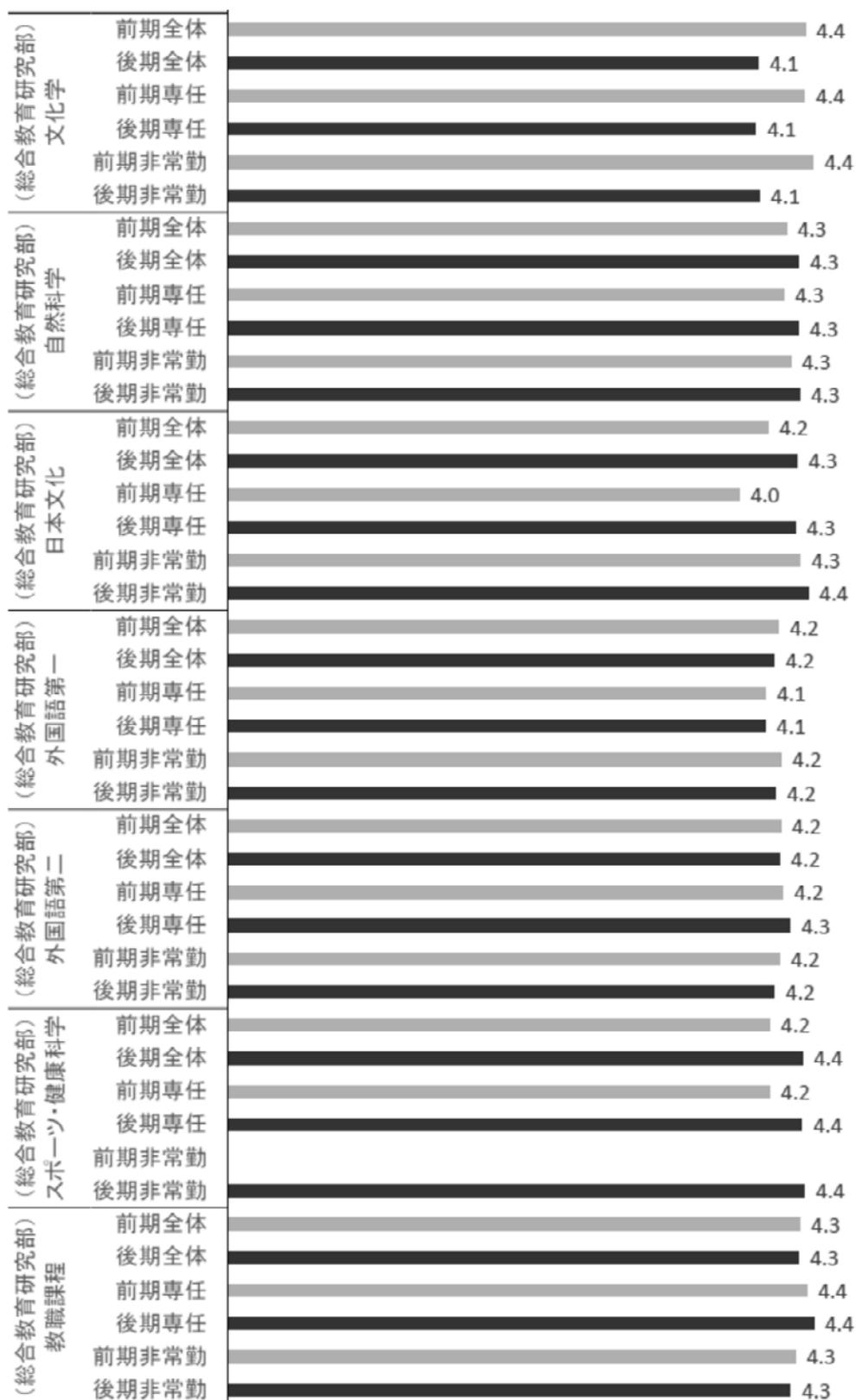
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

ほとんどの学部において、4.0 ポイント以上の値となっており、ほぼ定刻通りに行なわれていたことがわかる。





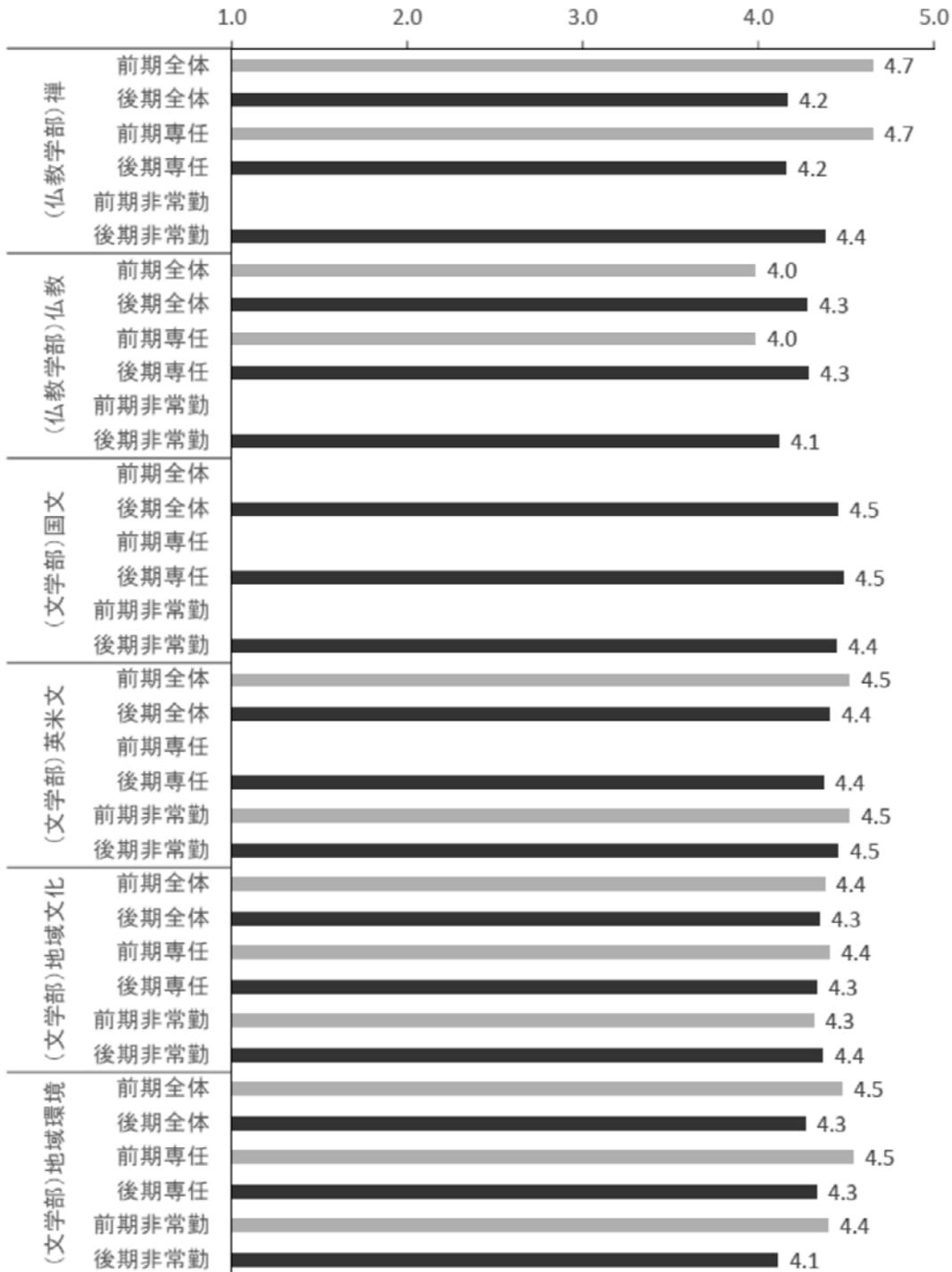


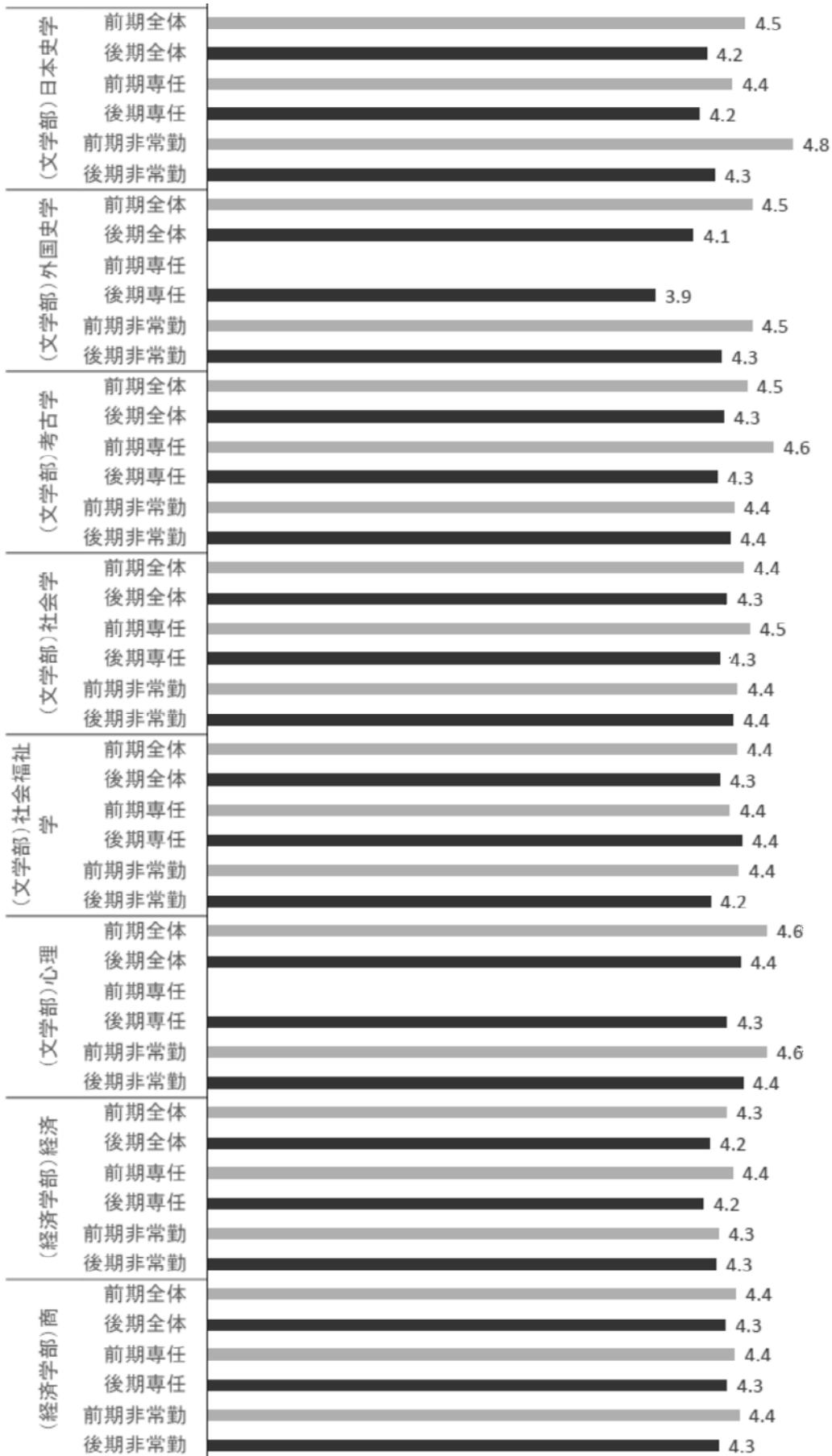


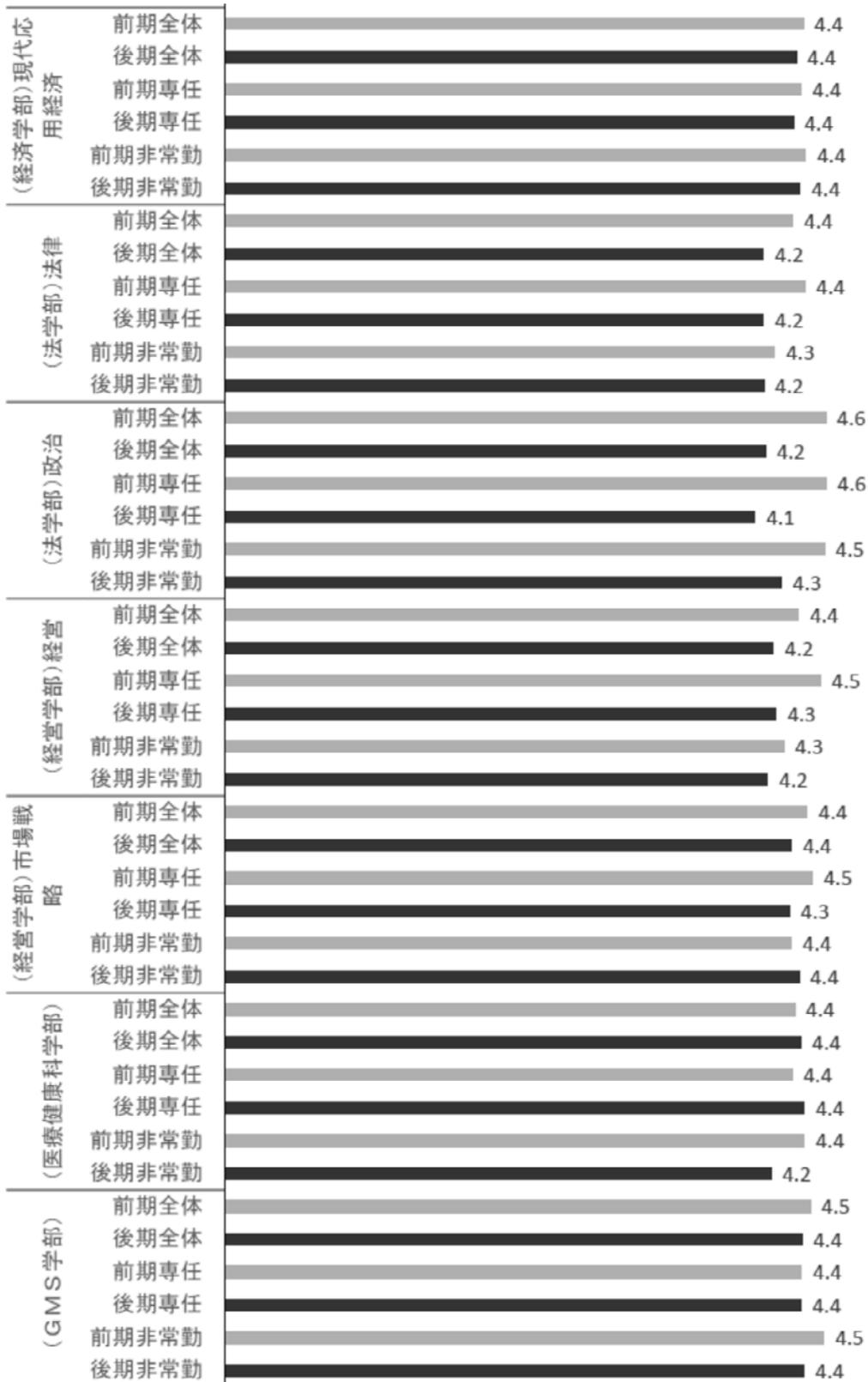
Q 9. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

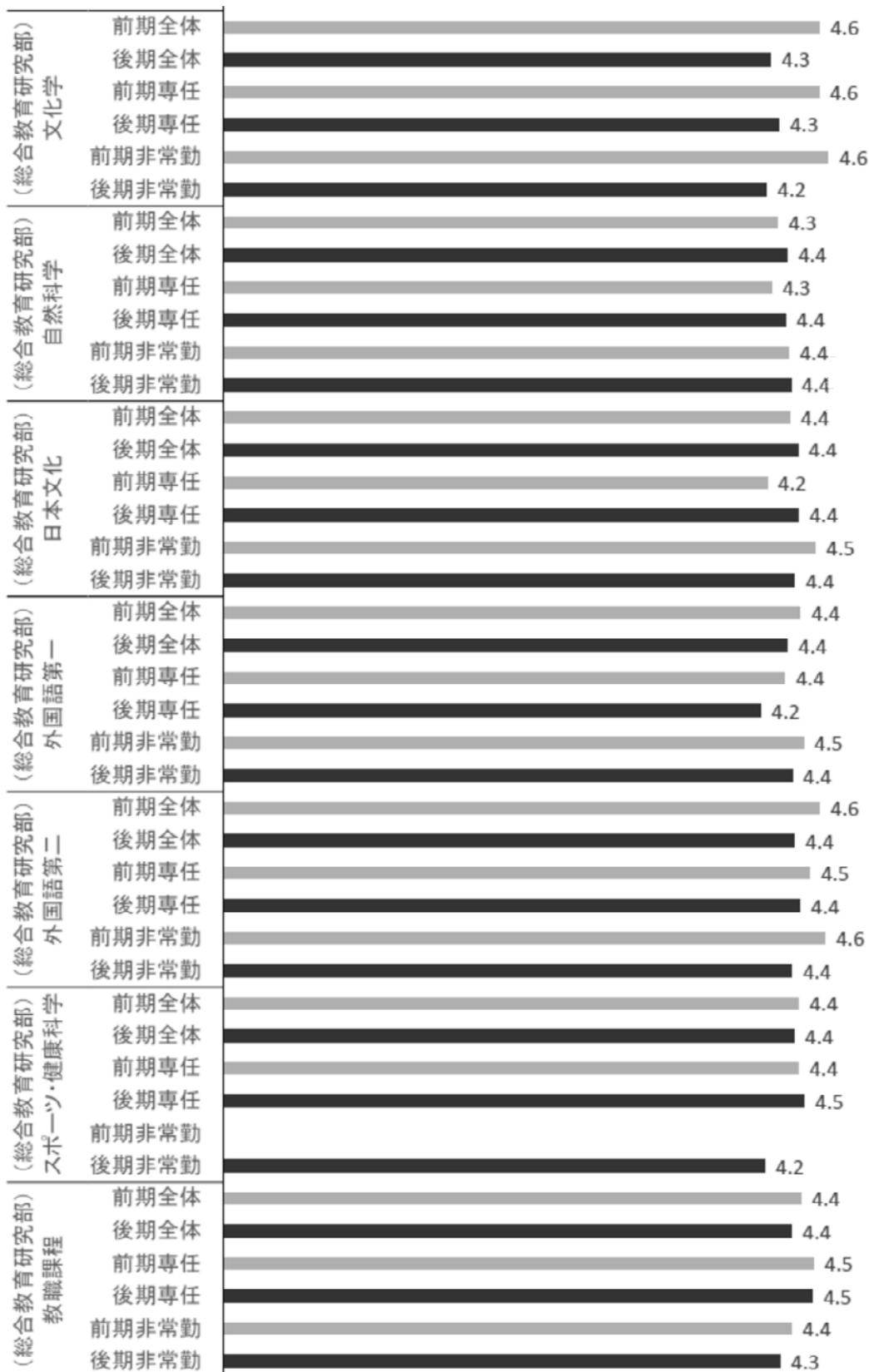
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

ほとんどの学部において、4.0 ポイント以上の値となっており、通常通り授業が実施されていたことがわかる。





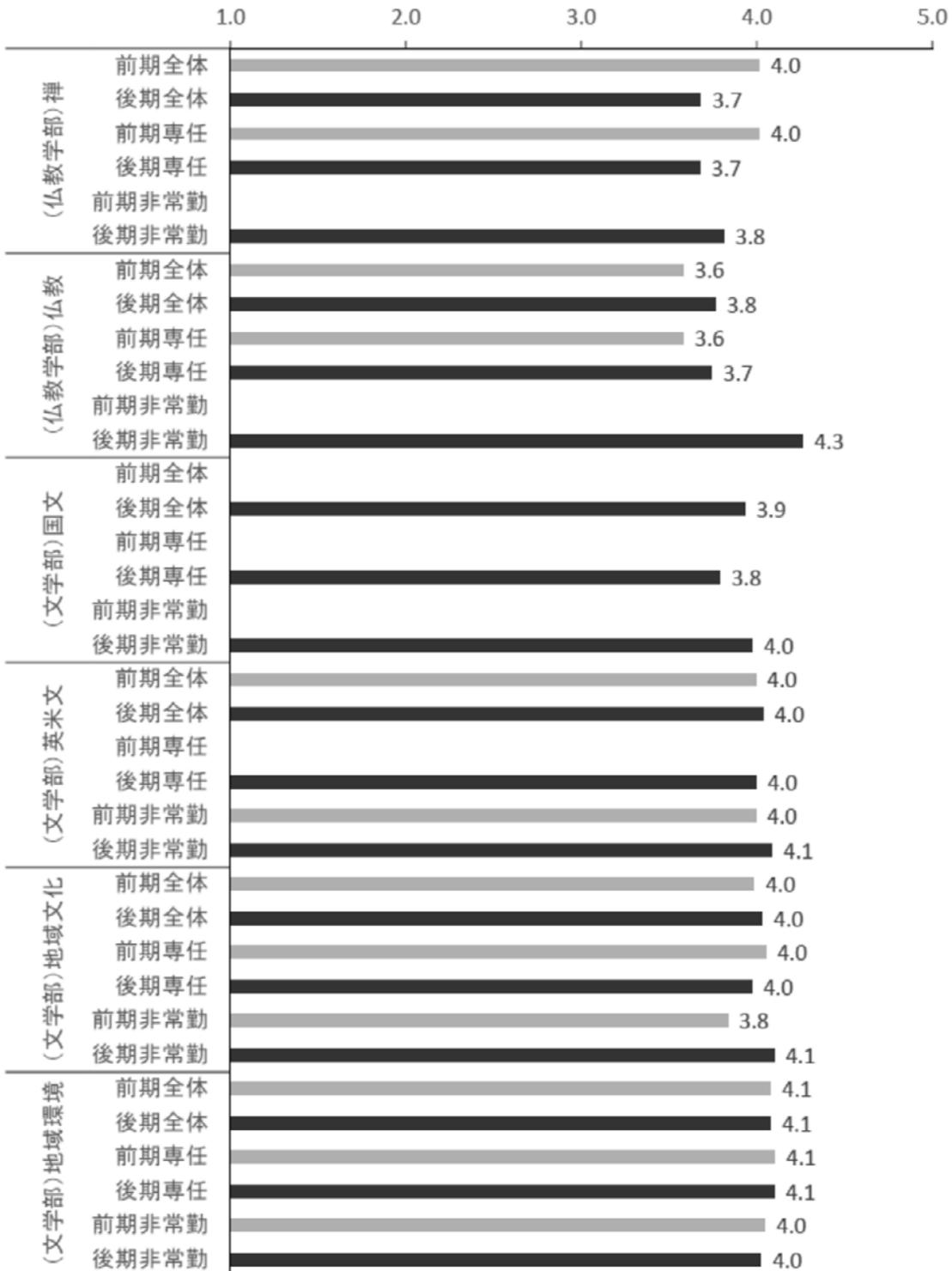


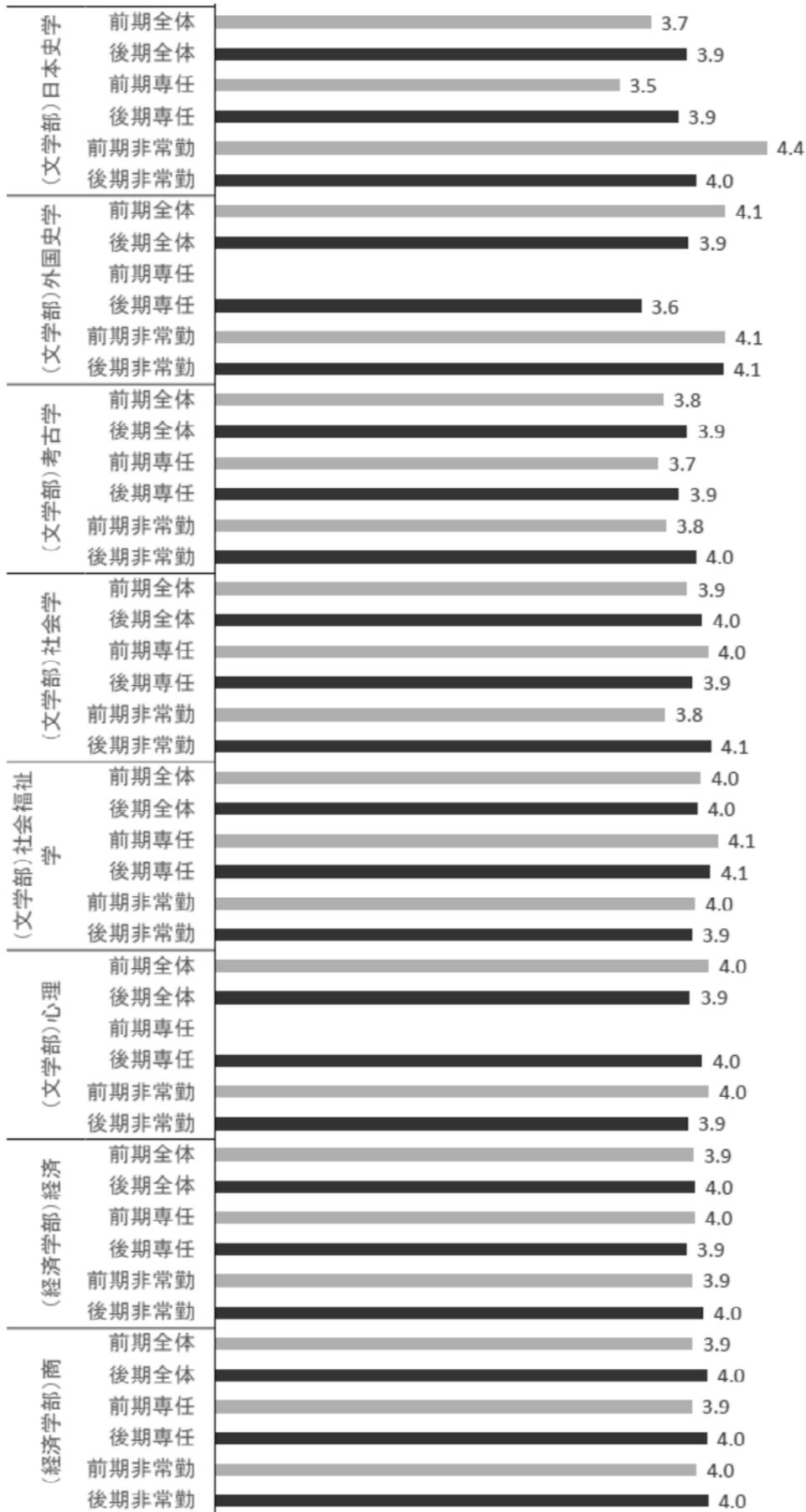


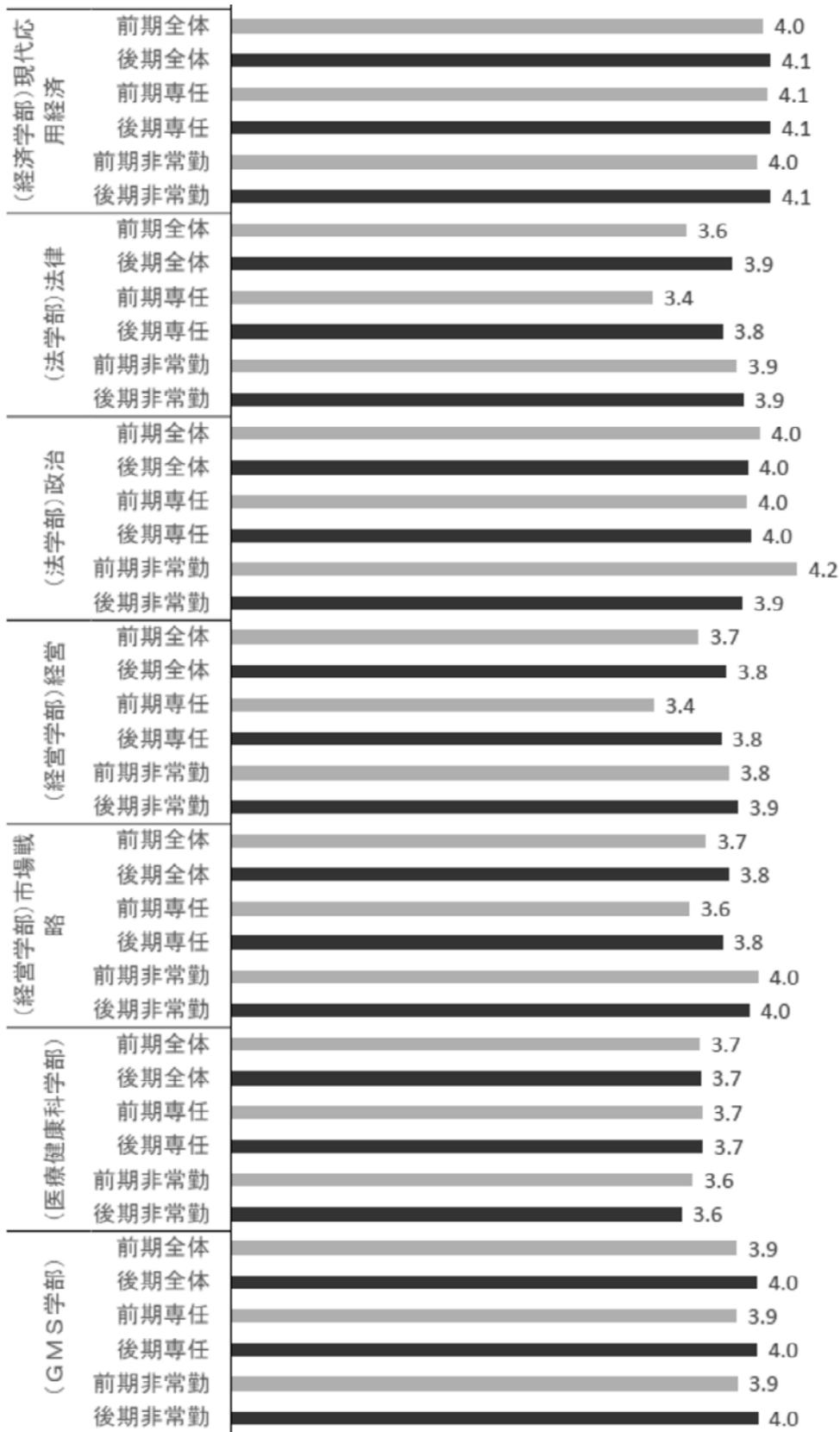
Q 10. 受講を決める際にシラバスは役立ちましたか。

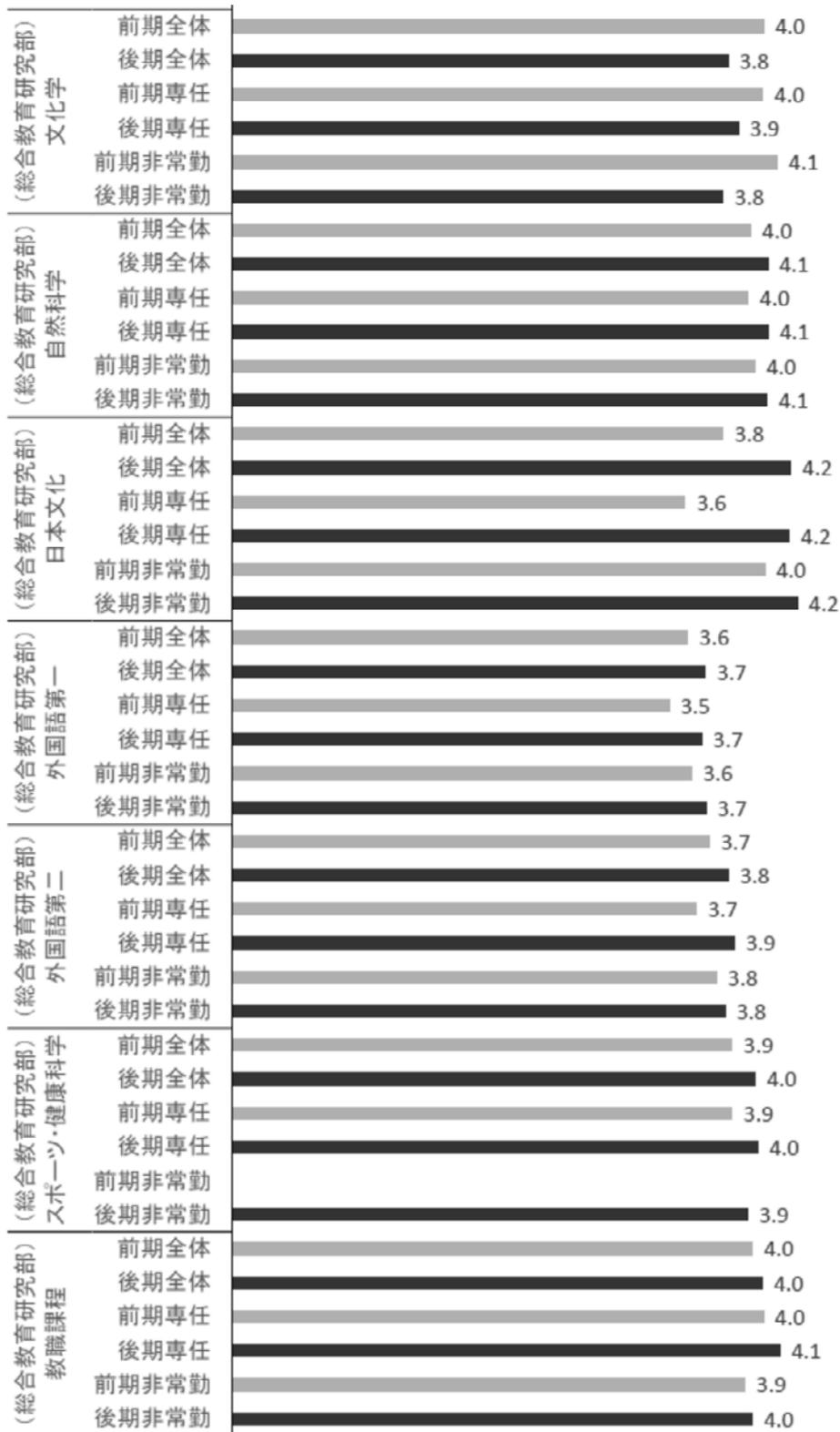
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

3.4~4.2 ポイントに推移しており、シラバスが役立った傾向にあることがわかる。





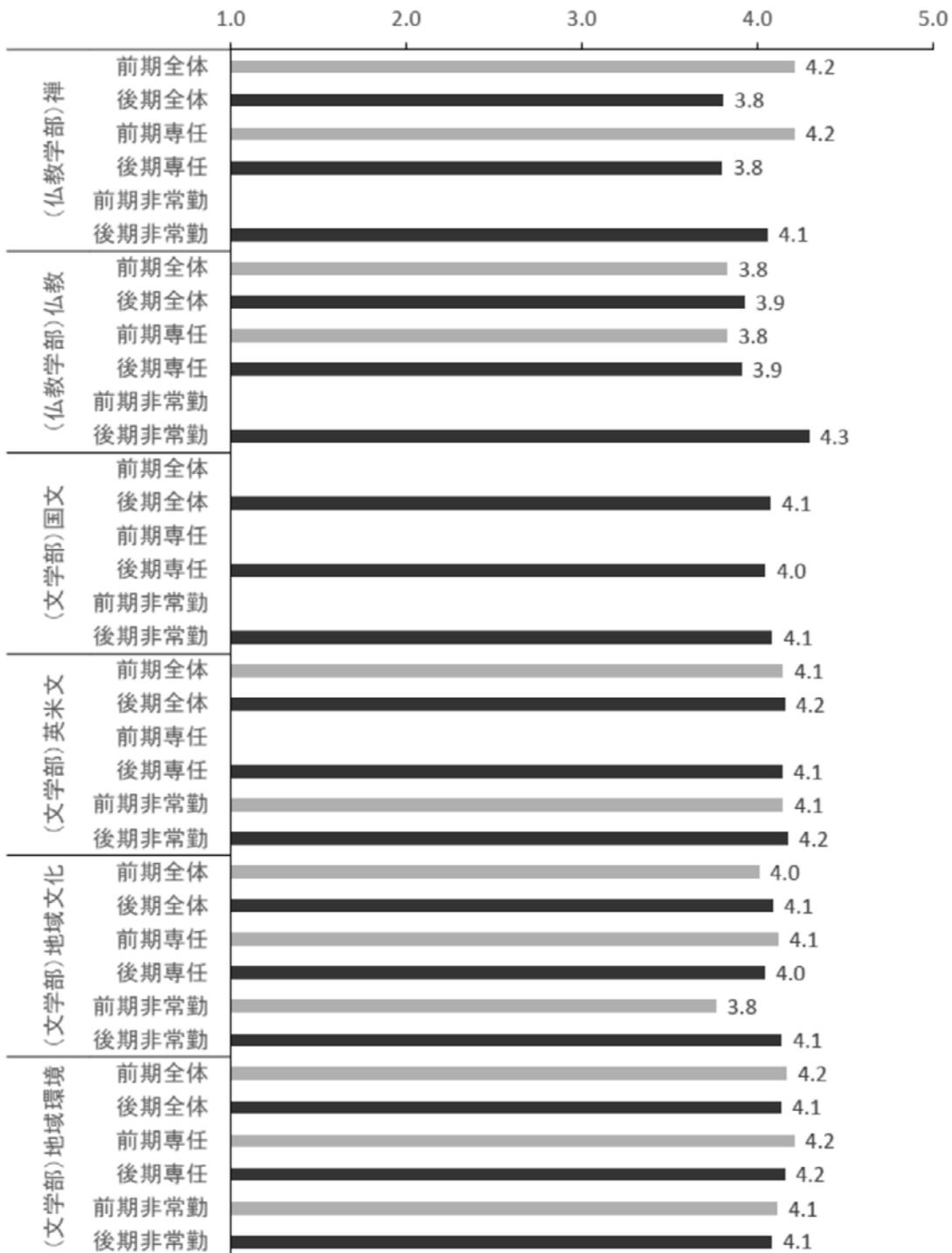


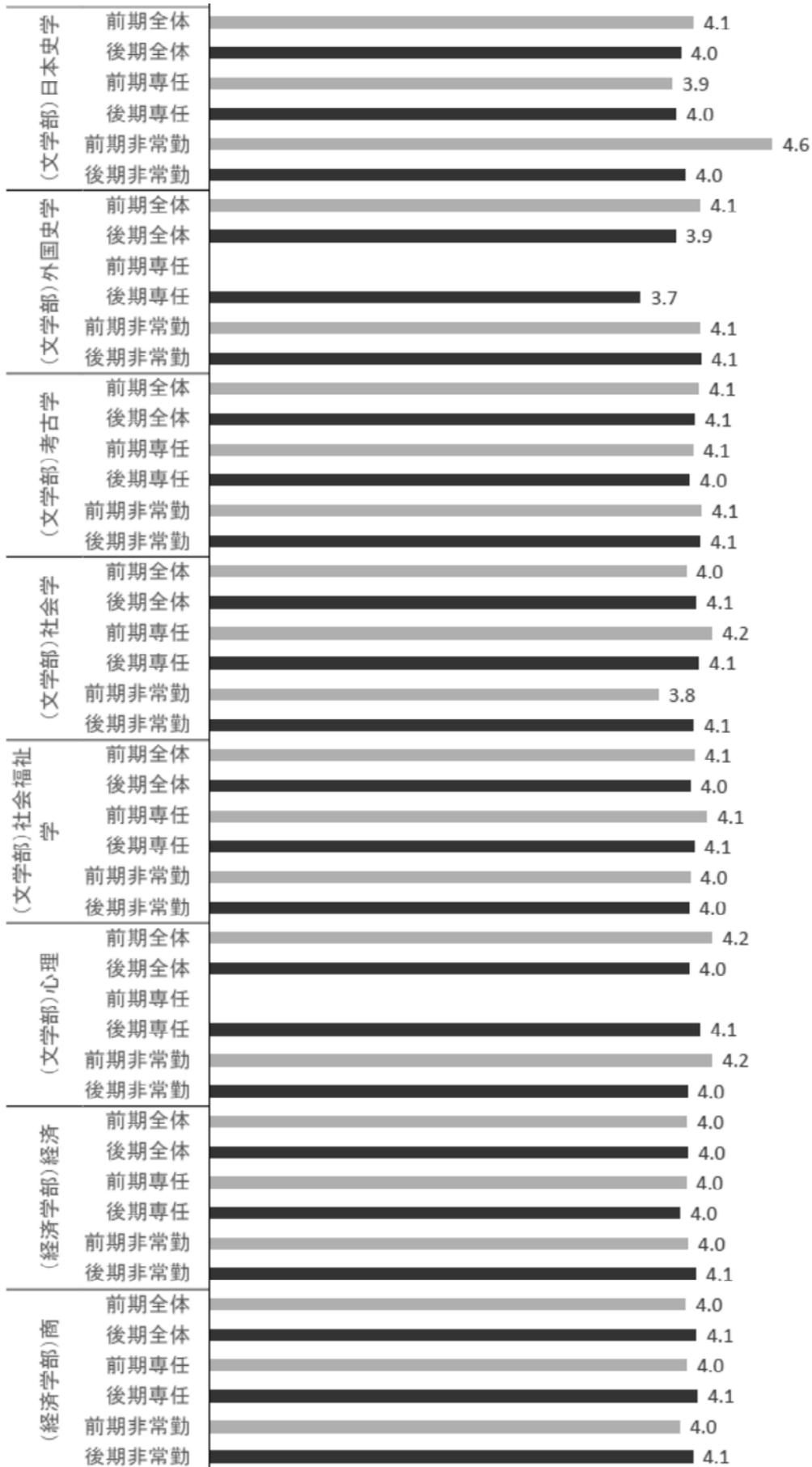


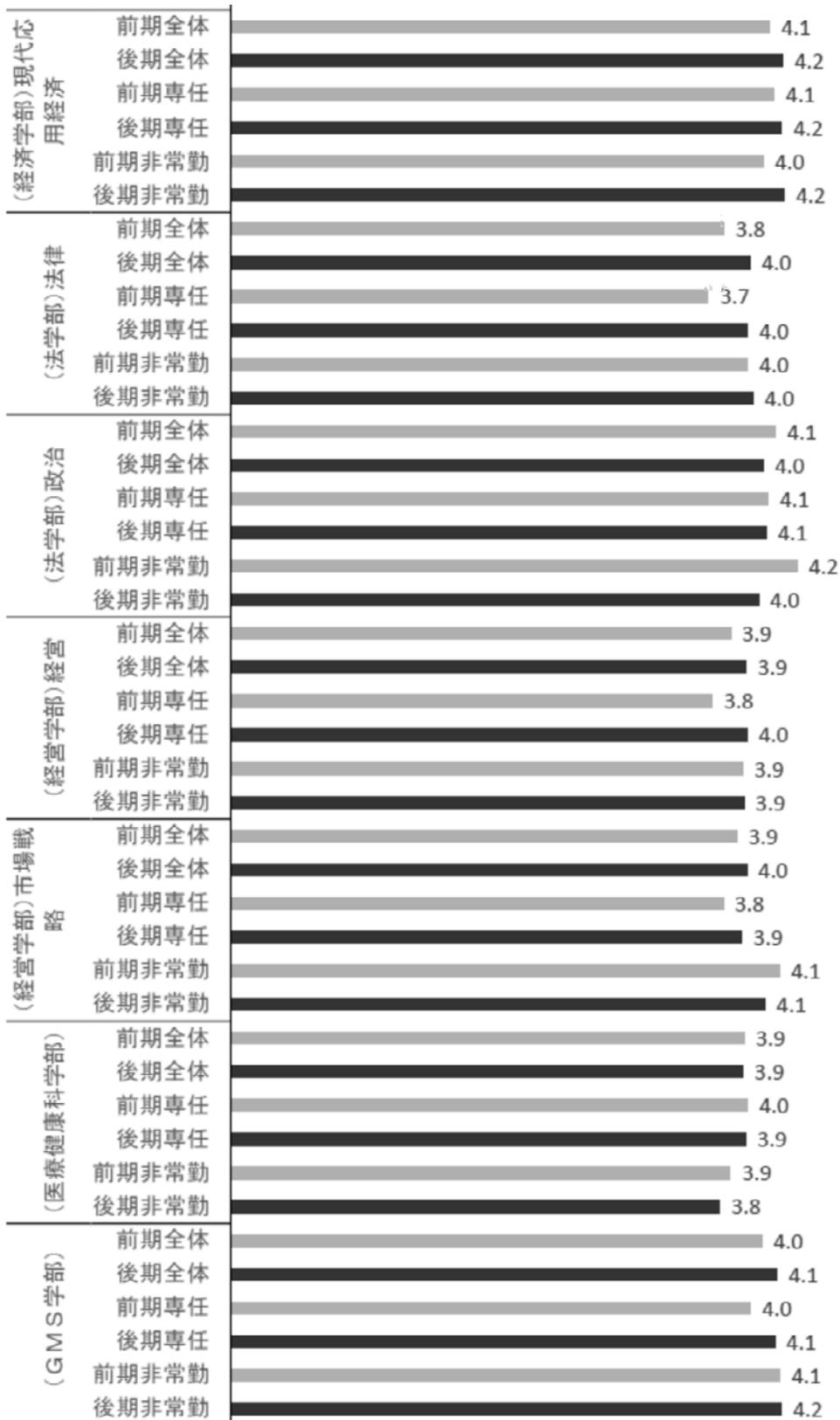
Q 1 1. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていましたか。

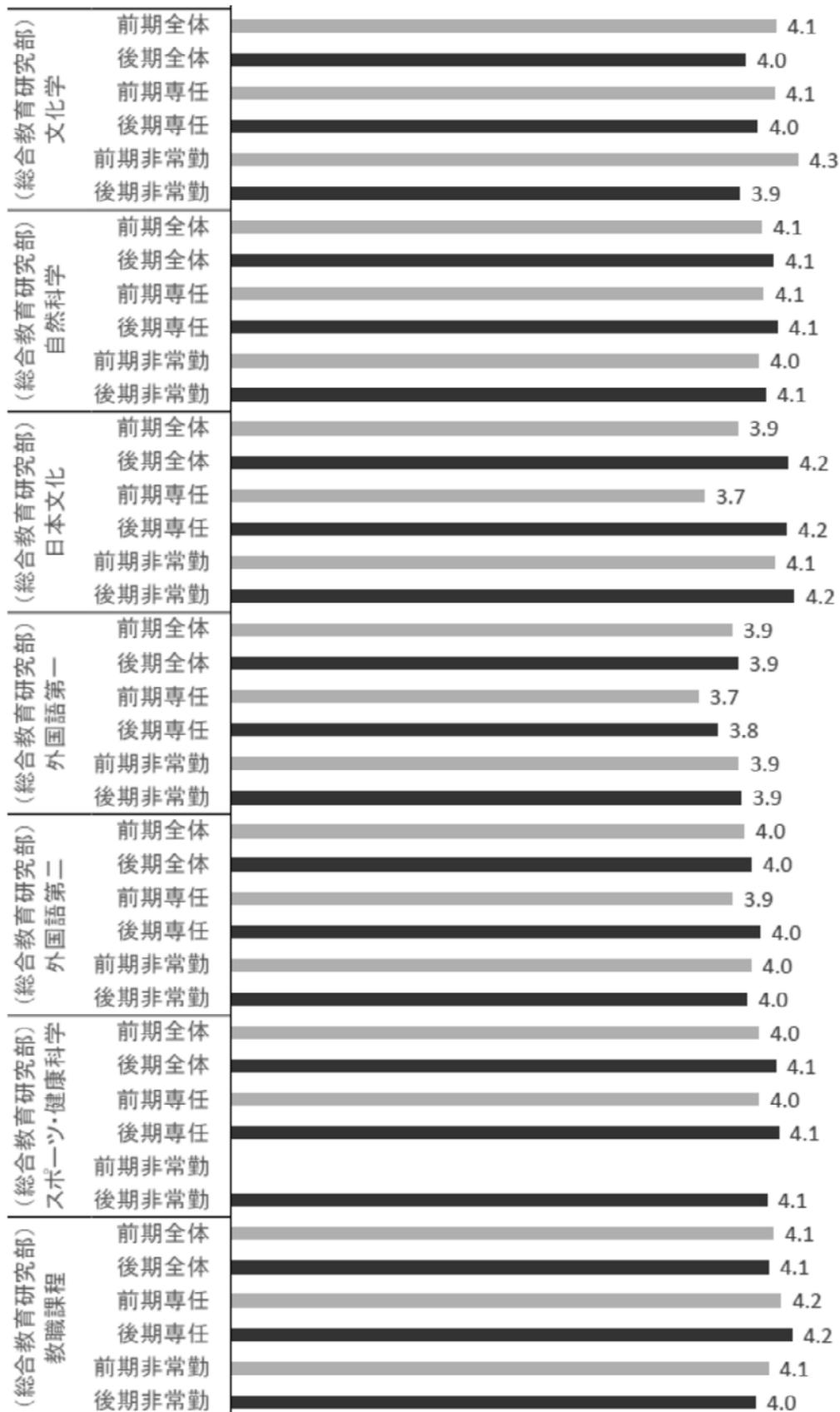
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

3.7~4.6 ポイントに推移しており、シラバスの内容が反映されていた傾向にあることがわかる。





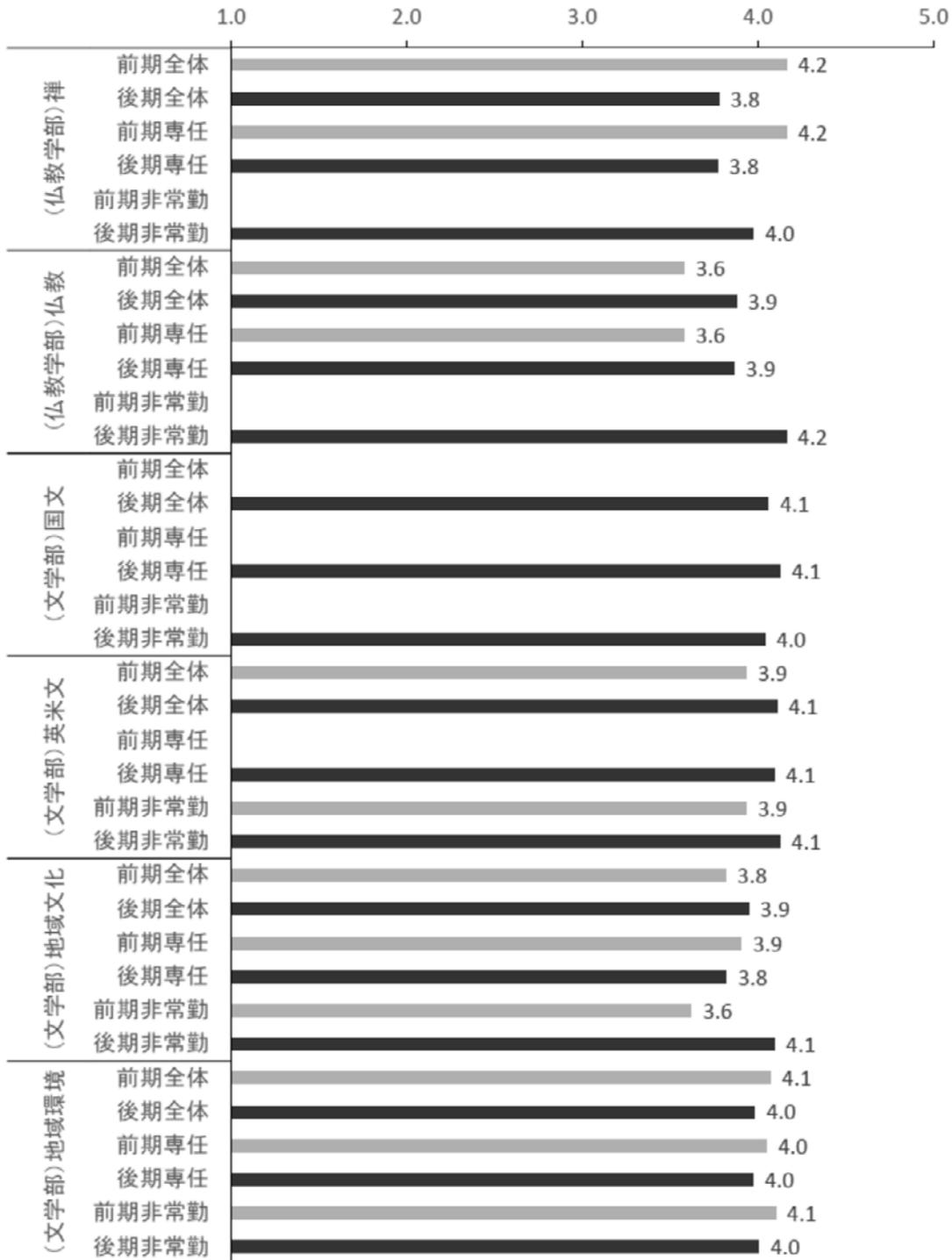


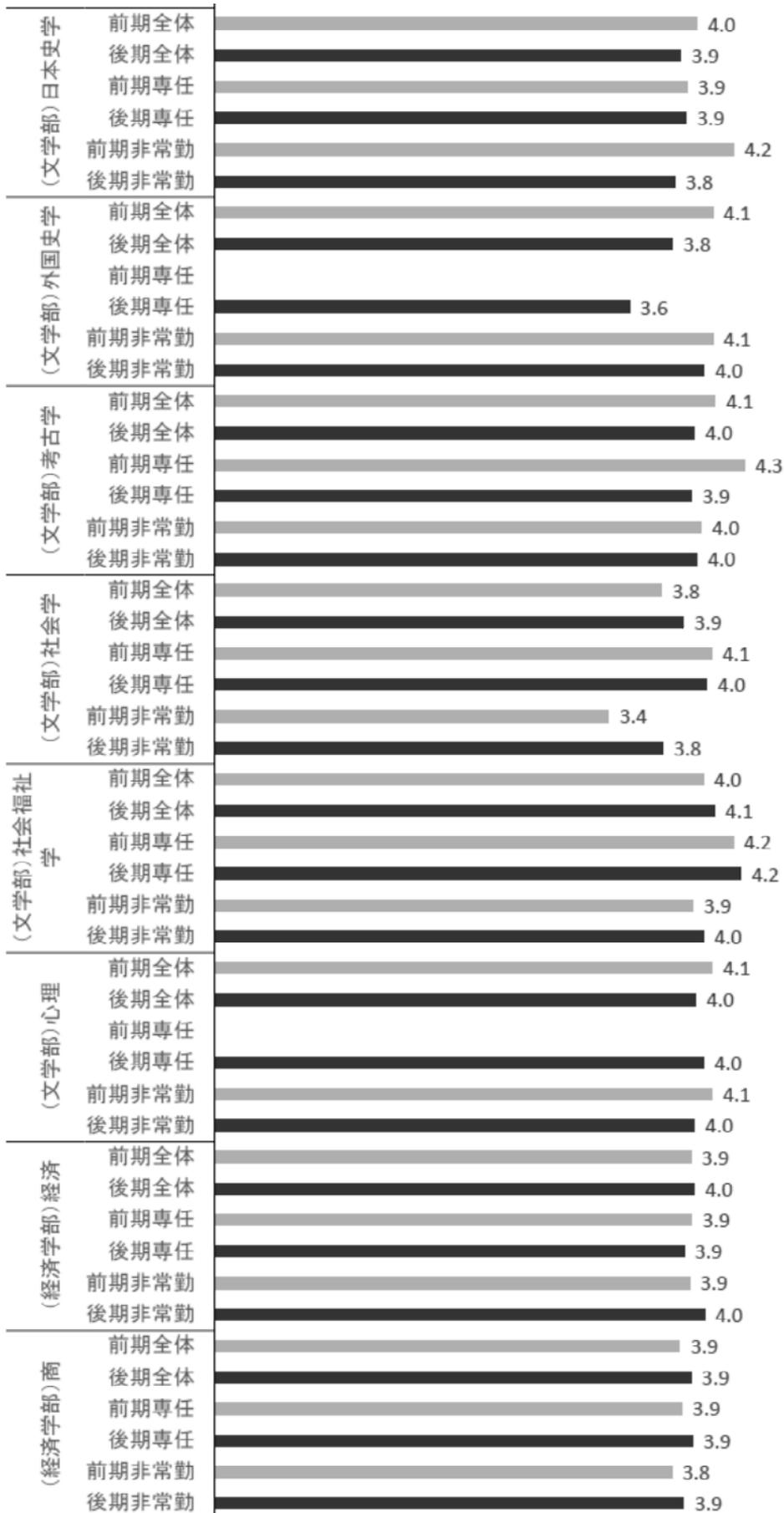


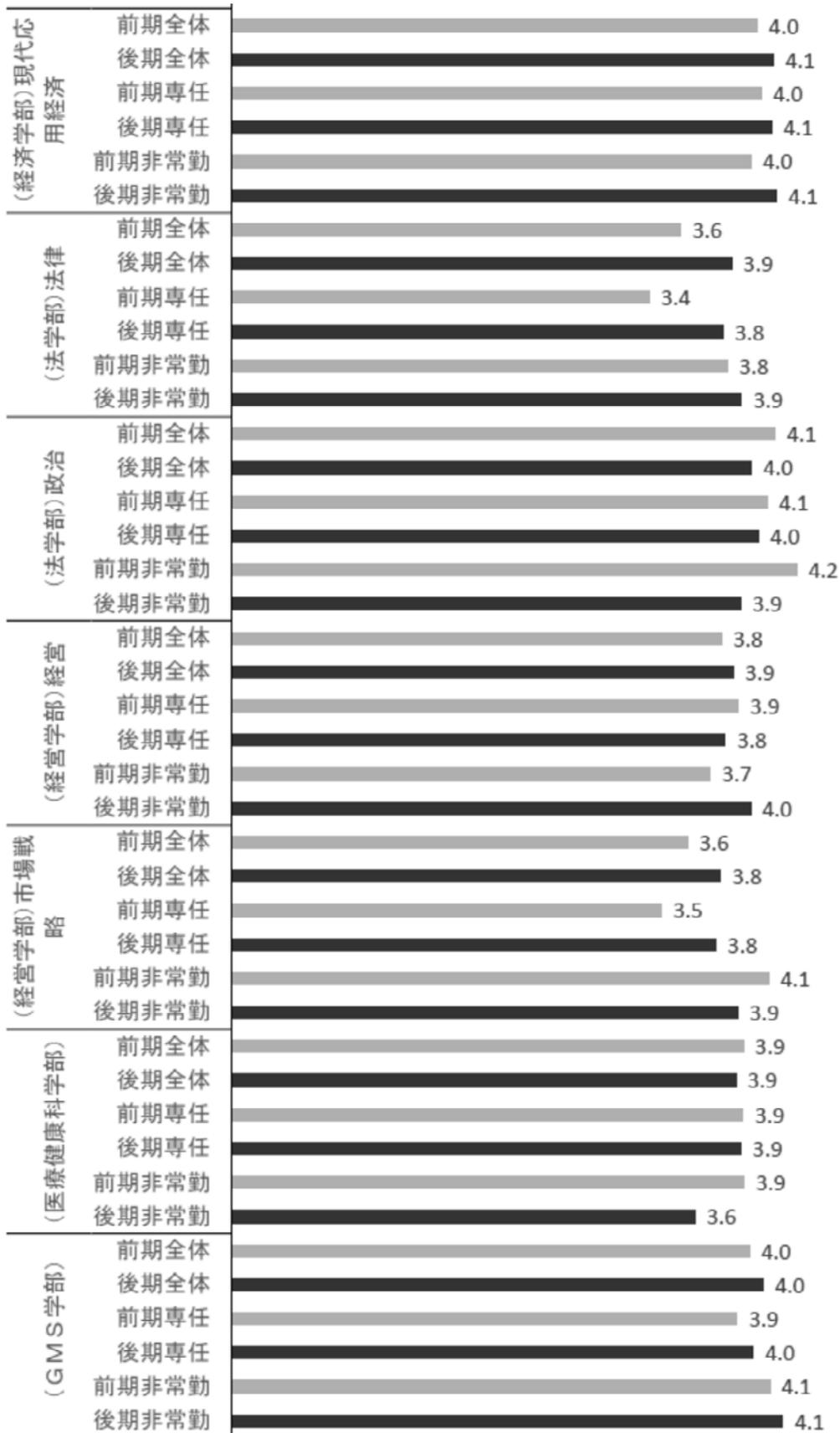
Q 1 2. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

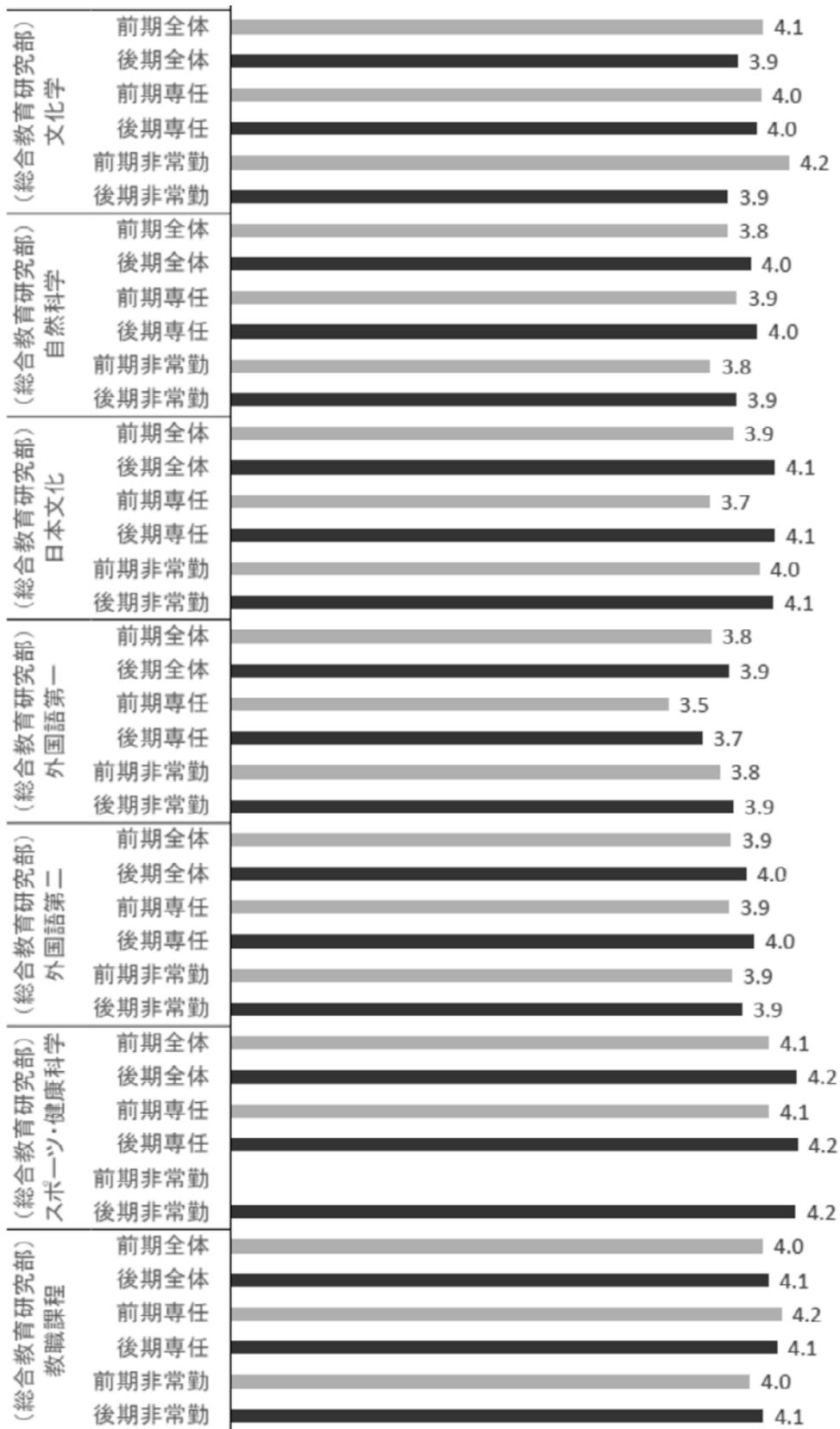
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

3.4~4.2 ポイントに推移しており、進み方が適切であった傾向にあることがわかる。



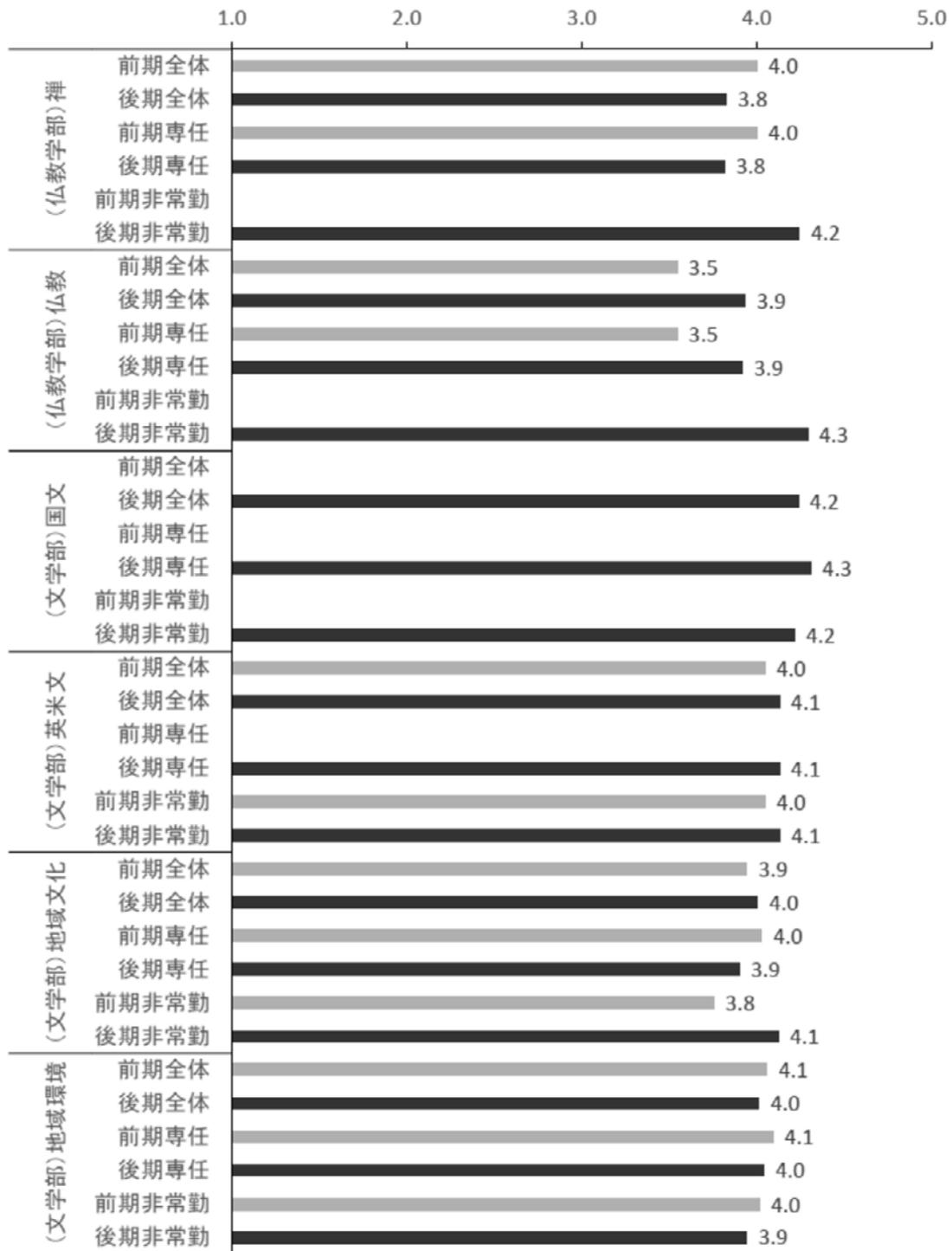


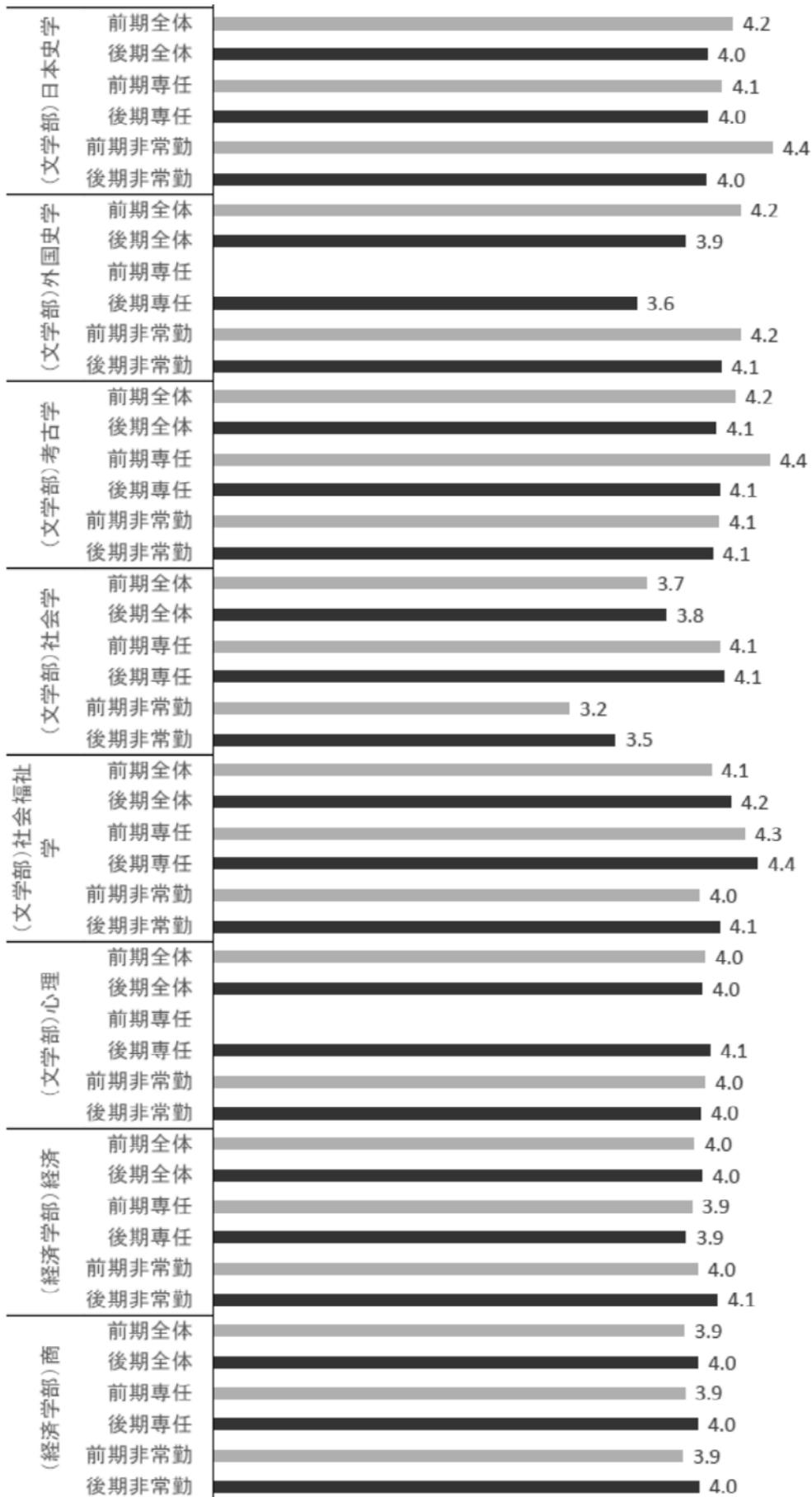


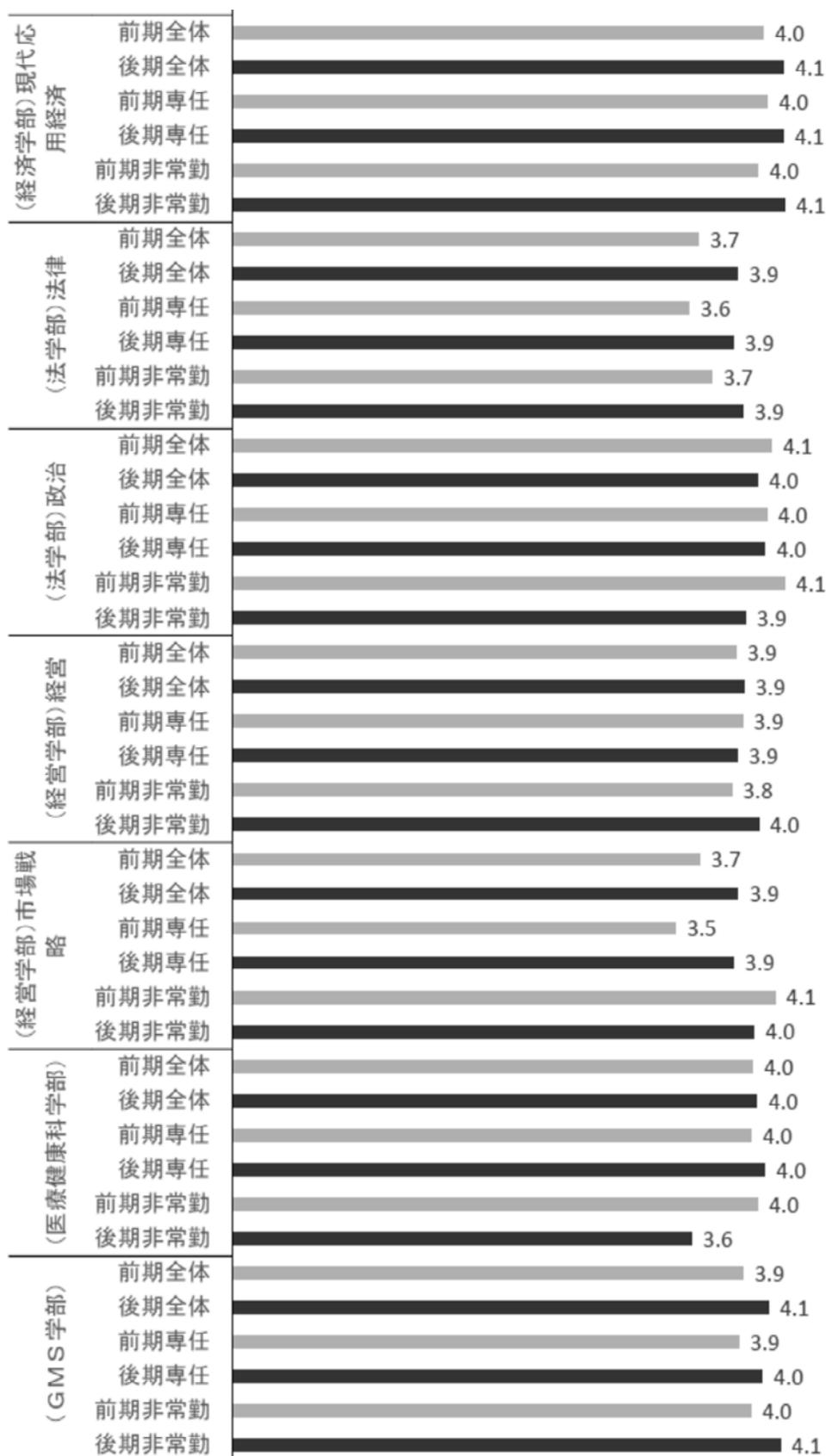


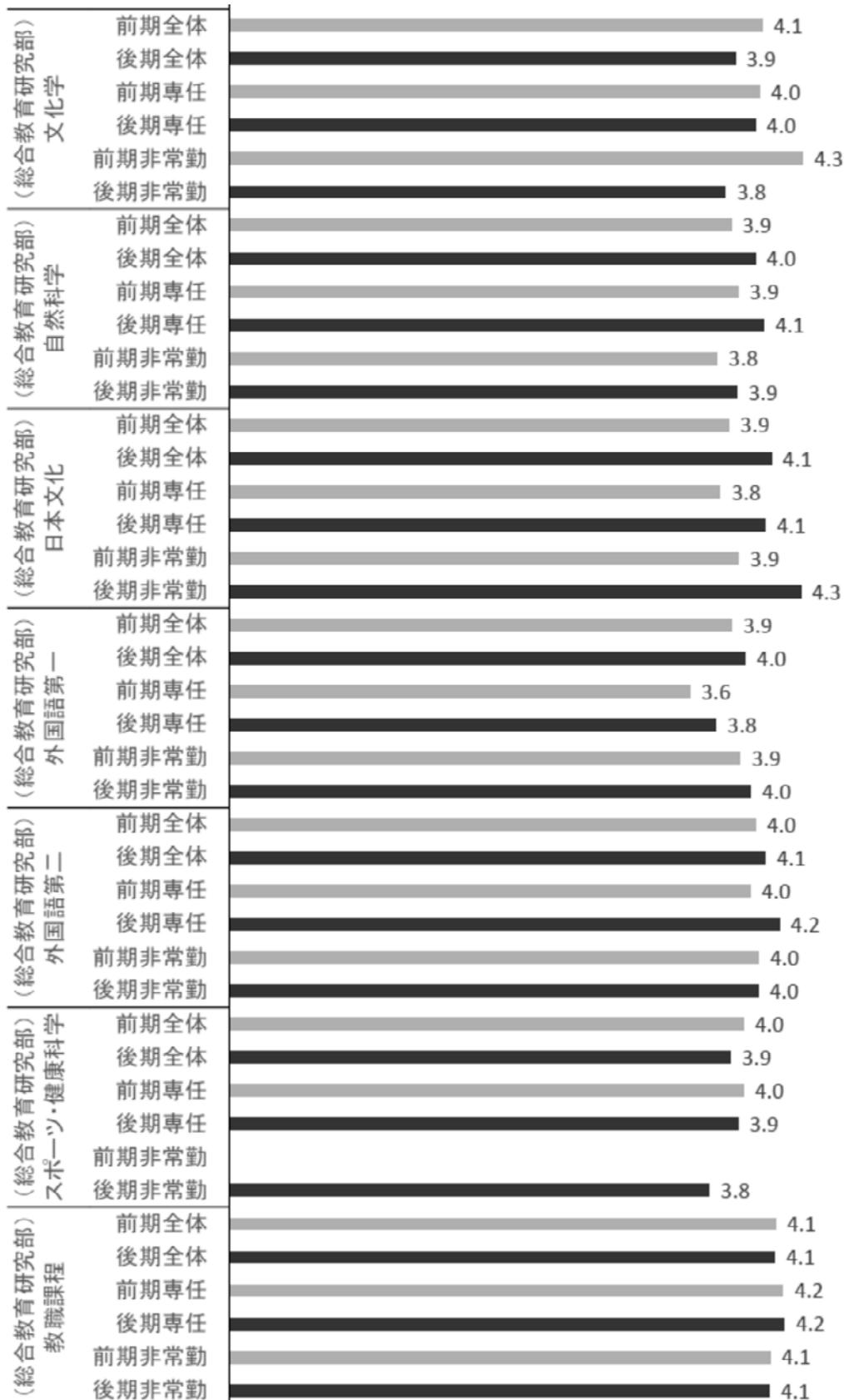
Q 13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的でしたか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

3.2～4.4 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、効果的だった傾向にあることがわかる。





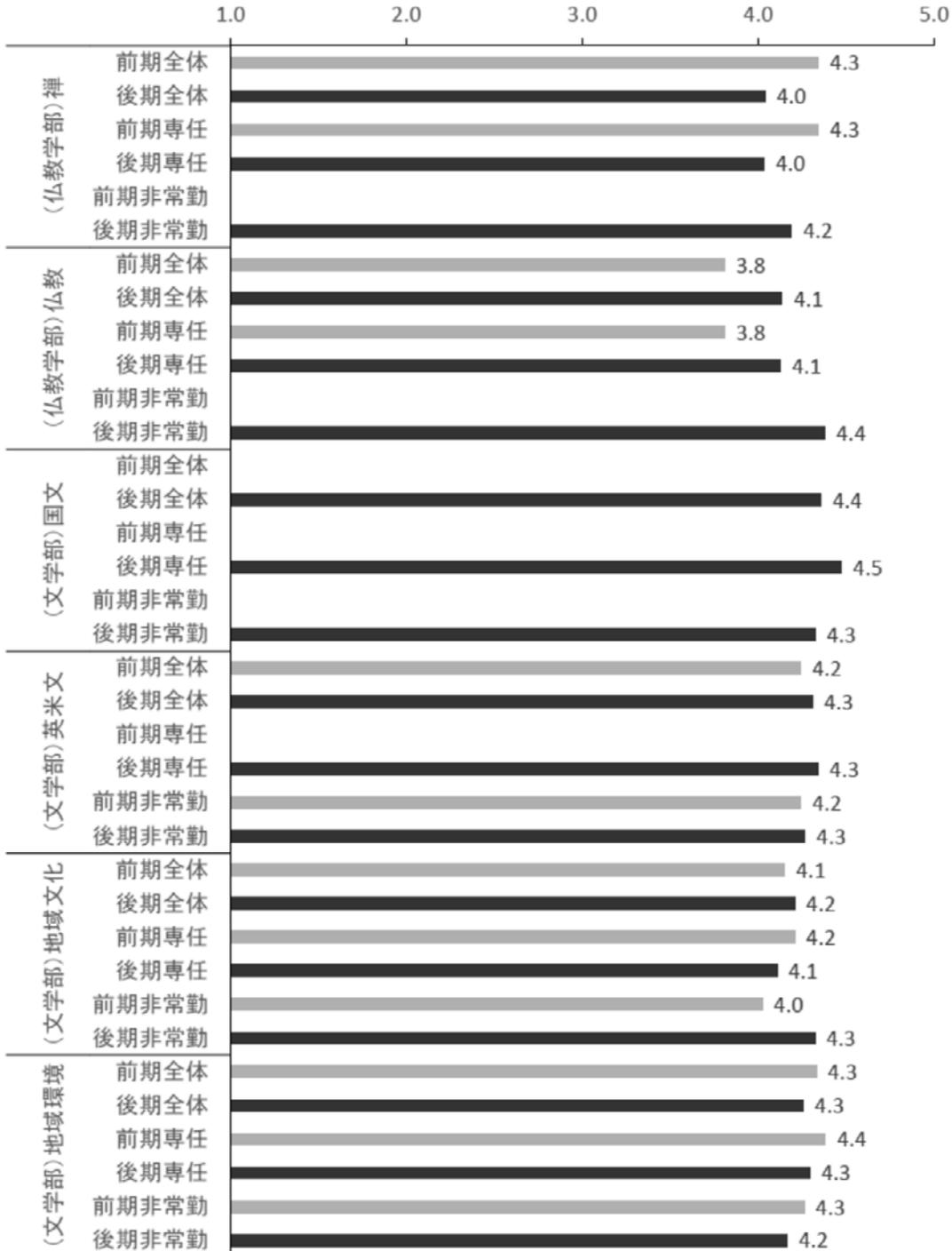


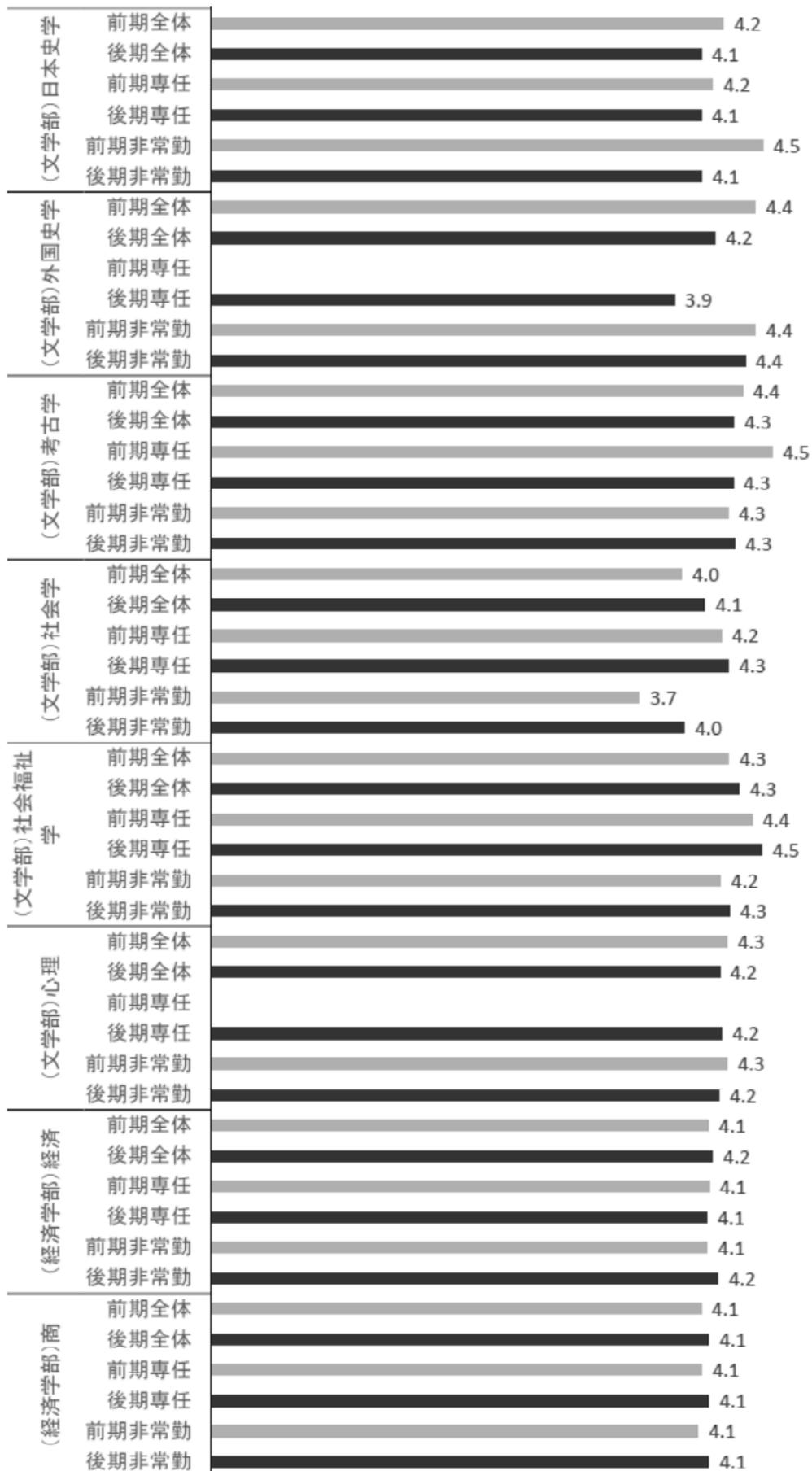


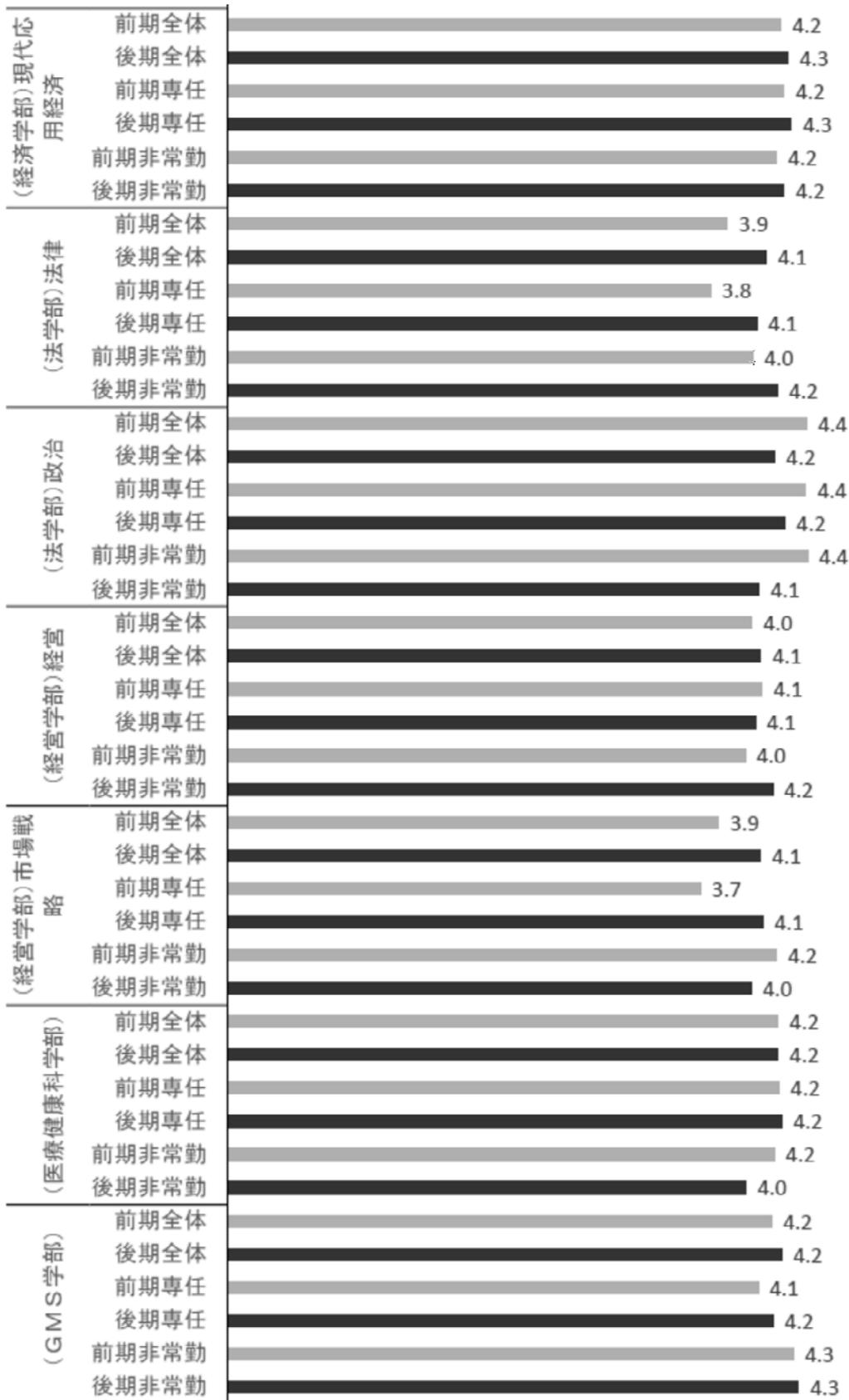
Q 1 4 . 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。

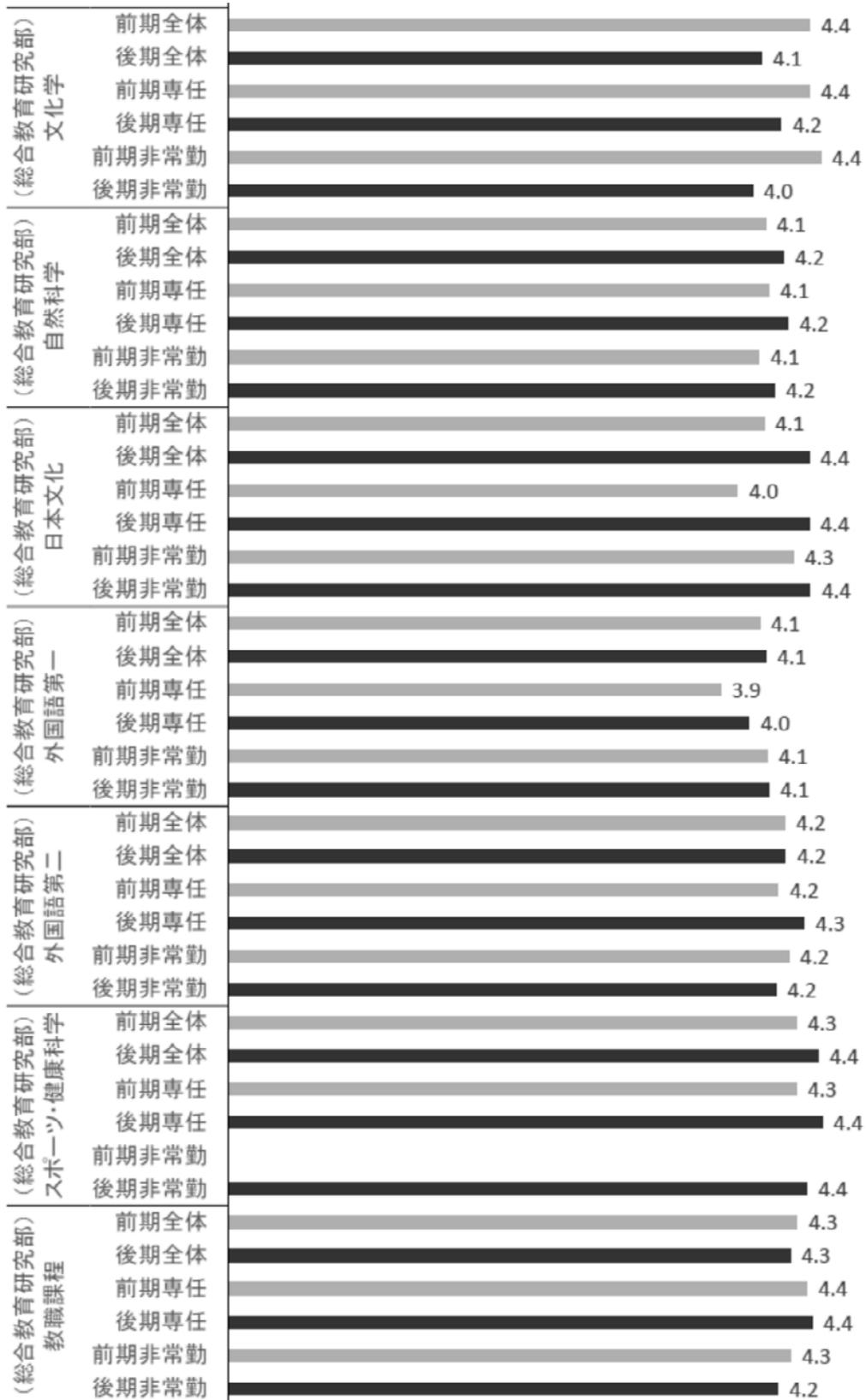
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

ほとんどの学部において、4.0 ポイントに近い値となっており、取り組みに熱意が感じられたことがわかる。





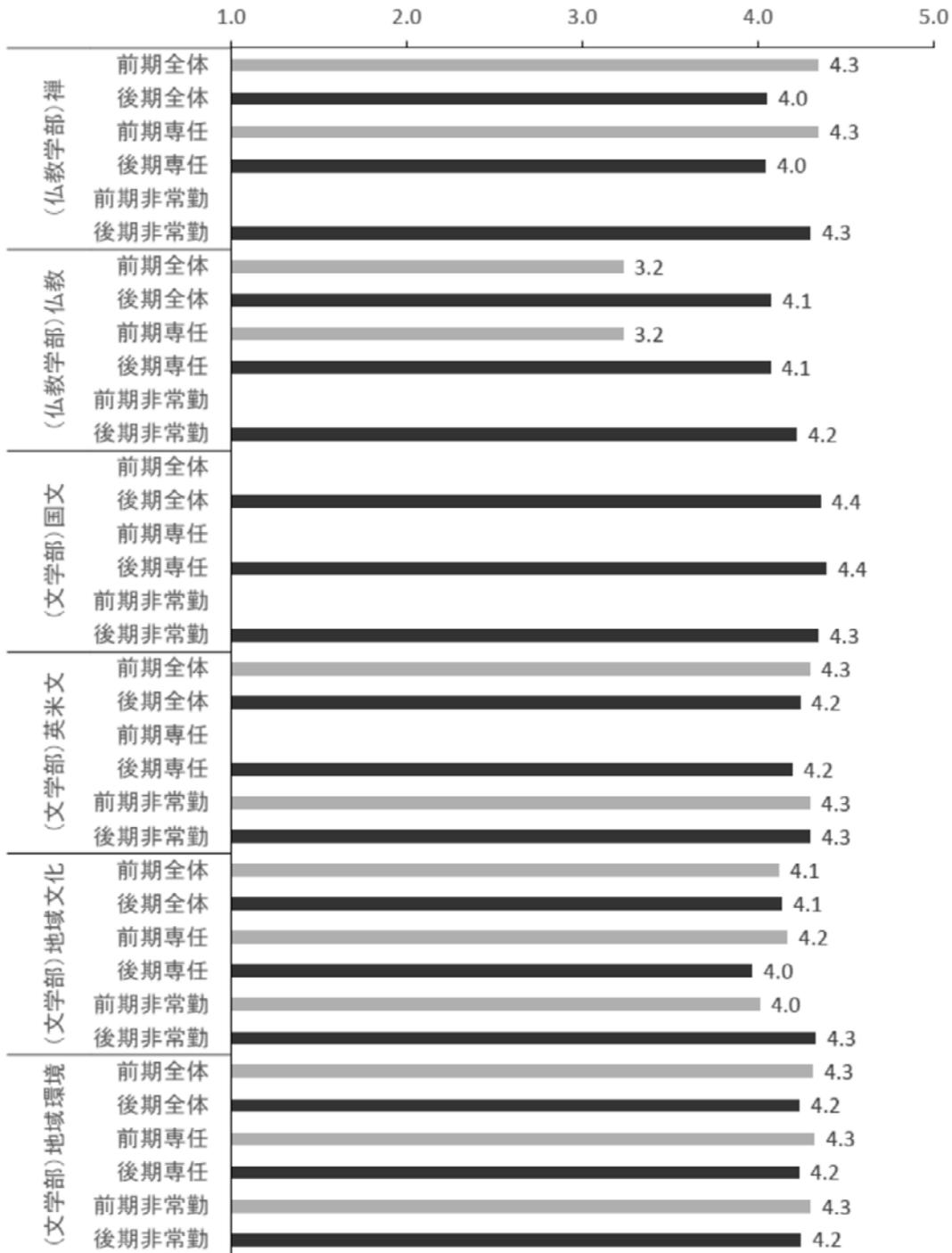


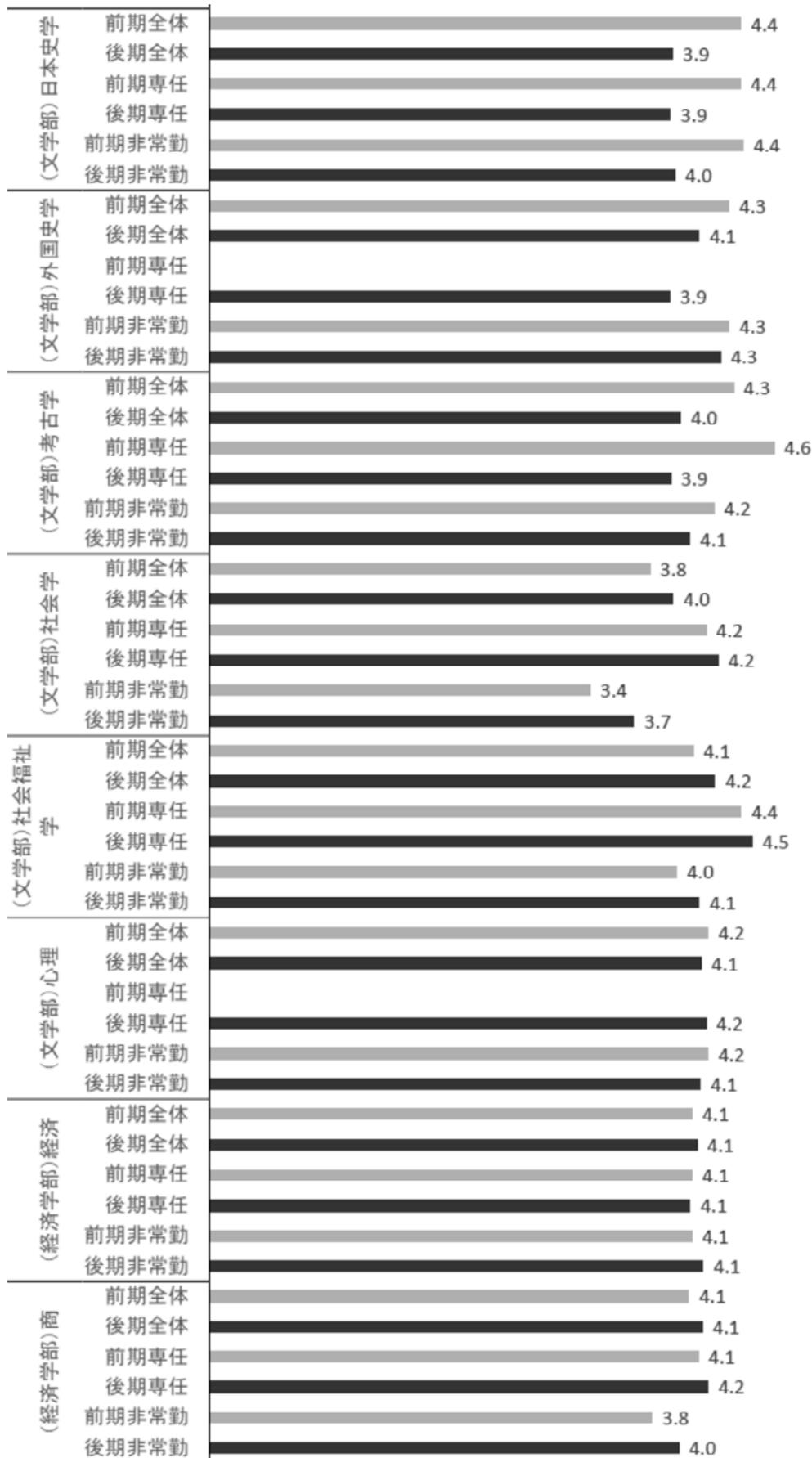


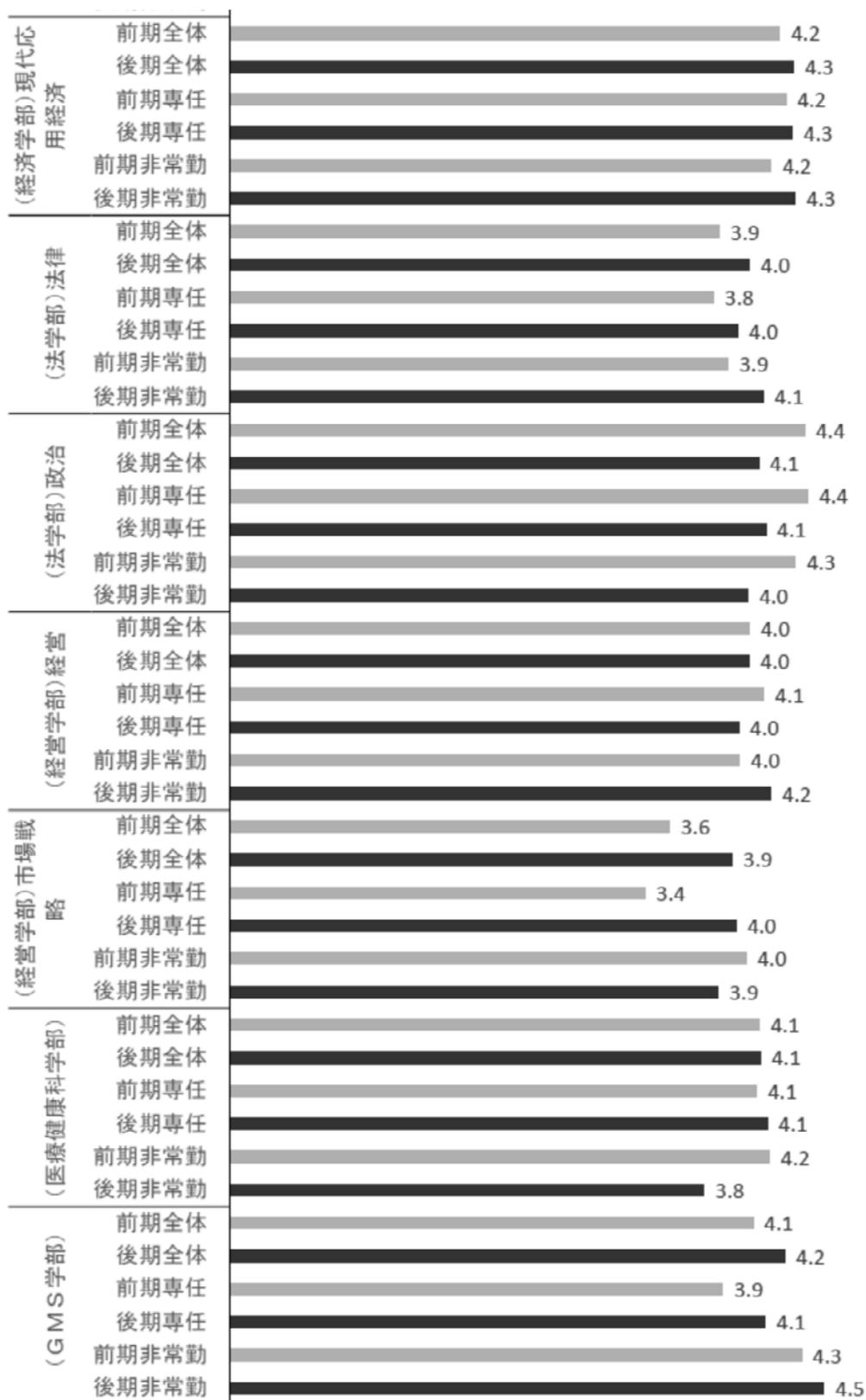
Q 1 5 . 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすかったですか。

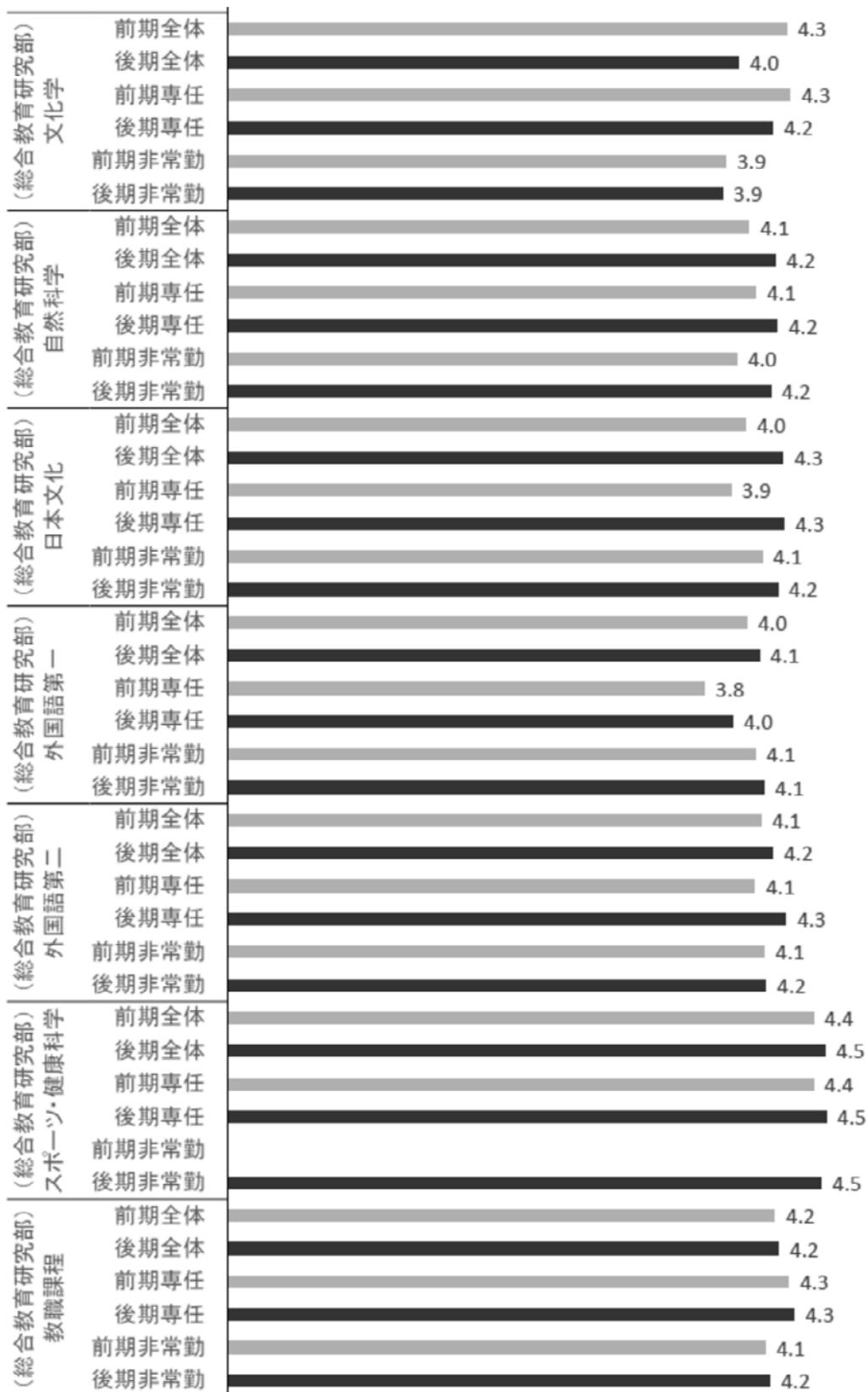
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

3.2~4.5 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、聞き取りやすかった傾向にあると思われる。





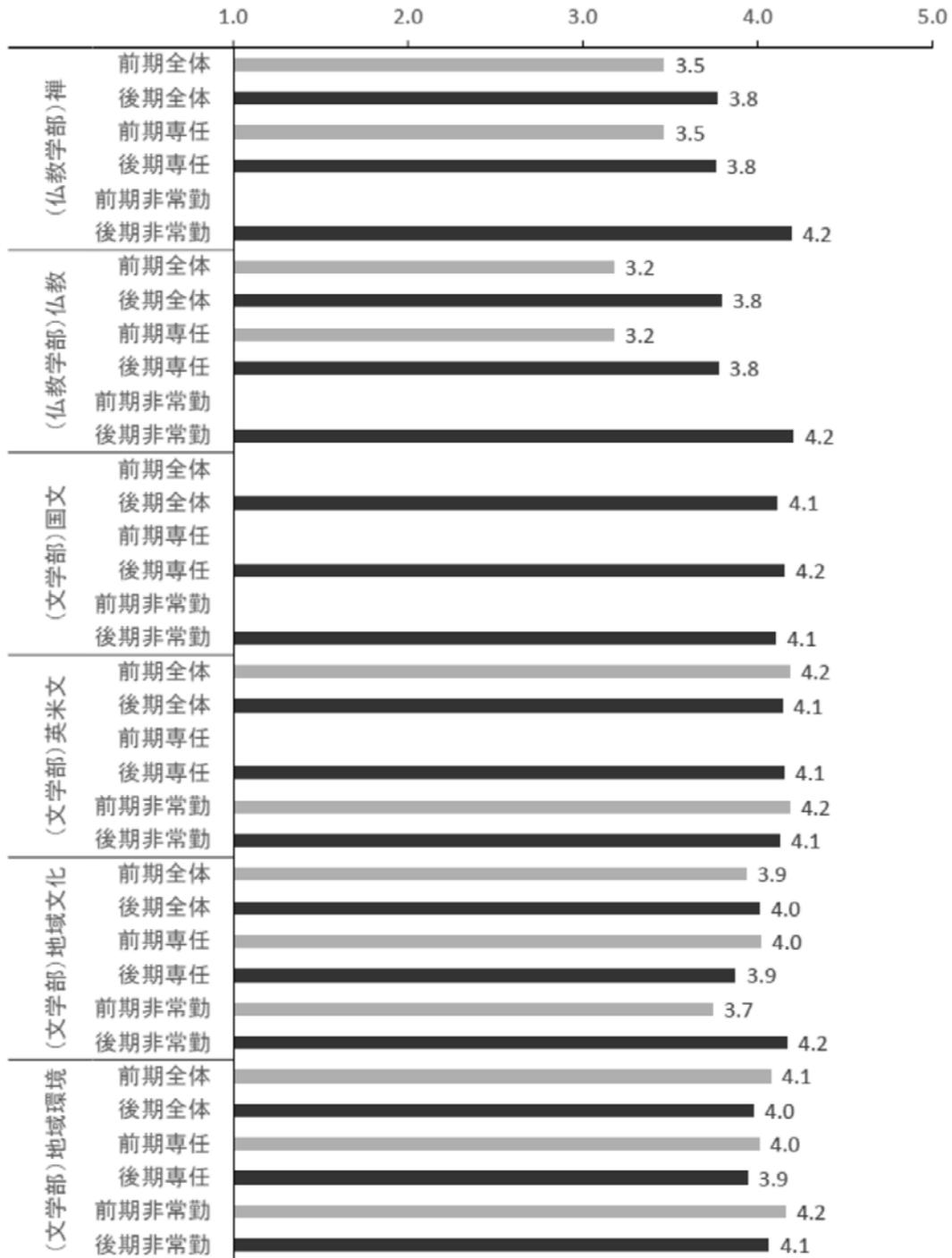


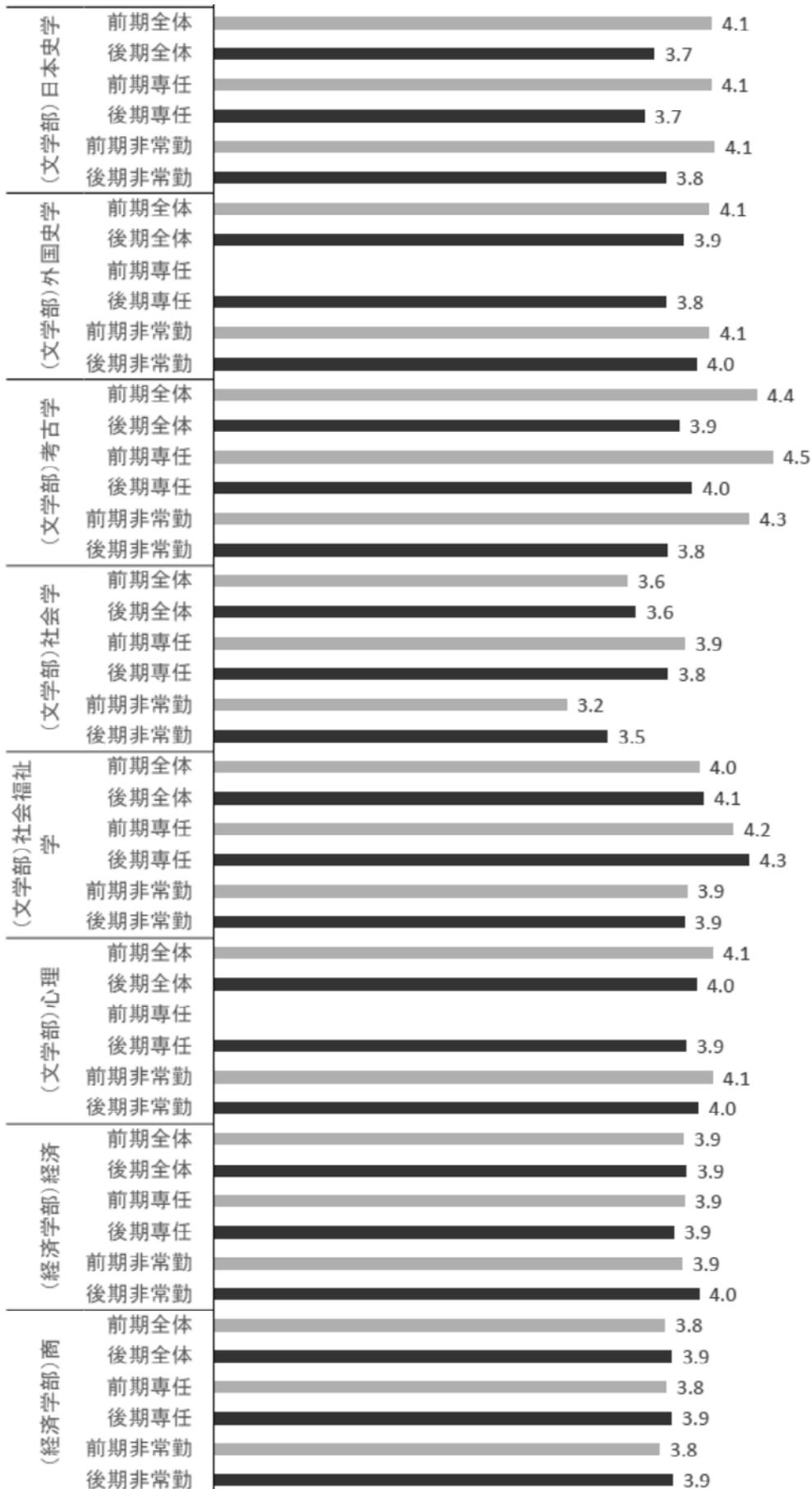


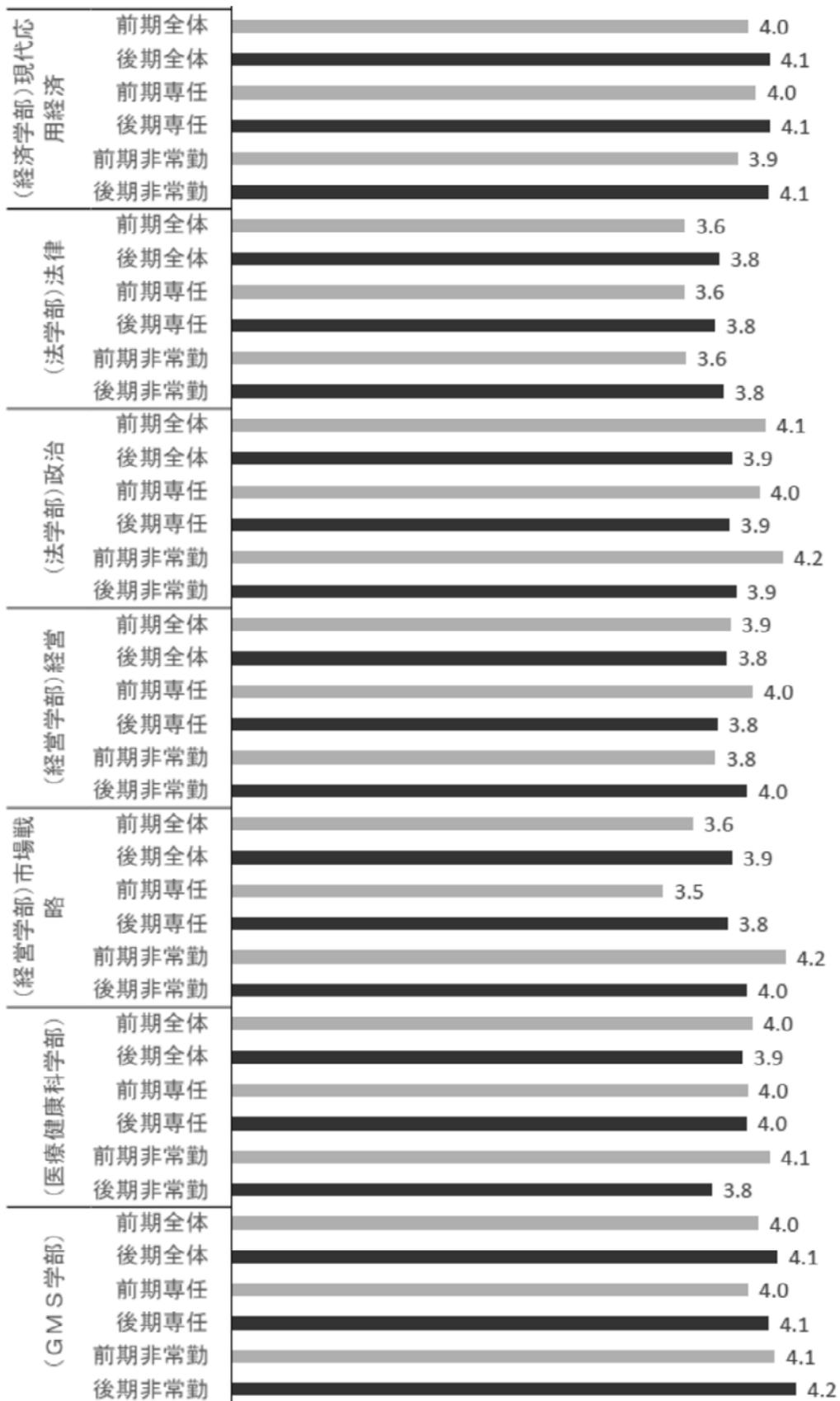
Q 1 6 . 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすかったですか。

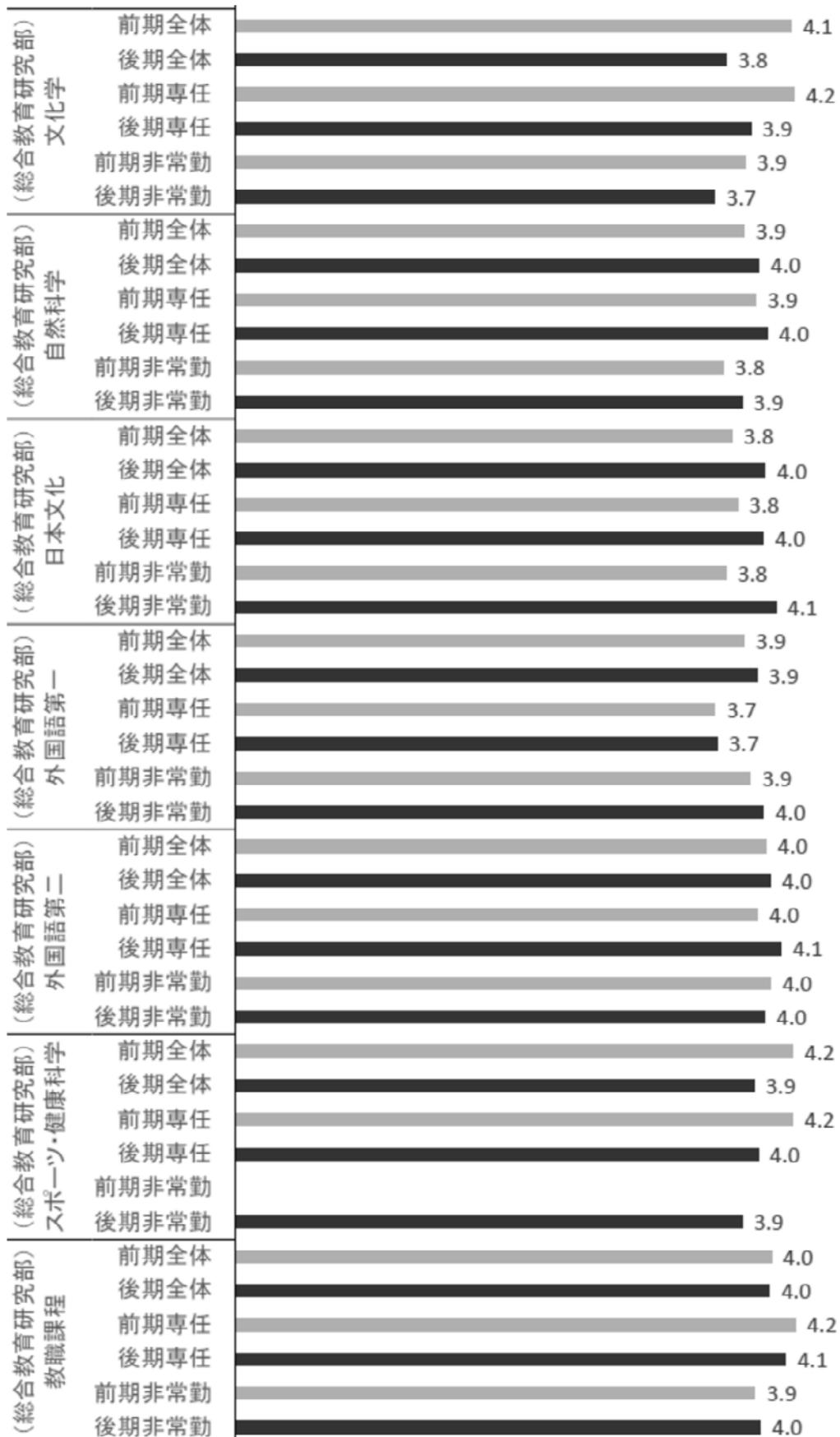
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

3.2～4.5 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、見やすかった傾向にあると思われる。





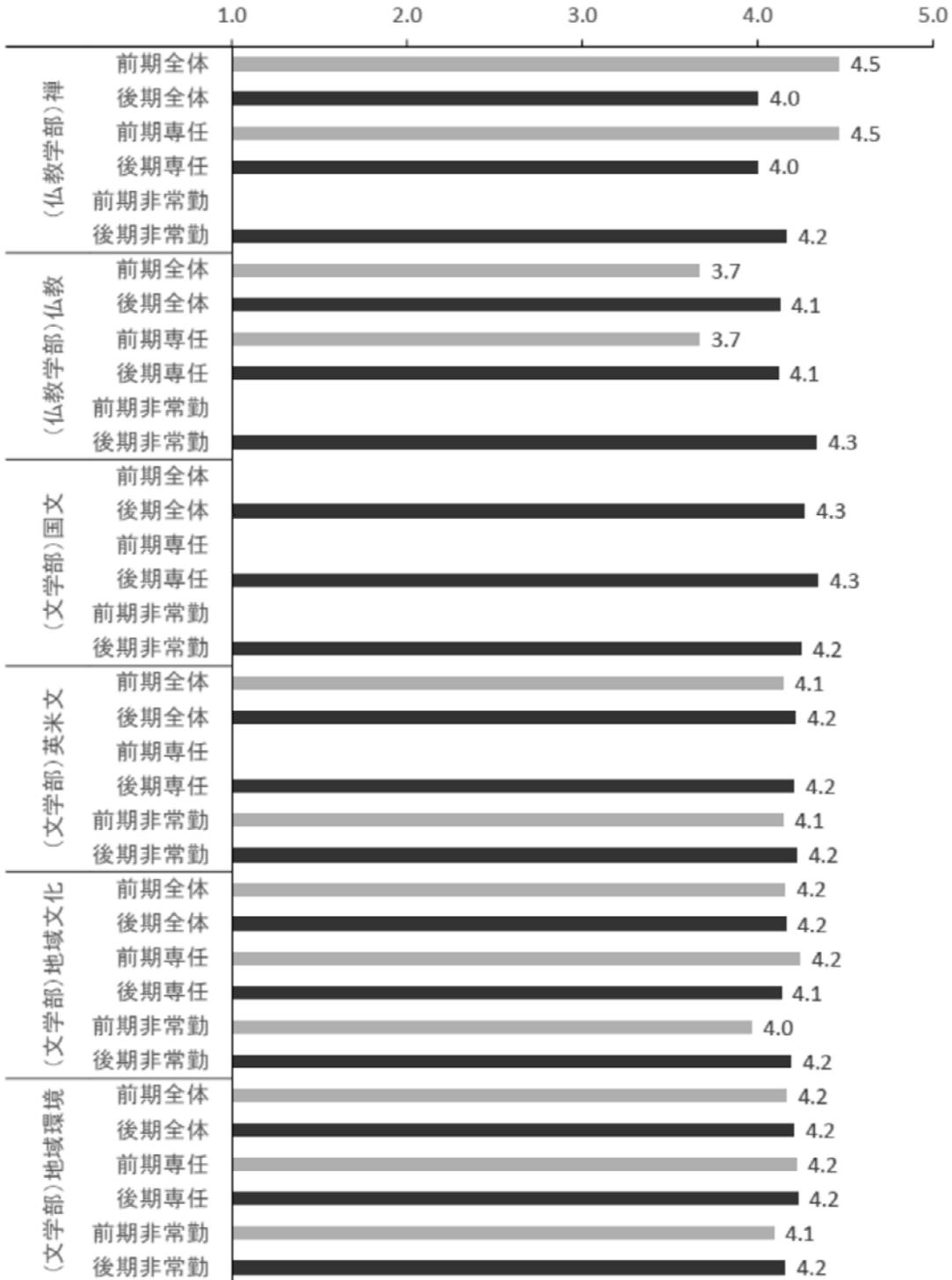


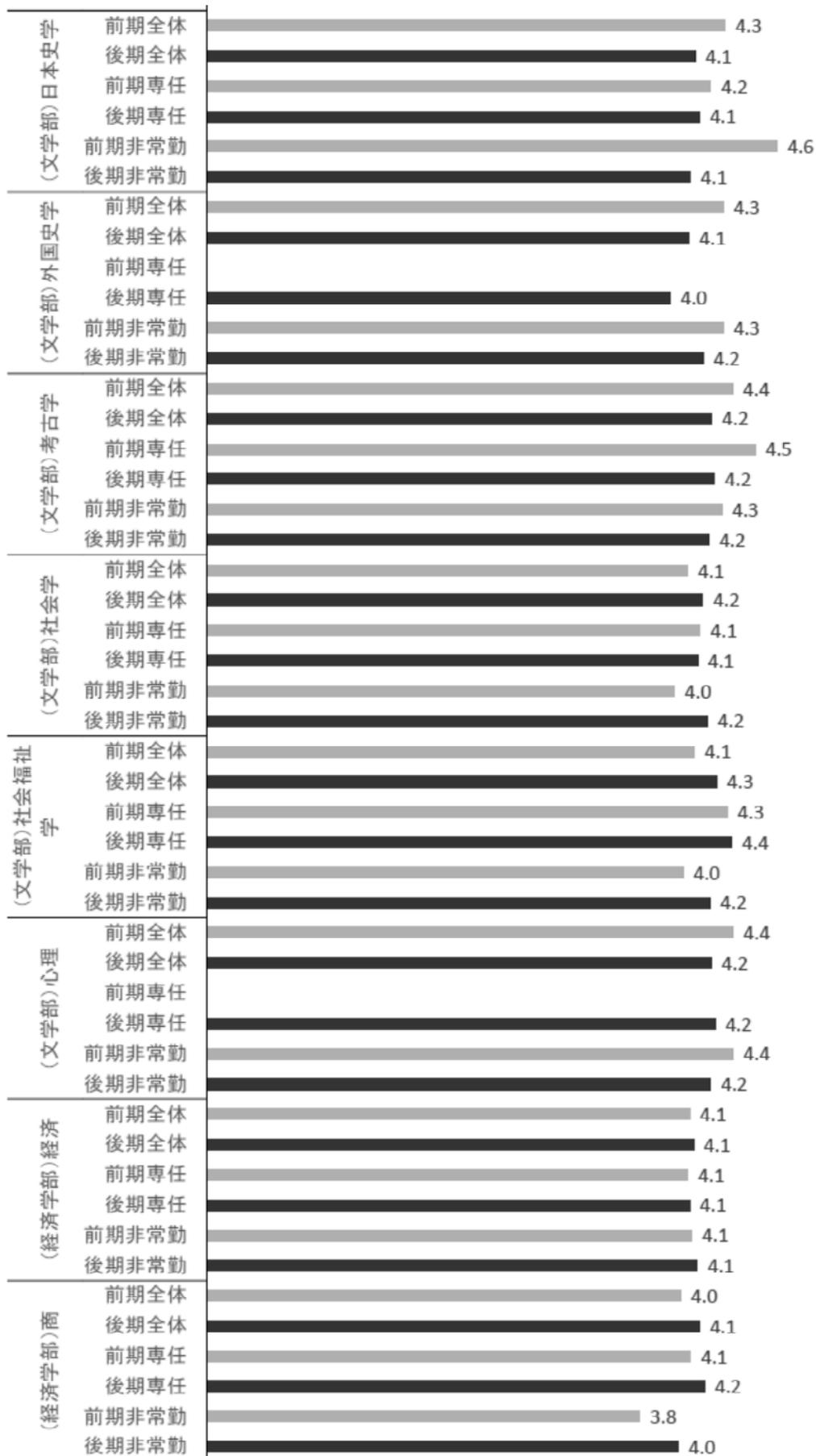


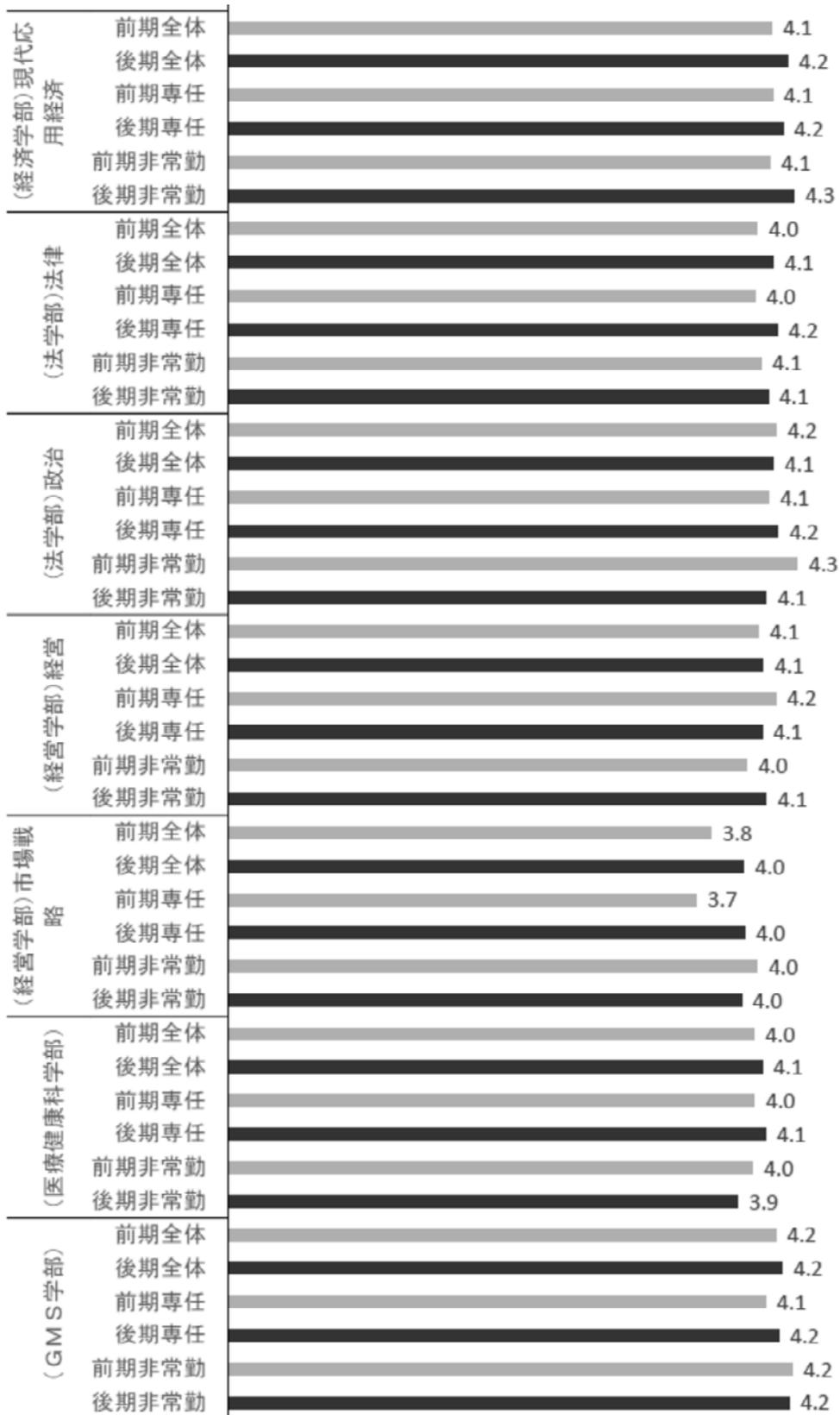
Q 17. 教員は静肅な授業環境づくりに配慮していましたか。

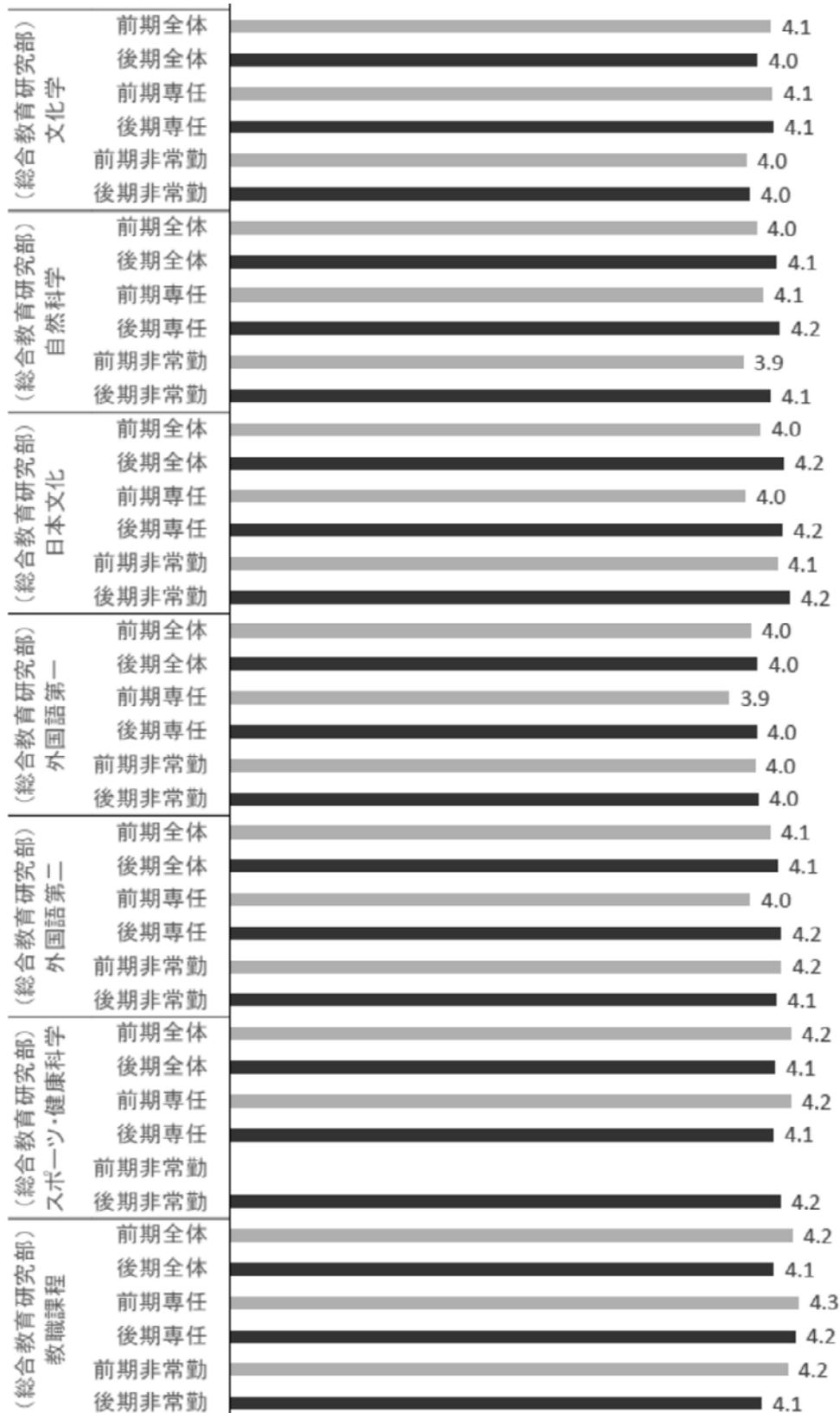
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

ほとんどの学部において、4.0 ポイントに近い値となっており、配慮していたことがわかる。





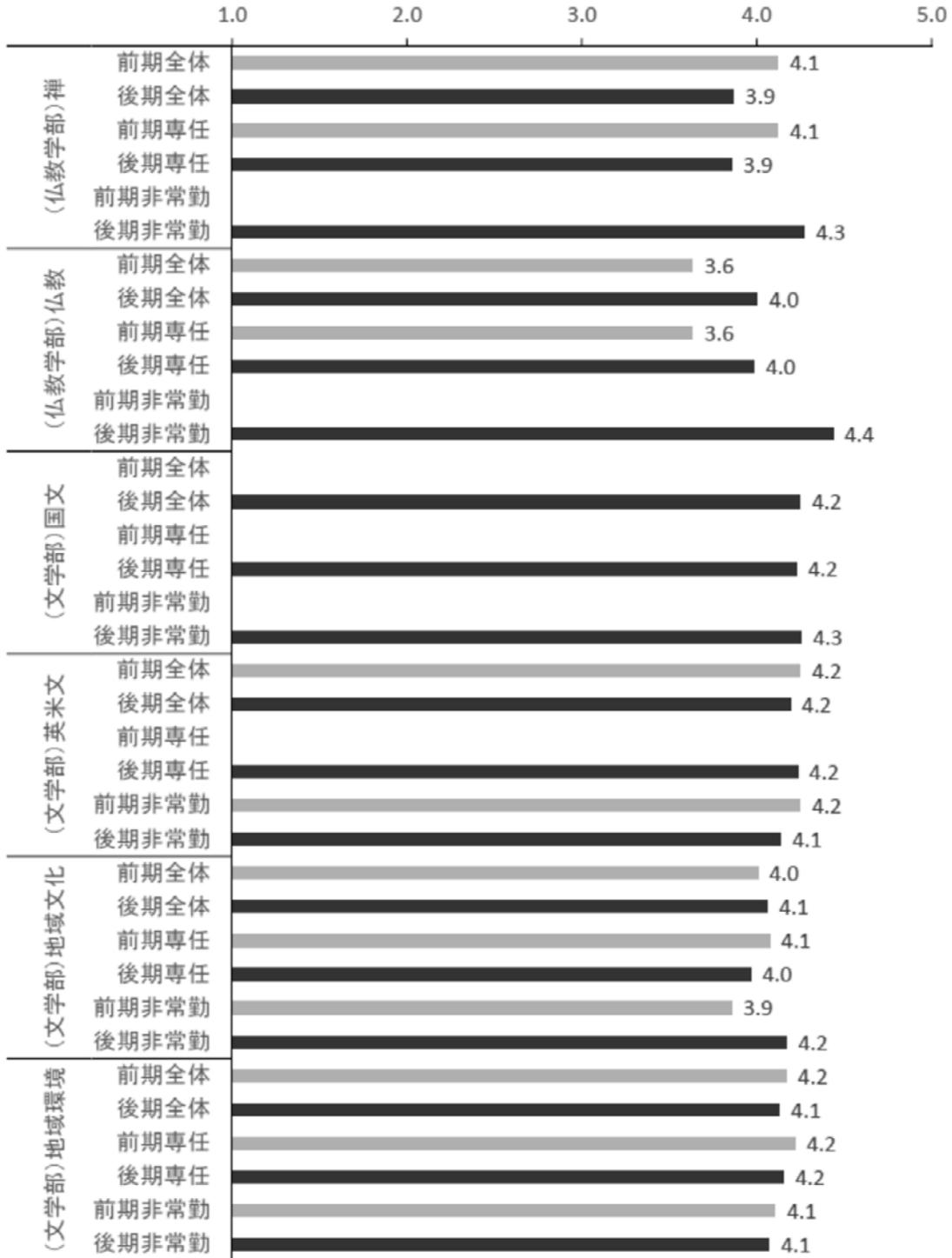


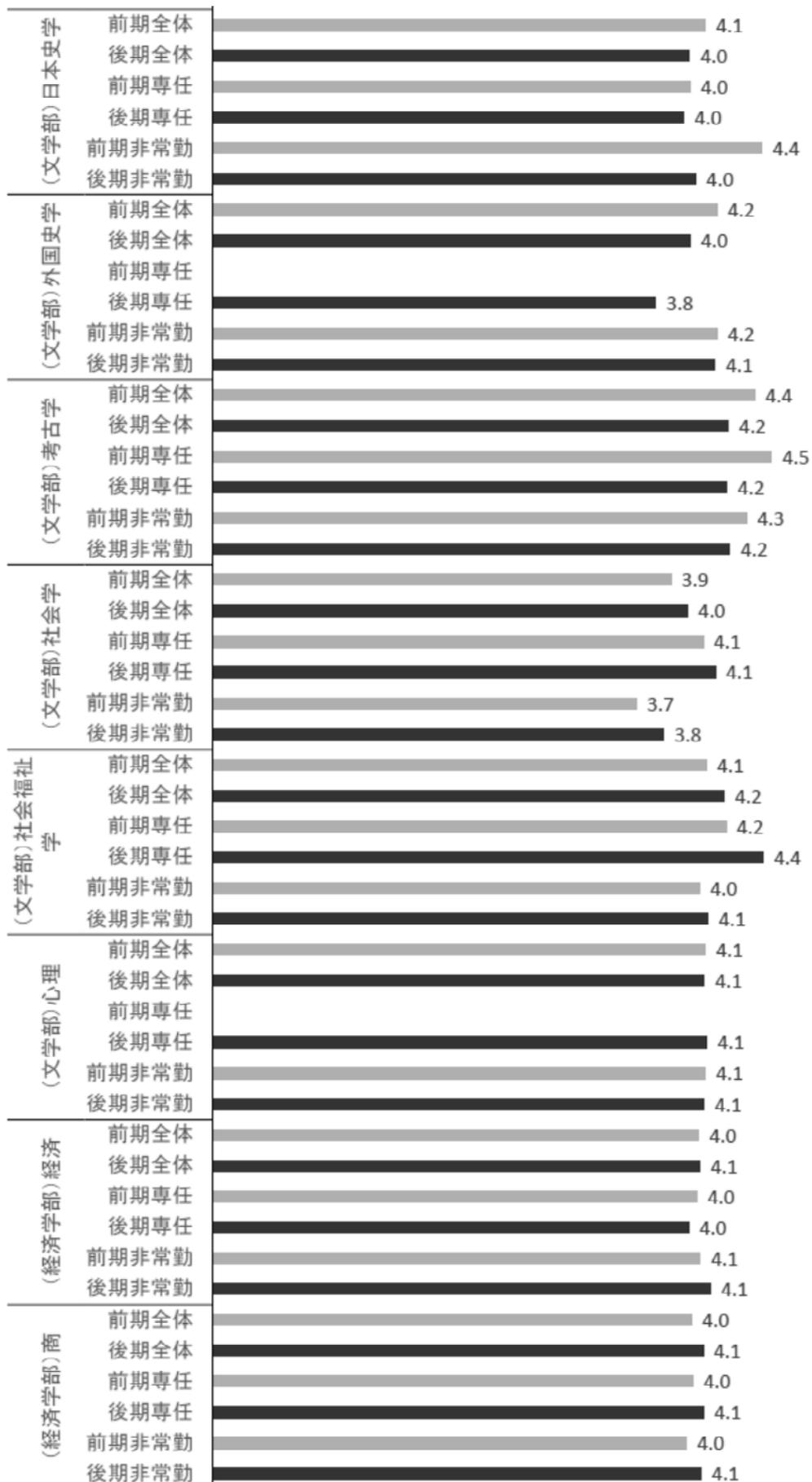


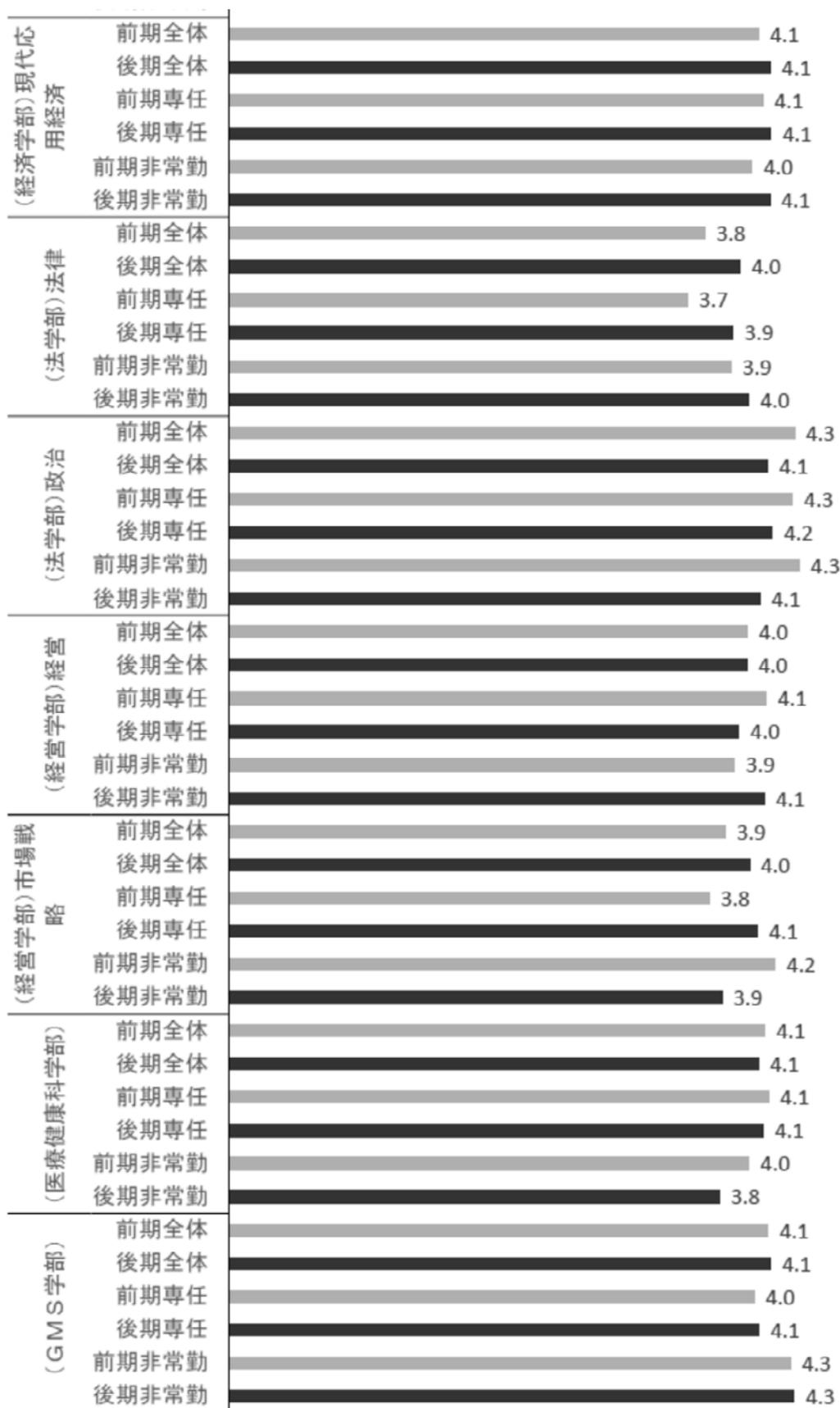
Q 1 8 . 教員は学生からの意見や質問に対して適切に対応していましたか。

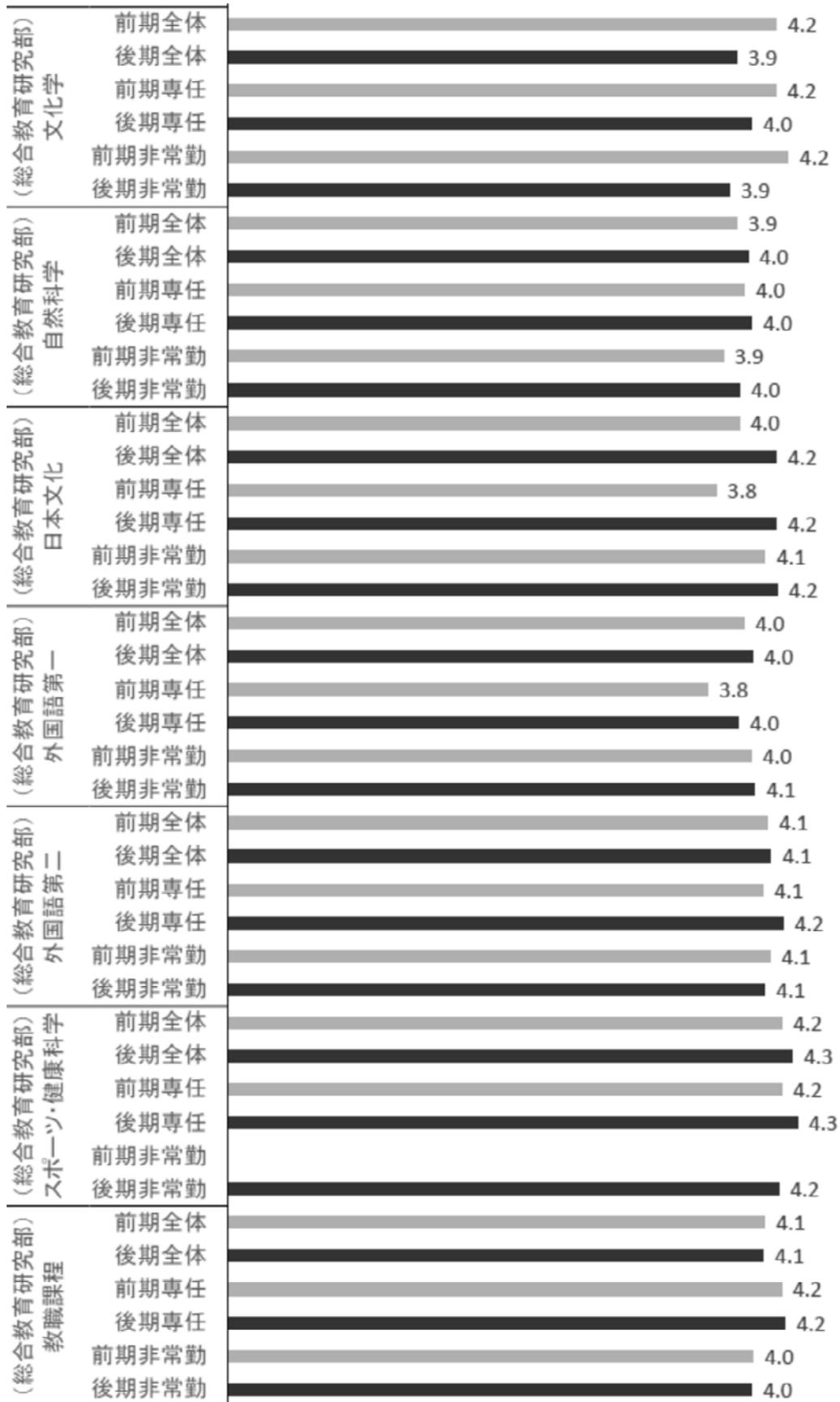
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

ほとんどの学部において、4.0 ポイントに近い値となっており、適切に対応していたことがわかる。





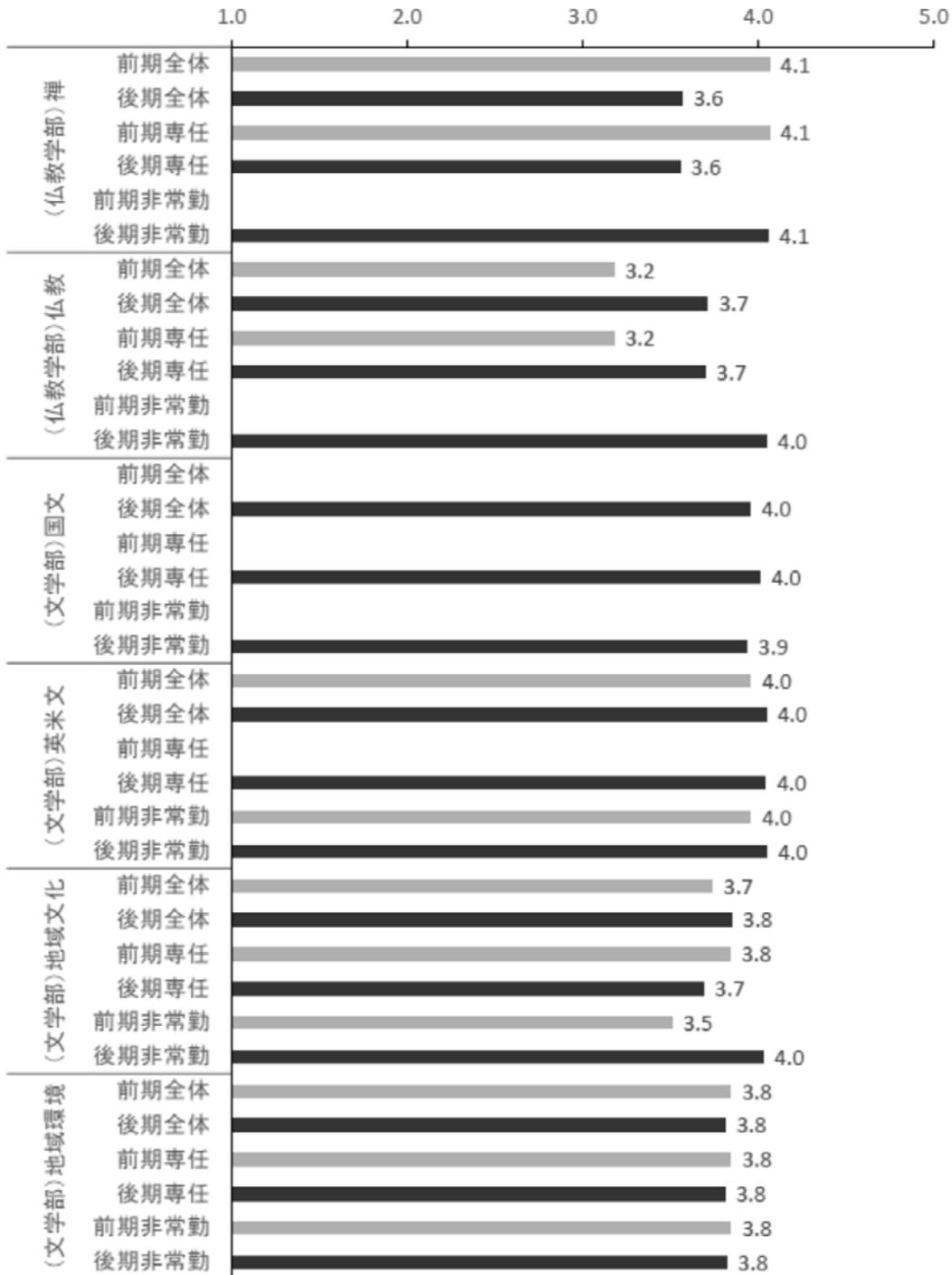


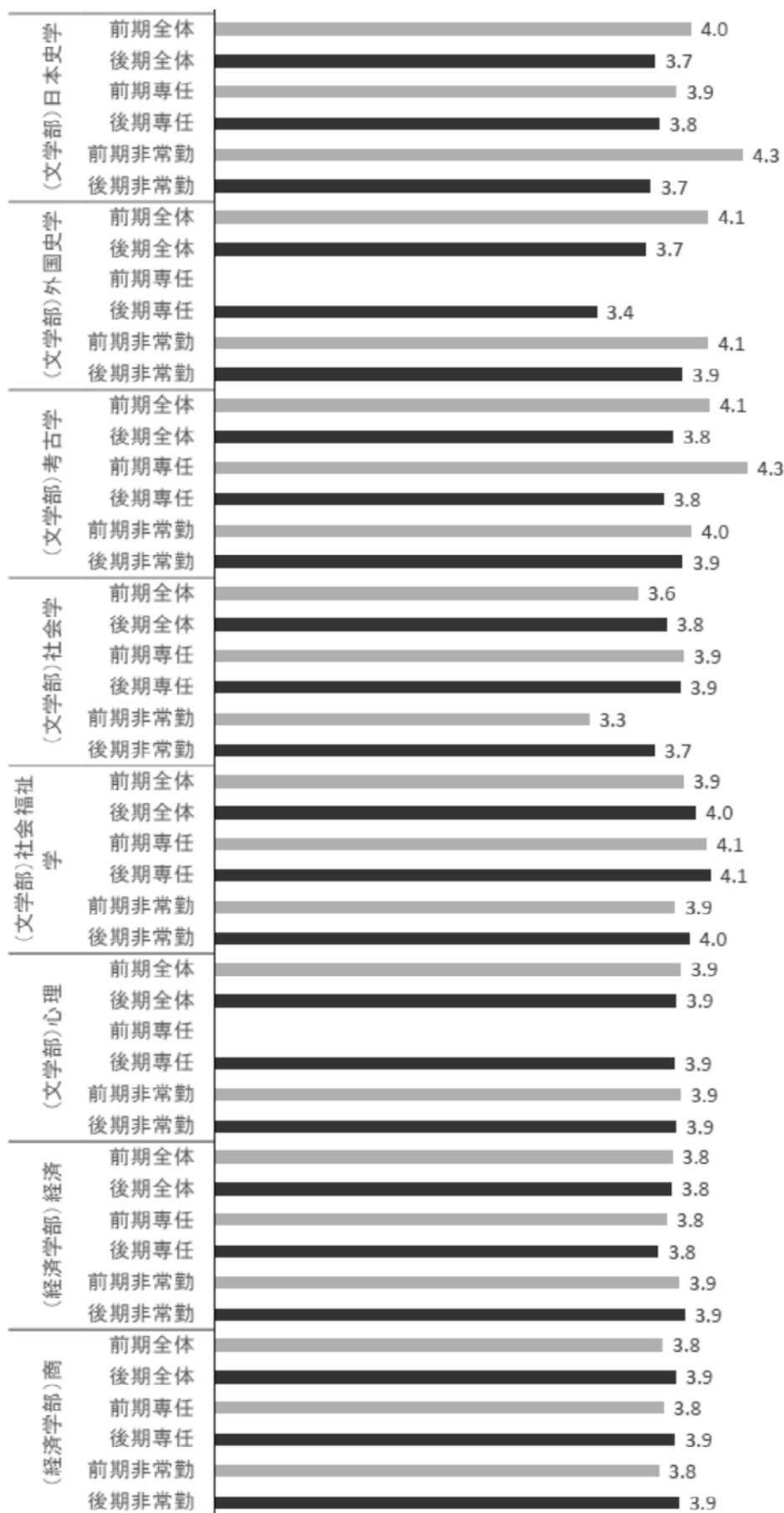


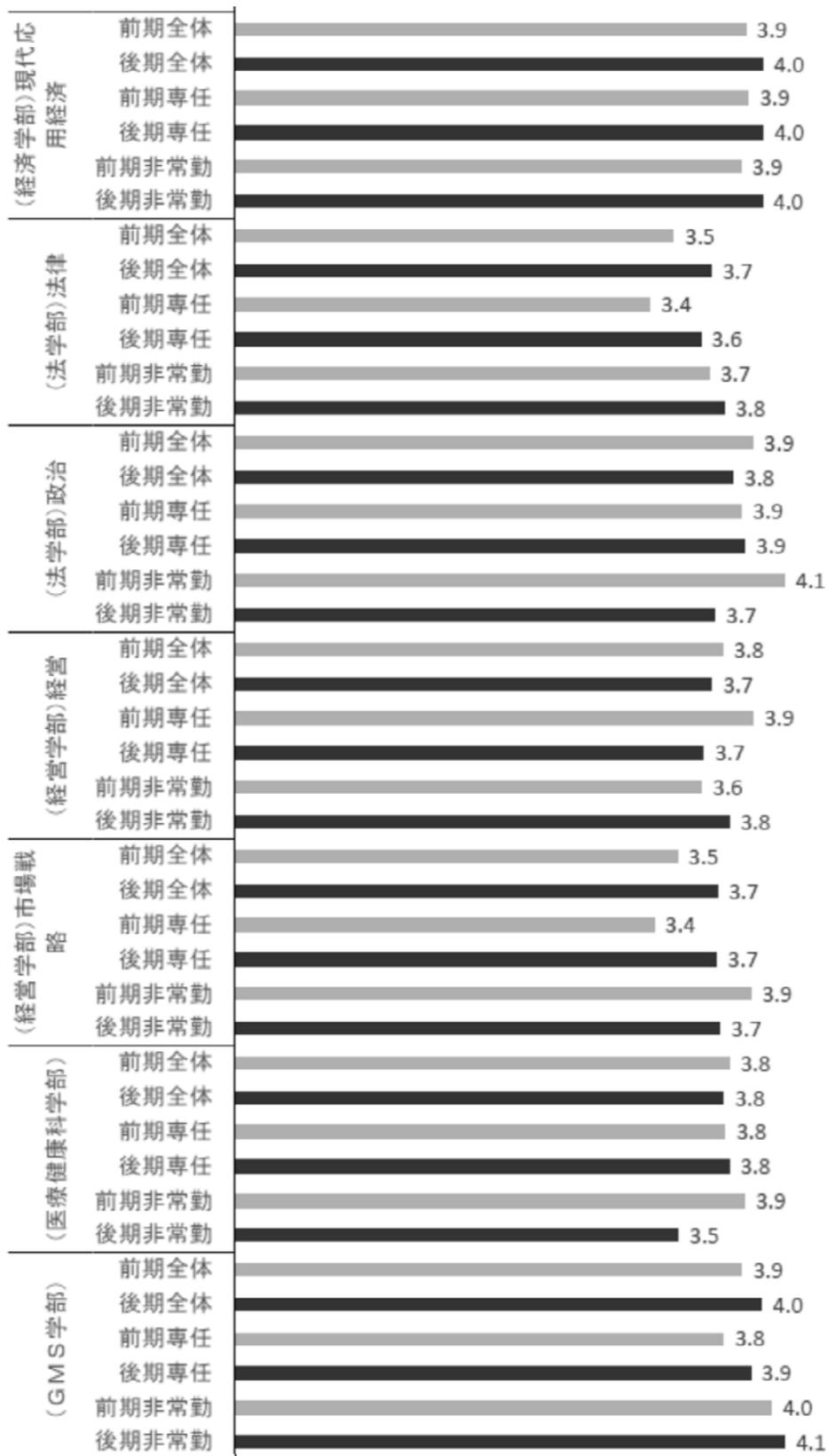
Q 19. この科目の授業内容についてよく理解できましたか。

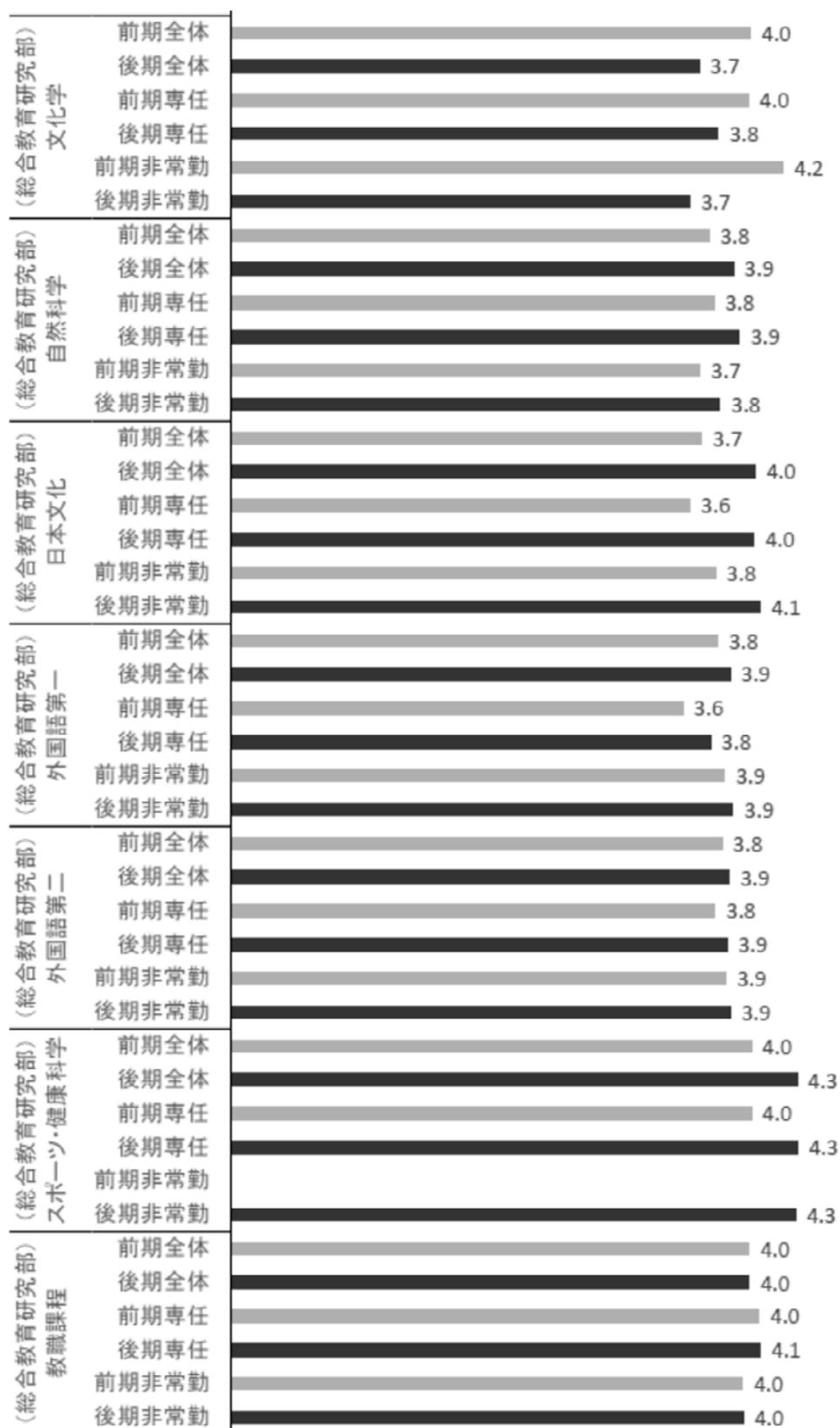
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

3.2～4.3 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、理解できた傾向にあると思われる。





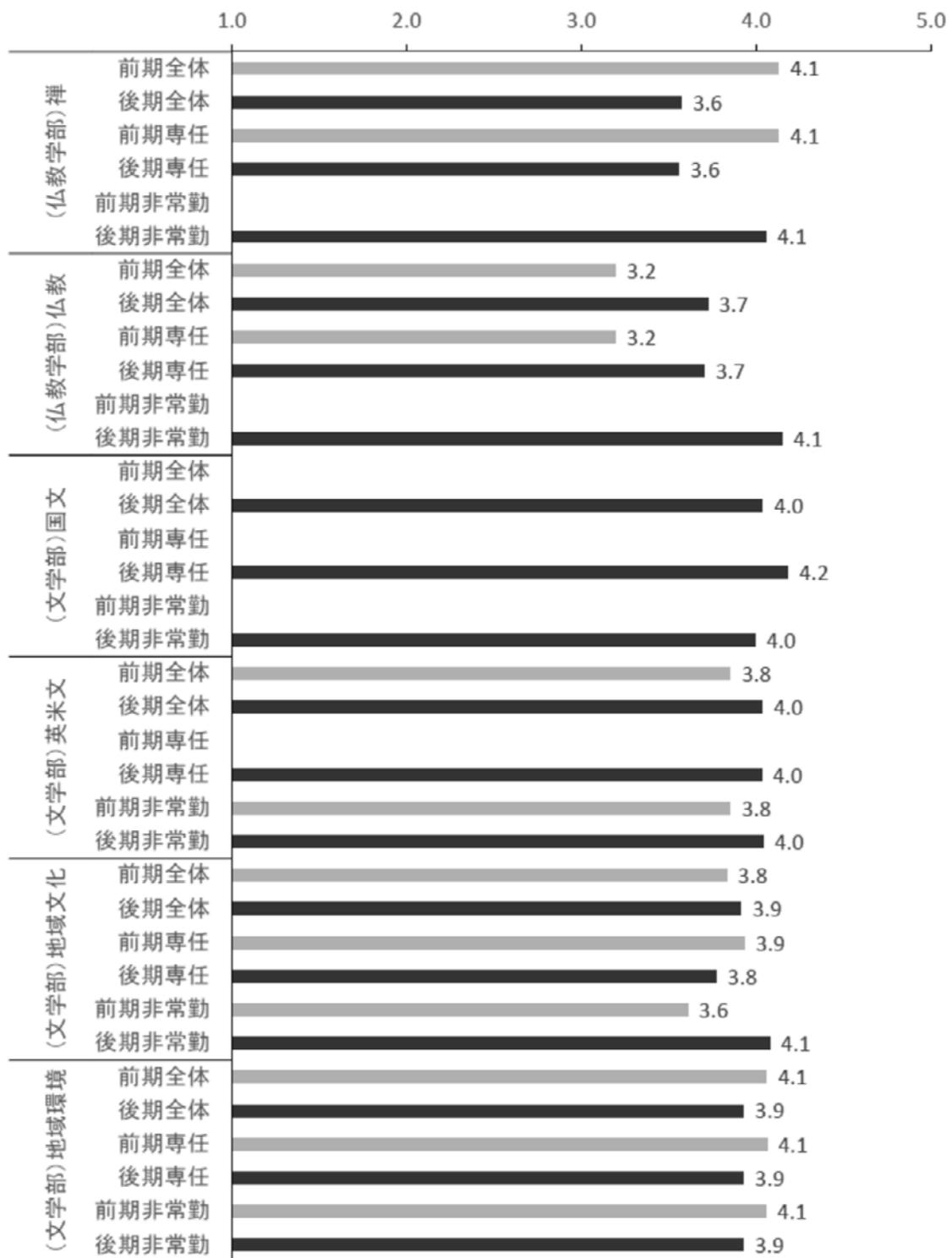


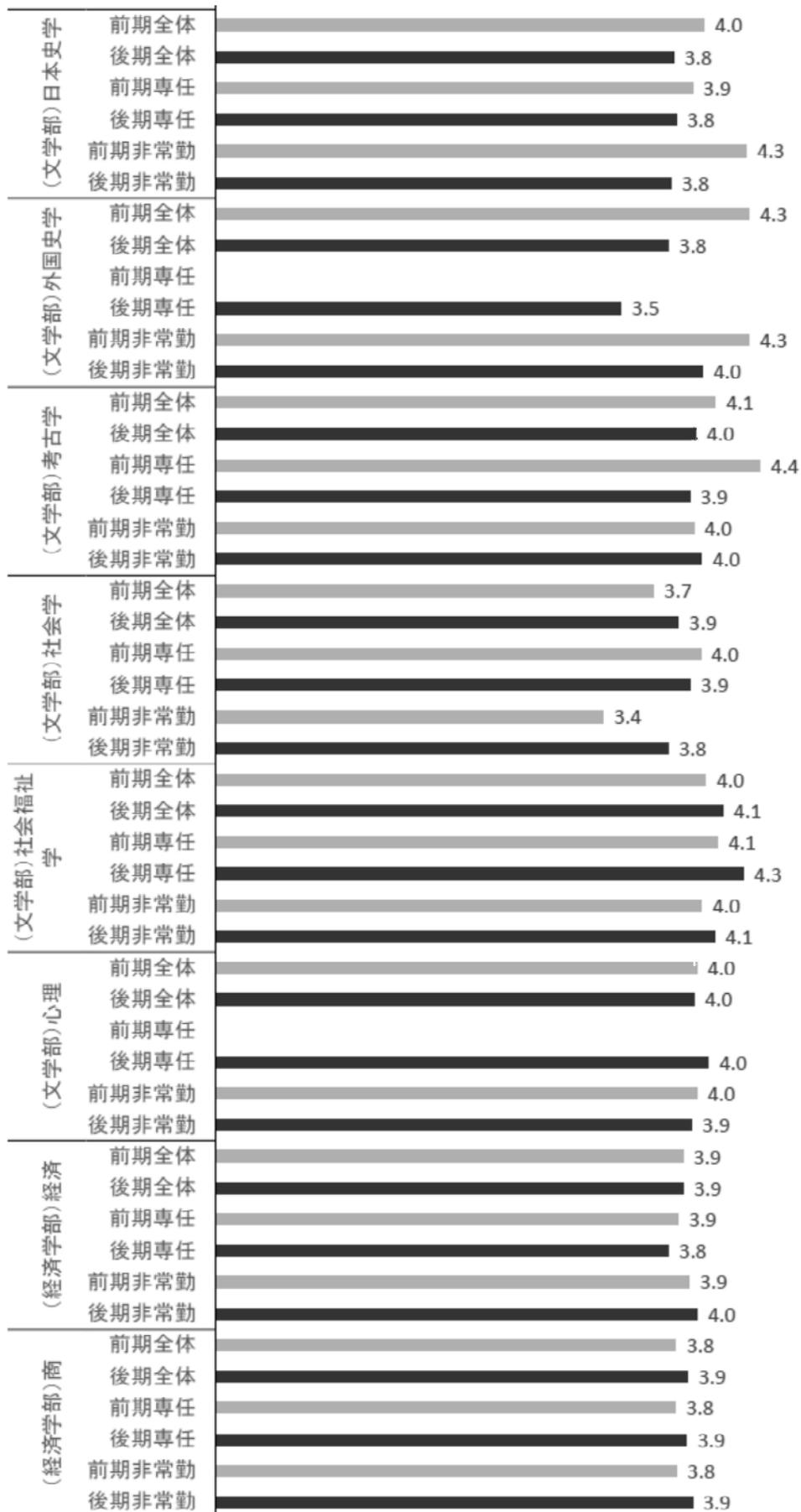


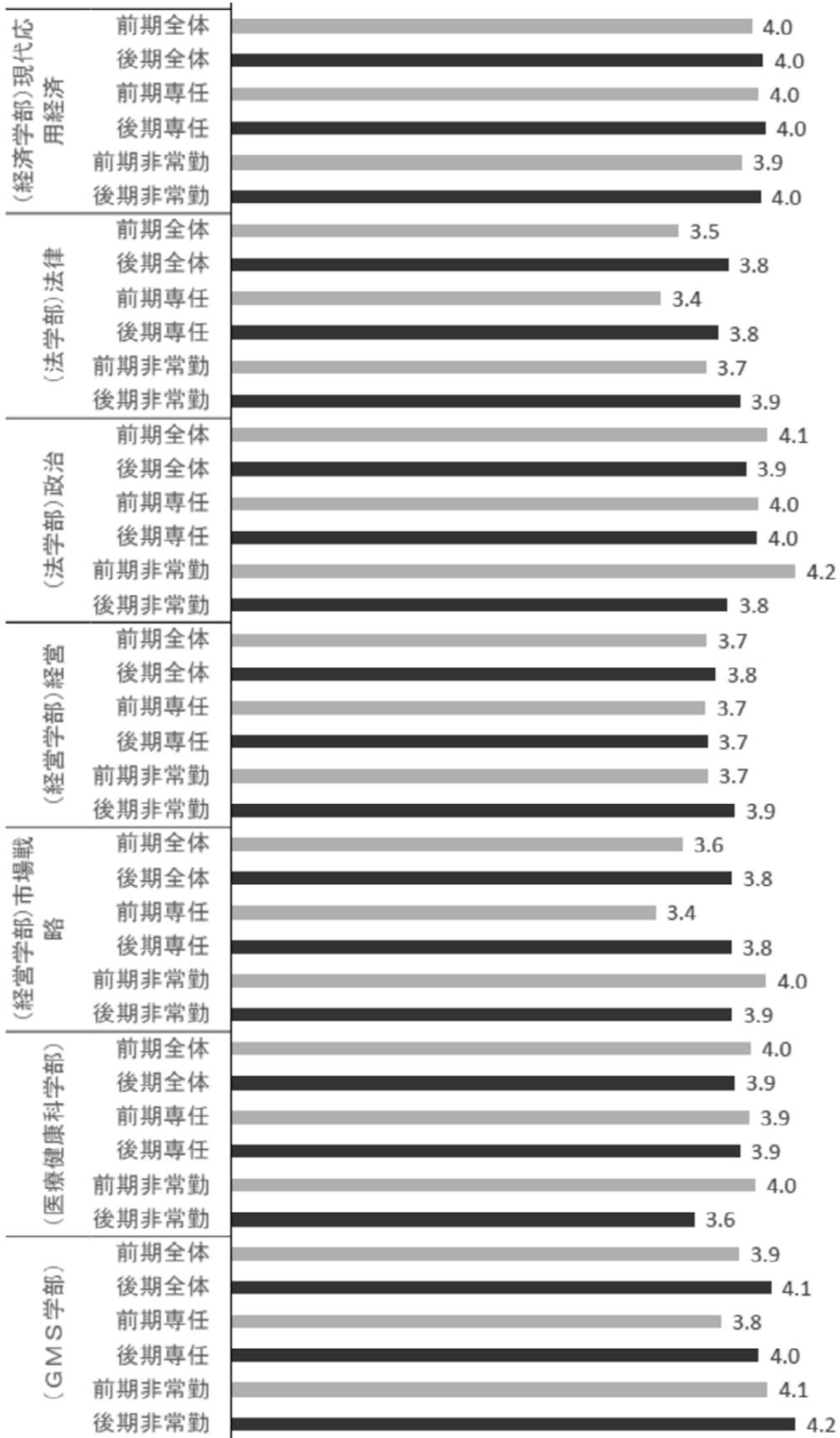
Q 20. 授業内容に興味が持てましたか。

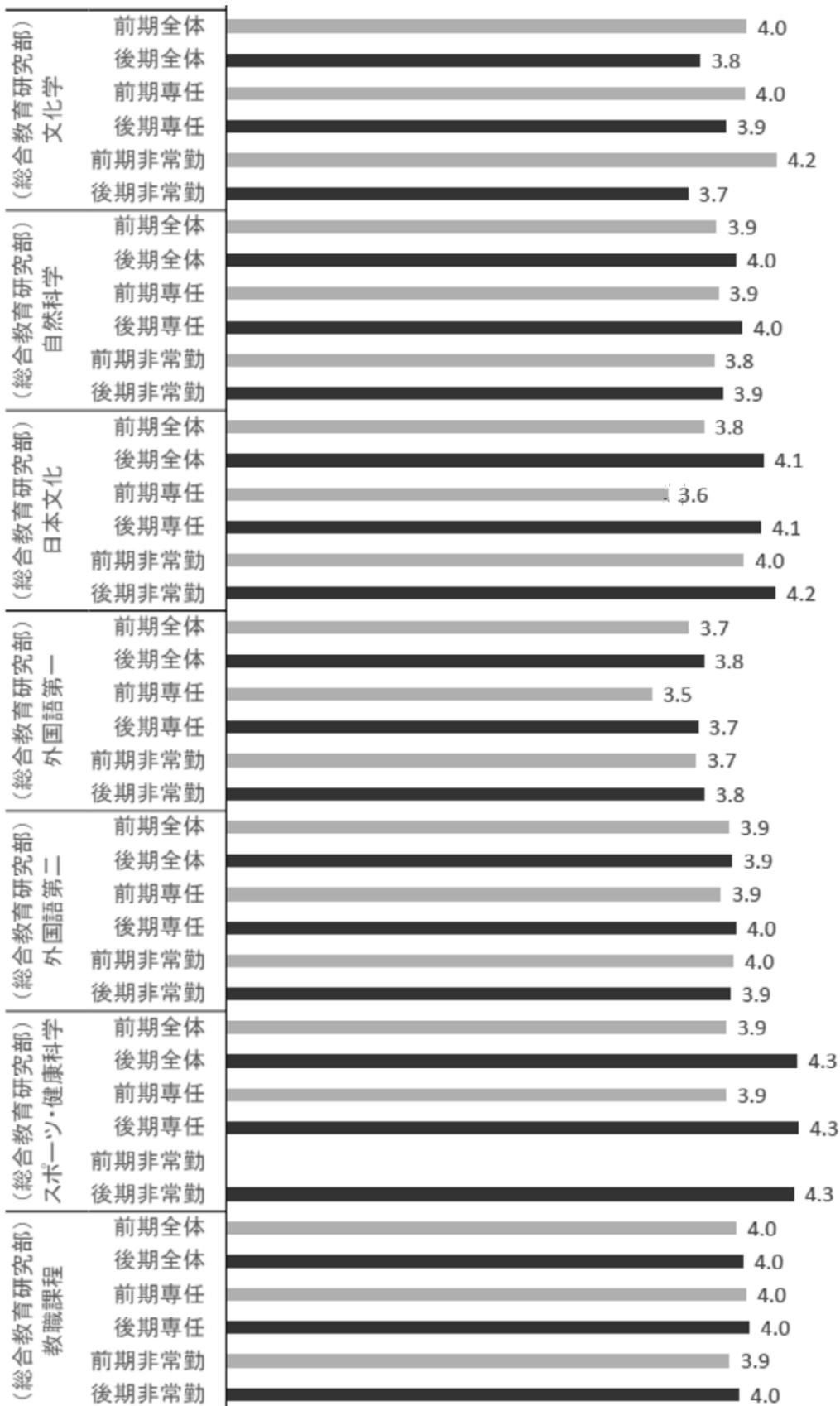
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

3.2~4.3 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、興味を持てた傾向にあると思われる。





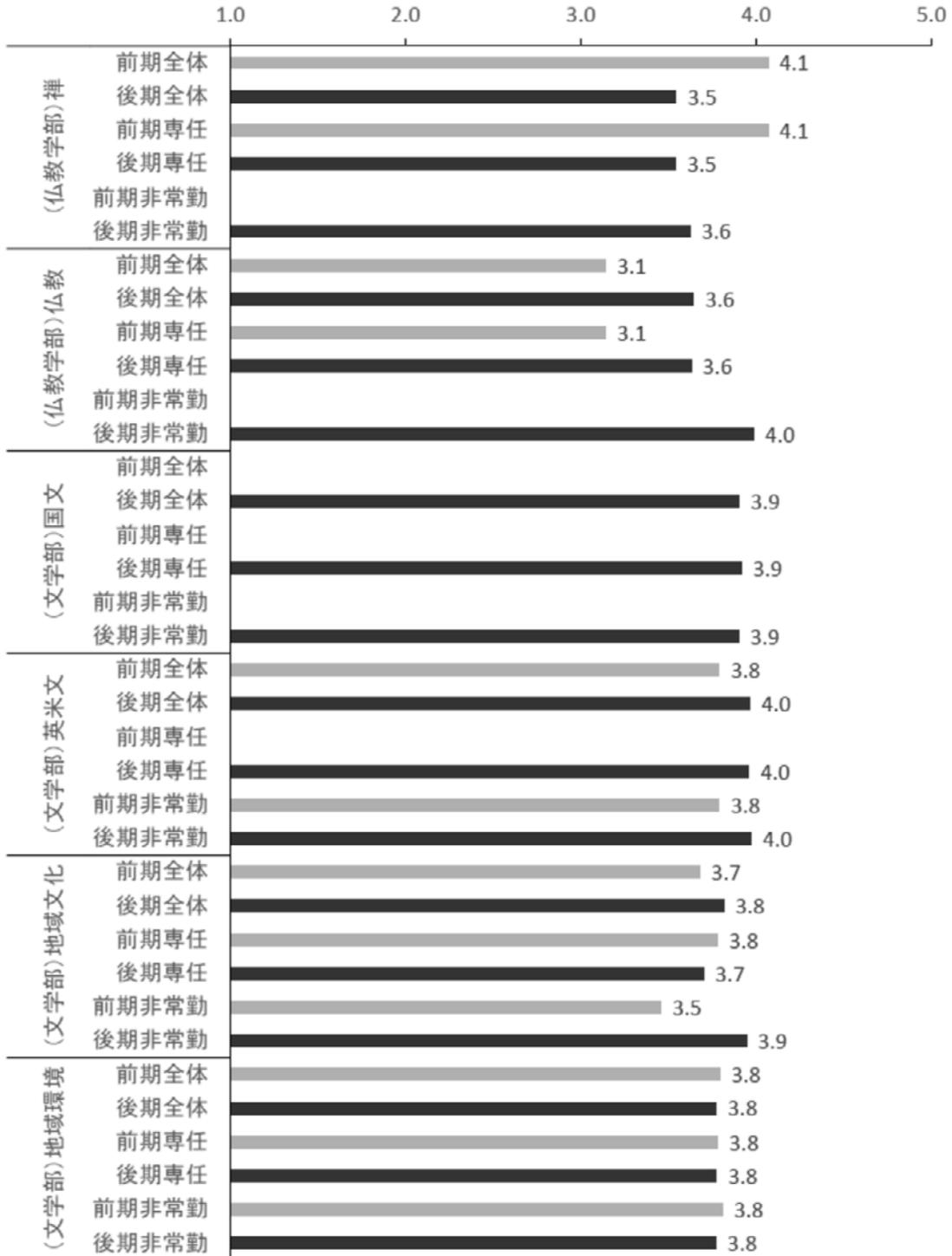


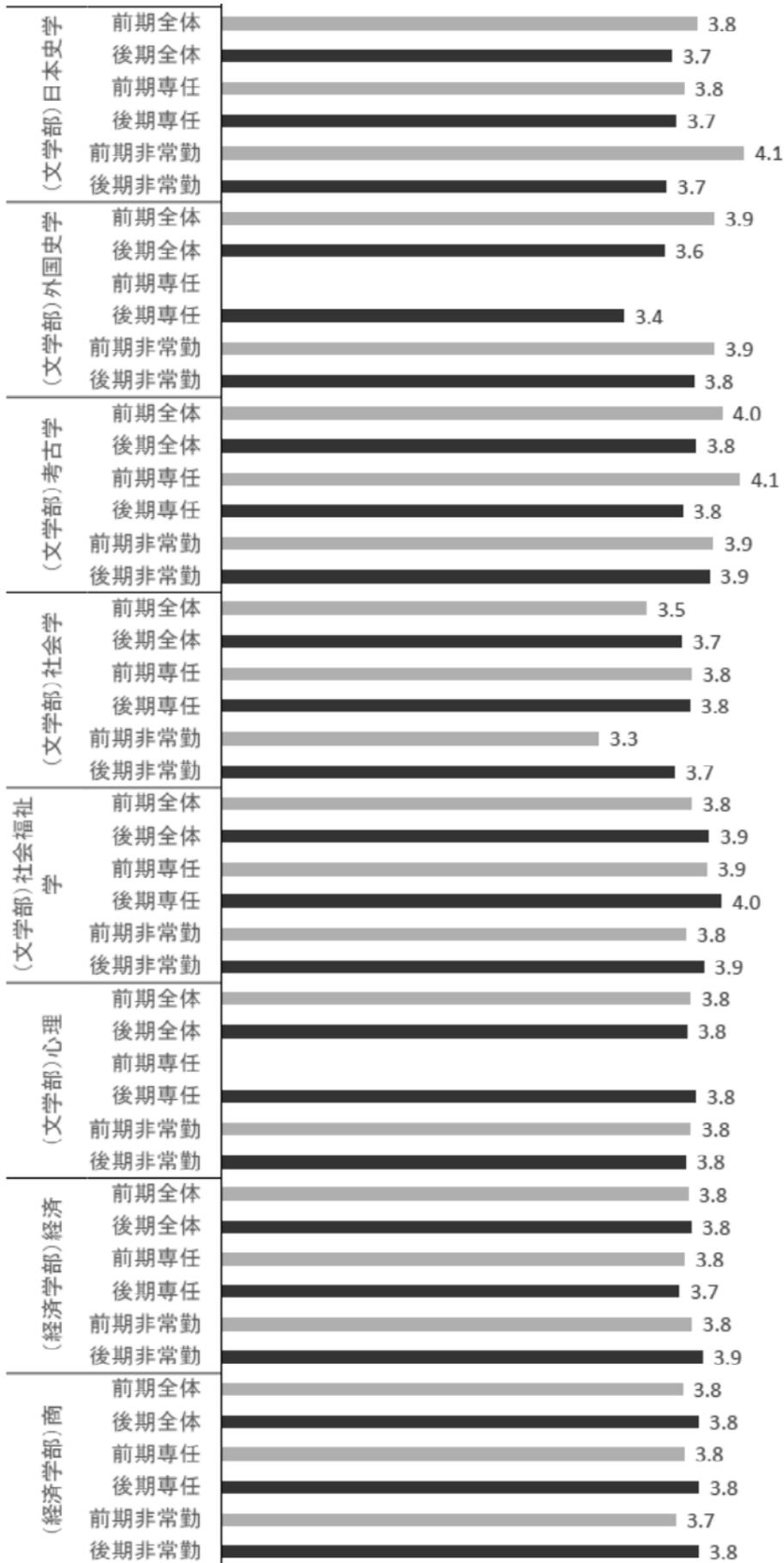


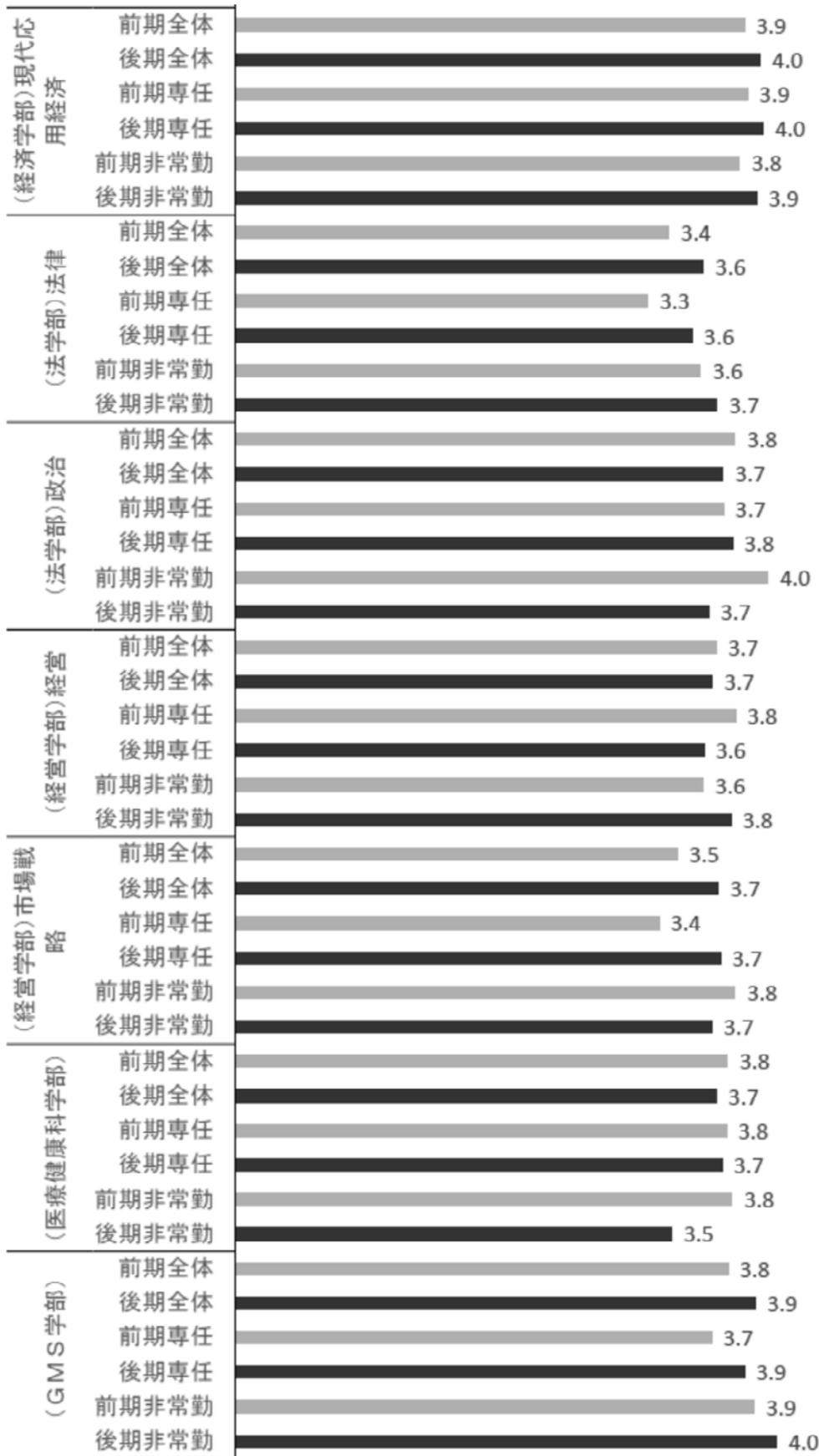
Q 2 1. あなたの学修目標を十分に達成できたと思いますか。

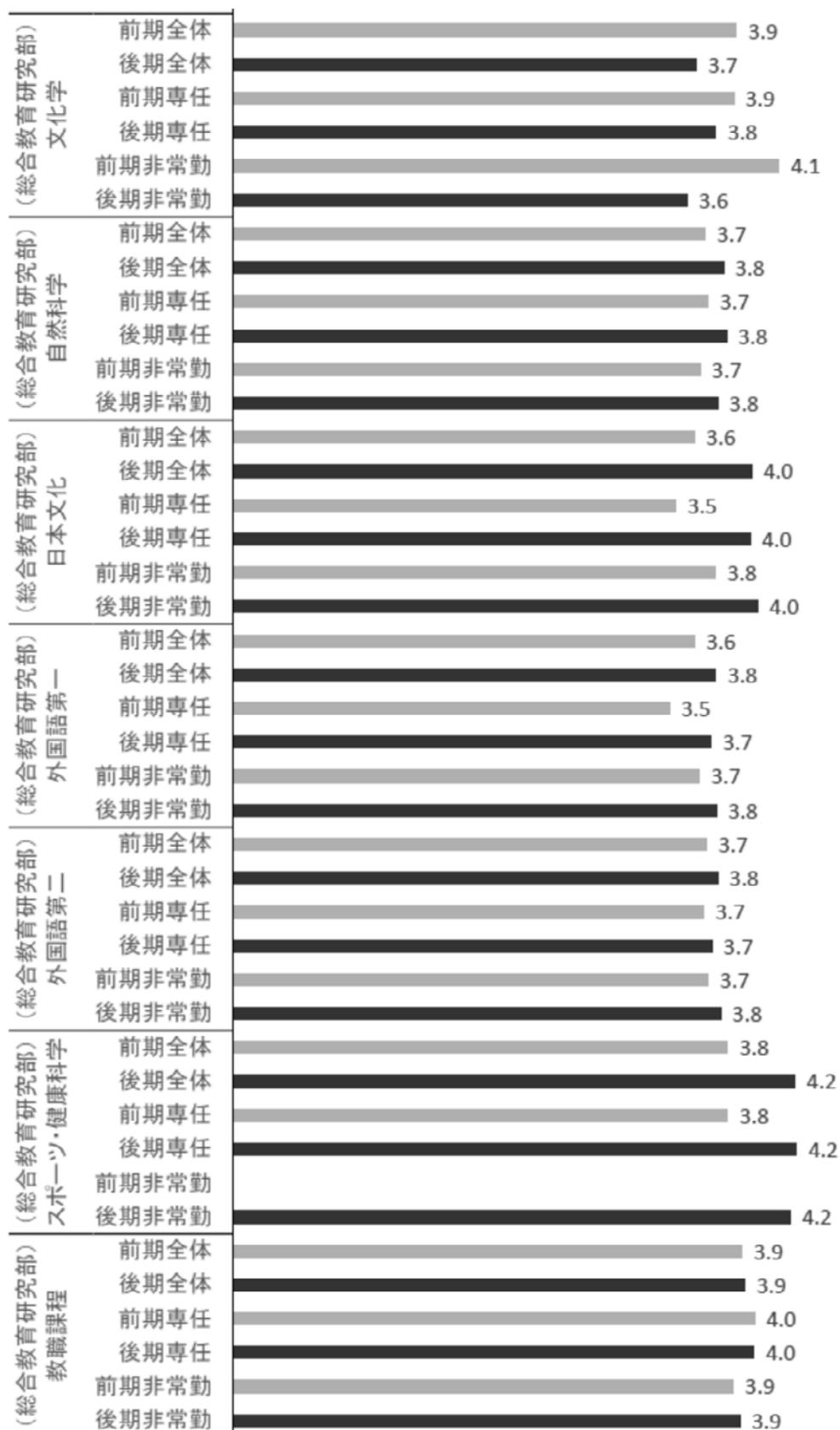
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

3.1~4.2 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、達成できた傾向にあると思われる。









総 評

駒澤大学FD推進委員会小委員会

平成 27 年度委員長 飯塚 大展 (仏教学部 教授)

一、平成 27(2015)年度のFD推進委員会の活動

本委員会の活動は、「駒澤大学教学に関する施策体系『中期事業計画』」(以下『中期事業計画』)への取り組みから始まった。『中期事業計画』の作成は、必然的に具体的な行動計画をとるものなものであり、自発的な取り組みとしての「教育の質の改善」の実践が求められている。

以下、今年度のFD活動の概要を記し、併せて自己点検並びに評価を行いたい。

二、FD推進委員会小委員会(以下「小委員会」)の活動について

「小委員会」では、当初より①新しい教育方法に関するワーキンググループ(「新教育 WG」)、②教育の質保証に関するワーキンググループ(「質保証 WG」)、③相互研修型FDに関するワーキンググループ(「相互研修型FDWG」)を組織した。更に④Awardワーキング・グループが追加された。これらのWGは、FD活動の企画、課題検討、素案(叩き台)の作成に大きな役割を果たした。「小委員会」では、その提言に基づき、問題の把握、改善への方途を検討し、「FD推進委員会」に報告を行った。今年度、「FD Circle」を制定した。各教員による Plan⇒Do⇒Check⇒Action という改善の循環を、FD Support と関連して機能させる、本学の制度的取り組みである。今年度はFD活動への理解と自発的参加を求めるために、特に各学部等の教授会に対する報告、学内・学外への広報活動に努めた。

三、FD活動について

(1)研修会

4月に新規採用教員を対象としたオリエンテーションを実施した。昨年度発刊された『FDハンドブック改訂版』の活用が望まれる。平成28年2月1日に開催されたFD研修会は、「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」をテーマとして実施された。全教員の半数近く140人の教員の参加を得て、昨年の3倍近い実績となった。参加者によるアンケートも実施され、研修内容に対する関心も高く好評だった。今年度は「新教育WG」が企画し、「相互研修型FDWG」と連携して実施された。実施後、開催時期、広報活動のあり方、研修内容の選定、実施形態についての反省が行われ、来年度研修会の改善へ向けて検討がなされた。今年度は、学外で開催されたFD活動関連研修会にも多くの参加者を得た。上記は本学のFD活動活性化の一面を示すものと言える。

(2)公開授業

昨年度より、学部等での公開授業の検証結果を「FD推進委員会」に報告する事が義務化された。今年度は予め公開授業担当者とその報告者を各1名ずつ選定し、公開授業を行う事が原則とされ、「振り返りシート」の形式も変更された。公開授業実施後、各学部等において公開授業実施報告がなされた。これに先立って「振り返りシート」を用いた、参加者による検討会が開催された学部もあった。公開授業は、授業内容、教育方法を共有する意味を有する。その長所を認識し、参加者自身の授業の中で活かしてゆくことは、FD活動として極めて有意義なものである。公開授業は学部等の自主性を尊重するものであるが、総体としては「教育の質の改善」のために、より多くの教員の参加が望まれる。この点に関して「小委員会」では、公開授業の科目数を増やす事を提言した。

(3)授業アンケート

昨年度より学生による授業アンケート（以下「授業アンケート」）がインターネットを利用して回答するシステムに変更（Web化）された。本年度は2年目に当たり、アンケート参加者の減少が懸念された。前期より後期、1年次生より3・4年次生のアンケート回答率が低い現状をどのように改善してゆくかは最大の課題である。C-Learning を利用して行なう現今のシステムに関して、授業内に必ずしも回答が得られない等、種々の問題点が指摘されており、今後システム利用のメリットを活かすべく改善に努めることとなった。「授業アンケート」は受講者である学生の声を聞くことの出来るまたとない機会であり、当該年度における授業内でのフィードバックすることが原則とされた。また、次年度における「教育の質の改善」への取り組みとして、平成28年度以降、シラバスに改善点を記載することが義務化された。したがって、アンケート実施後、教員のC-Learning のログイン率が必ずしも高くないのは大きな課題である。C-Learning に不慣れな教員のサポート等、支援体制を強化すると共に、より広報に努め周知徹底をはかることとなった。「授業アンケート」集計結果、及びその分析については、FD NEWSLETTER に掲載した。来年度に向けて「質保証WG」を中心に「授業アンケート」の質問内容の検討がなされ、その提言を踏まえて改善を行った。

(4)FD NEWSLETTER 等の発行

例年通り、本学におけるFD活動の推進・広報・報告のためのFD NEWSLETTER を4回発行した。これらは、紙媒体で専任教員に配布され、大学ホームページでも公開している。また、授業アンケート結果やFD NEWSLETTER を含む『FD活動報告書』を発行し（本報告書）、本学とFD活動で結びつきのある大学等関係諸機関に送付する。なお今年度より、『FD活動報告書』に、①新しい教育方法に関するワーキンググループ、②教育の質保証に関するワーキンググループ、③相互研修型FDに関するワーキンググループ、各WG活動報告書を掲載することとした。

(5)その他の活動

『中期事業計画』においては「学士課程教育の一層の充実」を行動目標としているが、その具体的な行動計画の一つが「対面授業（学習）の多様化推進」であり、とりわけ「アクティブラーニング・PBLの推進」を掲げている以上、その定義は避けては通れない課題であった。これらの用語を駒澤大学としてどのように定義するかということは急務であり、現在検討を重ねている。各学部等において既に実践されている「アクティブ・ラーニング」「PBL」の授業実態の把握、学外組織との連携に関する調査も同時に行われ、これらの調査を通じて、多くの教員の協力が得られた。一方「小委員会」は、「アクティブ・ラーニング」と密接不可分である「ICT機器活用」に関して、学内の環境整備の必要性を痛感し、その一貫として130周年記念棟の教育環境整備について提言を行った。今後も関係各部署と連携し、よりよき教育環境の整備に努めることとなった。これに先立って、ICT活用の実例をFD委員自身が学ぶため、ICTを日常的に利用して「アクティブ・ラーニング」型授業に積極的に取り組んでいる都内の小学校を視察した。またICT機器を諸大学に納入している商社のショールームの視察を行ない、最新のICT機器に直接に触れ、体験した。来年度に向けて「新教育WG」を中心に、システム並びにツールの検討を重ねている。「入学前教育」については、学部主体で行われているが、本委員会との関係性について討議が行われた。

四、今後の課題

FD活動の根幹をなす理念が判然としていない事に危機感を抱いている。即ち駒澤大学としてのFD活動の理念・指針は明確にすべきである。その意味で、駒澤大学FD憲章の作成に向けて討議を進めたい。また学生の授業に関する意見をどのように反映するかは、今後論議の俎上に上がってゆくものと思われる。学生によるFD活動も視野に入れるべきものと思われる。

6. FD NEWSLETTERの発行

○FD NEWSLETTER 第43号	平成27年 6月30日発行
○FD NEWSLETTER 第44号	平成27年 9月30日発行
○FD NEWSLETTER 第45号	平成27年 12月15日発行
○FD NEWSLETTER 第46号	平成28年 3月15日発行

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 「高大接続改革実行プラン」
におけるFDの課題
教務部長 経営学部教授
猿山 義広
- 学生が自身との関わりを
実感できる授業
総合教育研究部准教授
勅使河原 三保子
- 平成27年度
新規採用教員オリエンテーション
- 平成26年度活動報告
- FD推進委員会の今後の予定

「高大接続改革実行プラン」におけるFDの課題

教務部長

経営学部教授 猿山 義広

今年1月、文部科学省は、中教審答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」（平成26年12月22日）を踏まえ、高大接続改革実行プランを公表した。中教審答申と同様、このプランについても新たな学力評価テスト（「高等学校基礎学力テスト（仮称）」及び「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」）の導入が中心になっているが、大学教育についてもかなり大胆な改革が提唱されている。同プランにおける【改革の方向性】とは、次のようなものである。

(1) 大学教育の質的転換

- ①3つのポリシーの一体的策定の義務付
- ②SDの義務化をはじめとする学長補佐体制の充実
- ③アクティブ・ラーニングの導入など、教育の質的転換の推進

(2) 学生の学修成果の把握・評価の推進

- ①学修成果や内部質保証に関する評価規定の創設

(3) 大学への編入学等の推進

- ①高校専攻科修了生の大学への編入学について、必要な制度改正
- ②入学後に幅広い学問分野に触れた上で進路決定が可能となる取組の推進
- ③大学入学後の進路変更や学び直しのための環境整備についての検討

これらのうちFDの課題として検討すべきものは、第一にアクティブ・ラーニングの推進、第二に学修成果の把握、第三にSDであろう。

アクティブ・ラーニングの推進にあたっては、施設の整備とノウハウの習得、両面での取組が必要になってくる。学修成果の把握に関しては、客観性と比較可能性が担保された新たなテストの導入が不可欠であろう。また、SDについては、授業に直接携わる教員以外の教職員（学長等の執行部、学部長等、事務職員、技術職員等）を対象にした研修等の取組を検討しなければならない。

個人的な感想を述べれば、こうした課題に取り組んでいくためには、個々の学生の潜在能力を成果に結びつけるための、個々の教員の資質に応じた形でのFD推進、という視点が重要だと思う。学校教育法等の一部改正に伴う内部規則の見直しによって、FDは「組織的な研修等」として学則に規定されたが、組織的な取組が画一的で均質的な取組にならないよう、それぞれの教員にとって、それぞれの実りが期待できるFD活動の展開に努めていきたい。

連載企画：よりよい教育のために

「学生が自身との関わりを実感できる授業」

総合教育研究部准教授

勅使河原 三保子

我が総合教育研究部外国語第一部門は全学の英語科目を担当しており、その内訳は必修・選択必修科目（必修英語、除くGMS学部生）が約9割で、残りが全学部対象の選択科目です。当部門では昨年度より新カリキュラムを導入しており、その内容を簡単に説明すると、必修英語では学生の学力の多様化に対応するため緩やかな習熟度別クラス編成を導入し、シラバスの一部を共通化することにより質の標準化を図っています。選択科目も学生のニーズ、社会の要請に応えながら、担当教員の専門性も反映できるような多様な科目に衣替えしました。現在も課題は山積していますが、担当科目全体のさらなる質向上のためには、上記に加えて各教員の努力が不可欠です。以下、実践を通して教育方法の模索を続けている一英語教員としての私の取り組みをご紹介します。議論のきっかけにいただければと存じます。

必修英語には学習意欲の低い学生も数多くいます。専門学部の必修科目にもそういう学生はいるのかもしれませんが、専門教育以外の学生の自由意思による選択がほとんど許されない科目にはさらに難しいことが多いのではないかと感じています。しかし、その本学の必修英語の現状に向き合って、学生の履修をさらに有意義なものにしていくのが我々の使命だと考えます。

私が必修英語で特に心掛けているのは、学生が授業を通して学習内容が自分に関係することを自覚して興味を抱き、授業外でも自発的に学習するようになるきっかけを提供することです。レベル分けを始めたと言えど、依然学力も学習意欲も多様な学生たちに今受けている授業が自分に関連することを直接的にも間接的にも示すことは重要です。仮に英語自体でなくても、授業で扱った内容に興味を持って自発的に調べたり、関連ニュースに注意するようになるだけでも一つの成果と私は考えます。そのような授業を実現するた

め、私はウェブ上の記事や動画から生の英語素材を、学生が普段ニュースで見聞きするような地球規模で取り組まねばならない問題や、自文化・異文化に関するいくつかのテーマ（グローバル化と言語、異常気象、クールジャパン等）の下に収集し授業を組み立てています。今年度はさらに新規テーマ（戦争の記憶、多様性、他）を取り上げる予定で、多様性については、渋谷区での同性婚だけでなく、タイミングよく海外の政治家の報道が最近出たため、授業に用いる素材を探すのを今から楽しみにしています。授業準備は負担も多いですが、私の授業が世界で起こる様々な出来事や自文化・異文化に対して学生の目を開かせるきっかけになればと考えています。

平成 27 年度新規採用教員オリエンテーション

本年度も4月1日に今年度より新たにご出講いただく先生方を対象としたオリエンテーションを開催し、専任教員15名、非常勤教員61名の計76名の先生方にご出席いただきました。

オリエンテーション第一部では廣瀬良弘学長より本学の建学の理念について、猿山義広教務部長より本学の教育方針等について、前FD推進委員会小委員会委員長の田中靖先生（文学部教授）より本学のFD活動について説明をいただき、事務局からは、総合情報センター（「KOMAnet（コマネット）」、「ユーザーID」、「YeStudy（e-learning）等の利用について」）、図書館（「図書館の利用案内について」）、教務部（「授業運営に関係する説明」）が説明を行い、第一部終了後、希望された先生方を講師控室およびAV教場にご案内しました。

第二部では、専任教員を対象に教務部から公的研究費、教員教育研究費等に関する説明を行いました。

オリエンテーションについて、ご意見、ご提案等ございましたら事務局までお申し出ください。

1. 開催日時

平成 27 年 4 月 1 日（水）14：40～16：00

2. 出席者数

76 名（案内状発送 119 名）

3. オリエンテーション次第

- ・ 学長挨拶
- ・ 教務部長挨拶
- ・ 前FD推進委員会小委員会委員長挨拶
- ・ 大学案内（教務部・総合情報センター・図書館）
- ・ 質疑応答
 - 質疑応答後、希望者を講師控室、AV教場を案内した。



(オリエンテーションの様子)


 平成26年度FD推進委員会及び小委員会の活動報告

平成26年

4月

- ・ 「新規採用教員オリエンテーション」を開催
- ・ 第1回FD推進委員会及び小委員会を開催

6月

- ・ 第2回FD推進委員会小委員会を開催
- ・ 2014年度「学生による授業アンケート」（前期）の実施

- ・ FD NEWSLETTER 第39号を発行

7月

- ・ 第3回FD推進委員会小委員会を開催

9月

- ・ 第2回（臨時）FD推進委員会を開催
- ・ FD NEWSLETTER 第40号を発行

10月

- ・ 第4回FD推進委員会小委員会を開催
- ・ 第5回（臨時）FD推進委員会小委員会を開催
- ・ 第3回FD推進委員会を開催

11月

- ・ 2014年度「学生による授業アンケート」（後期）の実施

- ・ 平成26年度公開授業の実施（12月8日まで）

12月

- ・ FD NEWSLETTER 第41号を発行

平成27年

1月

- ・ 第6回FD推進委員会小委員会を開催
- ・ 平成26年度FD研修会を実施

2月

- ・ 第7回FD推進委員会小委員会を開催

3月

- ・ 第4回FD推進委員会を開催
- ・ FD NEWSLETTER 第42号を発行
- ・ 平成26年度『FD活動報告書』を発行

FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成 27 年度第 4 回FD推進委員会小委員会
平成 27 年 7 月 28 日 (火) 14:00 ~

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

~2015 年度「学生による授業アンケート」(後期) 実施のお知らせ~

実施期間：平成 27 年 11 月 9 日 (月) ~28 日 (土)

対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、
受講生が 20 名未満の科目は除く)

※WEBによるアンケートを実施しています (PC、
スマートフォン、携帯電話、タブレット等を使用し
て回答されます)。



編集後記

『FD NEWSLETTER 第 43 号』をお届けします。

巻頭言を教務部長の猿山義広先生に、連載企画を総合教育研究部の勅使河原三保子先生にご執筆いただきました。

猿山先生の「高大接続改革実行プランにおけるFDの課題」では、今後のFD活動における大きな3つの課題が示されました。全学的に取り組んでいかなければならない大いに検討すべき課題ですので、全教職員で問題や情報を共有し、よりよい教育のために取り組んで参りましょう。

勅使河原先生の「学生が自身との関わりを実感できる授業」では、授業における実践例をご紹介いただきました。各授業によって様々な状況ではありますが、授業外でも学生が自発的に学習するようになるきっかけ作りはどの授業にも必要なことだと考えます。このような個々の教職員の創意工夫や知見を多くの教職員間で共有し、それぞれなりの活用に繋げていければと思います。そのためにも、今後とも貴重なご報告や忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

最後に、新学期の公務ご多忙の折にご協力いただきました先生方に深く感謝申し上げます。

(遠藤 司・山口 良博)

【タイトル横の写真は、禅研究館】

FD NEWSLETTER Jun. 2015 第 43 号

発行日：2015 年 6 月 30 日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- グローバル化促進
— これからの留学促進のために —
国際センター所長
総合教育研究部教授
上野 勝広
- 2015年度「学生による授業アンケート」
(前期) 集計結果
- 「グループワークと授業支援システム
を用いたインタラクティブな活動」
グローバル・メディア・スタディーズ学部
講師 杉森 建太郎
- FD推進委員会今後の活動予定
- 2015年度「学生による授業アンケート」
(後期) 実施のお知らせ
- 2015年度「公開授業」実施の
お知らせ

グローバル化推進—これからの留学促進のために—

国際センター所長

総合教育研究部教授 上野 勝広

将来の有為な人材を育む大学には、社会から多種多様な要請を受けており、そこには今日のグローバル化への対応も当然含まれている。

この度、国際センターの策定した『中期事業計画』の柱は、留学生輩出と留学生受入れの拡大で、その主要な施策は次の通りである。

国際交流協定を締結しているのは現在13大学だが、今後も着実な協定の更新に努める。

加えて、駒大生に見合った語学力で交換留学（派遣）のできる海外大学について情報を収集し、志願者の多い英語圏はもとより、英語での授業を開講しているアジア圏にも視野を広げ、新たな協定校を開拓してゆく。同時に、受入れの方では14人までしか収容できない国際交流館に加え、外部に留学生用の寮整備は必須である。将来的には日本人学生とも共生できる国際寮の確保を目指す。

在学中の留学経験は、単に実践的な語学力アップのみならず、異文化での日常生活を通して自立・自律力、コミュニケーション力、問題解決力等を顕著に高められ、かけがえのない豊かな自己成長の機会となる。それゆえ意欲も能力もありながら経済的理由で留学を断念せざるを得ない学生を支援するために「国際交流奨学金制度」を新たに設けたい。

国際センターは深沢キャンパスに位置し、徒歩5分ほどながら通学路の反対方向なので、現状はなかなか学生の足が向きにくい。スタッフの増強が前提となるが、駒沢キャンパスに窓口を設置すれば学生が授業の合間に気軽に立ち寄り、情報提供ならびに各種手続きの便宜が図れるであろう。

本学のグローバル化への対応は、競合する他大学に対して残念ながら従来かなり遅れを取ってきた。今後は国際センターが諸課題に取り組むにあたり、対外的に認知される全学的な体制として8月に発足したグローバル化推進委員会の機動力をばねに、実質的な成果を積み重ねてゆきたい。

教職員各位にこれからの駒澤らしい留学促進に向けてのご理解とご支援を切にお願いする次第である。

2015年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2015年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成27年6月1日(月)～6月20日(土)
対象科目	1,212科目
対象者数	82,147人(延べ人数)
実施科目数	1,212科目
有効回答数	48,257件(58.7%)

【質問項目】

Q1. 所属学部学科等

20: 仏教 19: 国文 18: 英米文 17: 地理 16: 日本史学
15: 外国史学 14: 考古学 13: 社会学 12: 社会福祉学
11: 心理 10: 経済 9: 商 8: 現代応用経済 7: 法律A
6: 法律B 5: 政治 4: 経営 3: 市場戦略
2: 診療放射線技術科 1: グローバル・メディア

Q2. 学年

5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他

Q3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

11: 一般入試 10: 大学入試センター試験利用入試
9: 一般推薦入試 8: スポーツ推薦入試 7: 指定校推薦
6: 附属校推薦入試 5: 留学生特別入試
4: 帰国生特別入試 3: 編入学試験 2: その他
1: 回答しない

Q4. この授業に何回欠席しましたか。

5: 0回 4: 1～2回 3: 3～4回 2: 5～6回 1: 7回以上

Q5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)

5: 授業内容に興味を持った
4: 資格の取得
3: 周りの人に勧められた
2: 必修科目または選択必修科目だったから
1: その他

Q6. この授業の予習・復習にあてた時間は1週間に何時間くらいでしたか。

5: 4時間以上
4: 3時間以上～4時間未満
3: 2時間以上～3時間未満
2: 1時間以上～2時間未満
1: 1時間未満

Q7. 授業に熱心に取り組みましたか。

Q8. 授業はほぼ定刻通りに行われていましたか。

Q9. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

Q10. 受講を決める際にシラバスは役立ちましたか。

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていたか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

Q13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的でしたか。

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。

Q15. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすかったですか。

Q16. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすかったですか。

Q17. 教員は静粛な授業環境づくりに配慮していましたか。

Q18. 教員は学生からの意見や質問に対して適切に対応していましたか。

Q19. この科目の授業内容についてよく理解できましたか。

Q20. 授業内容に興味を持ってましたか。

Q21. あなたの学修目標を十分に達成できたと思いますか。

(Q7～21 選択肢)

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

Q22. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q23. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

【学年別平均値】

表1はアンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。

表1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q4平均値	4.4	4.4	4.2	3.7	—
Q5平均値	2.8	3.3	3.8	3.9	—
Q6平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	—
Q7平均値	3.8	3.9	3.8	3.9	—
Q8平均値	4.2	4.2	4.3	4.3	—
Q9平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	—
Q10平均値	3.7	3.9	4.0	4.1	—
Q11平均値	3.9	4.1	4.1	4.2	—
Q12平均値	3.8	3.9	3.9	4.1	—
Q13平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	—
Q14平均値	4.1	4.2	4.2	4.3	—
Q15平均値	4.0	4.1	4.1	4.2	—
Q16平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	—
Q17平均値	4.0	4.1	4.1	4.2	—
Q18平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	—
Q19平均値	3.8	3.9	3.8	3.9	—
Q20平均値	3.8	3.9	3.8	4.0	—
Q21平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	—
有効回答数	19,122	14,714	7,154	2,907	0

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q3）。なお、回答は任意とした（回答率99.2%）。（表2 入試形態別の項目別平均値）

表2 入試形態別の項目別平均値

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.3	4.2	4.4	4.0	4.4	4.3	4.5	3.7	4.1	4.3	4.1
Q5 平均値	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.9	3.5	3.6	3.2	3.3
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.9	1.8	1.6	1.5	1.4
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.3	4.0	4.1	4.1	3.7
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.1	4.4	4.4	4.2
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.3	4.7	4.5	4.3
Q10 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.4	3.8	4.2	4.1	3.8
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	4.0	4.3	4.2	3.8
Q12 平均値	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	4.3	3.9	4.2	4.1	3.7
Q13 平均値	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	3.8	4.2	4.1	3.8
Q14 平均値	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.4	4.1	4.5	4.4	4.0
Q15 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.4	4.2	3.9
Q16 平均値	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	4.4	4.1	4.2	4.1	3.7
Q17 平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.2	4.4	4.2	3.9
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.4	4.1	4.4	4.2	3.9
Q19 平均値	3.9	3.9	3.7	3.8	3.7	3.8	4.2	3.9	4.0	3.9	3.6
Q20 平均値	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	3.8	4.1	4.0	3.6
Q21 平均値	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7	4.2	3.8	4.0	3.8	3.5
有効回答数	23,195	4,456	3,927	1,427	4,904	4,451	592	70	311	214	350

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値

※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.3	4.3	-	4.0	4.0	-	-	-	-
Q5 平均値	4.5	4.5	-	2.9	2.9	-	-	-	-
Q6 平均値	1.1	1.1	-	1.2	1.2	-	-	-	-
Q7 平均値	4.1	4.1	-	3.4	3.4	-	-	-	-
Q8 平均値	4.6	4.6	-	3.8	3.8	-	-	-	-
Q9 平均値	4.7	4.7	-	4.0	4.0	-	-	-	-
Q10 平均値	4.0	4.0	-	3.6	3.6	-	-	-	-
Q11 平均値	4.2	4.2	-	3.8	3.8	-	-	-	-
Q12 平均値	4.2	4.2	-	3.6	3.6	-	-	-	-
Q13 平均値	4.0	4.0	-	3.5	3.5	-	-	-	-
Q14 平均値	4.3	4.3	-	3.8	3.8	-	-	-	-
Q15 平均値	4.3	4.3	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q16 平均値	3.5	3.5	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q17 平均値	4.5	4.5	-	3.7	3.7	-	-	-	-
Q18 平均値	4.1	4.1	-	3.6	3.6	-	-	-	-
Q19 平均値	4.1	4.1	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q20 平均値	4.1	4.1	-	3.2	3.2	-	-	-	-
Q21 平均値	4.1	4.1	-	3.1	3.1	-	-	-	-
有効回答数	149			57			-		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.3	-	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3
Q5 平均値	2.3	-	2.3	3.7	3.6	3.8	3.9	3.6	4.2
Q6 平均値	1.7	-	1.7	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.2
Q7 平均値	3.9	-	3.9	3.8	3.9	3.7	3.8	4.0	3.6
Q8 平均値	4.3	-	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
Q9 平均値	4.5	-	4.5	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	4.0	-	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.1	-	4.1	4.0	4.1	3.8	4.2	4.2	4.1
Q12 平均値	3.9	-	3.9	3.8	3.9	3.6	4.1	4.0	4.1
Q13 平均値	4.0	-	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0
Q14 平均値	4.2	-	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	4.4	4.3
Q15 平均値	4.3	-	4.3	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値	4.2	-	4.2	3.9	4.0	3.7	4.1	4.0	4.2
Q17 平均値	4.1	-	4.1	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値	4.2	-	4.2	4.0	4.1	3.9	4.2	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	-	4.0	3.7	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	3.8	-	3.8	3.8	3.9	3.6	4.1	4.1	4.1
Q21 平均値	3.8	-	3.8	3.7	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
有効回答数	133			907			749		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.5	4.2	4.3	-	4.3	4.7	4.7	4.7
Q5 平均値	2.4	2.0	4.0	4.5	-	4.5	3.3	2.1	3.9
Q6 平均値	1.4	1.1	2.5	1.2	-	1.2	1.3	1.2	1.4
Q7 平均値	4.0	3.9	4.5	4.0	-	4.0	4.1	4.3	4.0
Q8 平均値	4.1	4.0	4.8	4.4	-	4.4	4.4	4.3	4.5
Q9 平均値	4.5	4.4	4.8	4.5	-	4.5	4.5	4.6	4.4
Q10 平均値	3.7	3.5	4.4	4.1	-	4.1	3.8	3.7	3.8
Q11 平均値	4.1	3.9	4.6	4.1	-	4.1	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	4.0	3.9	4.2	4.1	-	4.1	4.1	4.3	4.0
Q13 平均値	4.2	4.1	4.4	4.2	-	4.2	4.2	4.4	4.1
Q14 平均値	4.2	4.2	4.5	4.4	-	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	-	4.3	4.3	4.6	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	-	4.1	4.4	4.5	4.3
Q17 平均値	4.3	4.2	4.6	4.3	-	4.3	4.4	4.5	4.3
Q18 平均値	4.1	4.0	4.4	4.2	-	4.2	4.4	4.5	4.3
Q19 平均値	4.0	3.9	4.3	4.1	-	4.1	4.1	4.3	4.0
Q20 平均値	4.0	3.9	4.3	4.3	-	4.3	4.1	4.4	4.0
Q21 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	-	3.9	4.0	4.1	3.9
有効回答数	117			139			160		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.3	-	4.3
Q5 平均値	3.5	2.9	4.0	4.0	3.8	4.1	4.4	-	4.4
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.5	1.3	1.2	-	1.2
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	4.1	3.9	3.9	-	3.9
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.3	4.4	-	4.4
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	-	4.6
Q10 平均値	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	4.0	4.0	-	4.0
Q11 平均値	4.0	4.2	3.8	4.1	4.1	4.0	4.2	-	4.2
Q12 平均値	3.8	4.1	3.4	4.0	4.2	3.9	4.1	-	4.1
Q13 平均値	3.7	4.1	3.2	4.1	4.3	4.0	4.0	-	4.0
Q14 平均値	4.0	4.2	3.7	4.3	4.4	4.2	4.3	-	4.3
Q15 平均値	3.8	4.2	3.4	4.1	4.4	4.0	4.2	-	4.2
Q16 平均値	3.6	3.9	3.2	4.0	4.2	3.9	4.1	-	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.0	4.4	-	4.4
Q18 平均値	3.9	4.1	3.7	4.1	4.2	4.0	4.1	-	4.1
Q19 平均値	3.6	3.9	3.3	3.9	4.1	3.9	3.9	-	3.9
Q20 平均値	3.7	4.0	3.4	4.0	4.1	4.0	4.0	-	4.0
Q21 平均値	3.5	3.8	3.3	3.8	3.9	3.8	3.8	-	3.8
有効回答数	976			908			543		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q5 平均値		3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.6	3.8
Q6 平均値		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4
Q7 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9
Q8 平均値		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値		4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値		3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.1	4.0
Q11 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q12 平均値		3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値		4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q14 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.8	4.2	4.2	4.2
Q16 平均値		3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	3.8	4.1	4.1	4.1
Q18 平均値		4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q19 平均値		3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値		3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8
有効回答数		5,845			2,939			3,039		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
Q5 平均値		2.8	2.2	3.6	3.1	2.8	4.1	3.0	2.1	3.7
Q6 平均値		1.6	1.8	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値		3.7	3.5	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8
Q8 平均値		4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値		4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値		3.6	3.4	3.9	4.0	4.0	4.2	3.7	3.4	3.8
Q11 平均値		3.8	3.7	4.0	4.1	4.1	4.2	3.9	3.8	3.9
Q12 平均値		3.6	3.4	3.8	4.1	4.1	4.2	3.8	3.9	3.7
Q13 平均値		3.7	3.6	3.7	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	3.8
Q14 平均値		3.9	3.8	4.0	4.4	4.4	4.4	4.0	4.1	4.0
Q15 平均値		3.9	3.8	3.9	4.4	4.4	4.3	4.0	4.1	4.0
Q16 平均値		3.6	3.6	3.6	4.1	4.0	4.2	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値		4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.2	4.0
Q18 平均値		3.8	3.7	3.9	4.3	4.3	4.3	4.0	4.1	3.9
Q19 平均値		3.5	3.4	3.7	3.9	3.9	4.1	3.8	3.9	3.6
Q20 平均値		3.5	3.4	3.7	4.1	4.0	4.2	3.7	3.7	3.7
Q21 平均値		3.4	3.3	3.6	3.8	3.7	4.0	3.7	3.8	3.6
有効回答数		719			834			731		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.4	4.2	4.7	4.7	4.7	4.2	4.1	4.3
Q5 平均値	3.2	3.0	3.9	2.1	2.1	2.1	2.9	3.1	2.6
Q6 平均値	1.4	1.4	1.2	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.7
Q7 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	4.1
Q8 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5
Q10 平均値	3.7	3.6	4.0	3.7	3.7	3.6	3.9	3.9	3.9
Q11 平均値	3.9	3.8	4.1	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q12 平均値	3.6	3.5	4.1	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.1
Q13 平均値	3.7	3.5	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	3.9	3.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3
Q15 平均値	3.6	3.4	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	3.9	4.3
Q16 平均値	3.6	3.5	4.2	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値	3.9	3.8	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.3
Q19 平均値	3.5	3.4	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	4.0
Q20 平均値	3.6	3.4	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.1
Q21 平均値	3.5	3.4	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9
有効回答数	822			1,279			3,143		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3
Q5 平均値	4.0	3.9	4.5	3.9	3.9	4.1	3.7	3.2	4.3
Q6 平均値	1.3	1.3	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.9	4.3	3.8	3.8	3.8	3.6	3.4	3.9
Q8 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.0	4.3
Q9 平均値	4.6	4.6	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.2	4.5
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.8	3.6	4.0
Q11 平均値	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	4.1
Q12 平均値	4.1	4.0	4.2	3.8	3.9	3.8	3.9	3.7	4.0
Q13 平均値	4.1	4.0	4.3	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3
Q15 平均値	4.3	4.3	3.9	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.1
Q16 平均値	4.1	4.2	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	3.9	4.0	4.0	4.1
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.2	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.2	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.0
Q21 平均値	3.9	3.9	4.1	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8
有効回答数	717			3,147			1,417		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	-
Q5 平均値	2.2	2.4	2.2	2.6	2.5	2.7	3.5	3.5	-
Q6 平均値	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.2	1.2	-
Q7 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	-
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	-
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.4	4.4	-
Q10 平均値	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	-
Q11 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	-
Q12 平均値	3.8	3.5	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	-
Q13 平均値	3.9	3.6	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-
Q14 平均値	4.1	3.9	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	-
Q15 平均値	4.0	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.4	-
Q16 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	-
Q17 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	-
Q18 平均値	4.0	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	-
Q19 平均値	3.8	3.6	3.9	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	-
Q20 平均値	3.7	3.5	3.7	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	-
Q21 平均値	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	-
有効回答数	8,558			3,501			440		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.4	4.5
Q5 平均値	3.8	3.8	3.9
Q6 平均値	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.3	4.4	4.3
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4
Q10 平均値	4.0	4.0	3.9
Q11 平均値	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.0	4.2	4.0
Q13 平均値	4.1	4.2	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3
Q15 平均値	4.2	4.3	4.1
Q16 平均値	4.0	4.2	3.9
Q17 平均値	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.1	4.2	4.0
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0
Q20 平均値	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値	3.9	4.0	3.9
有効回答数	1,928		

「学生による授業アンケート（前期）」集計結果について

2015年度前期授業アンケートの有効回答率は58.7%であった。2014年度前期アンケートの回答率は56.2%だったので、昨年よりも2.5%高い数字である。アンケートの実施方法を紙からWEBに移行した昨年度以来、回収率の低下が懸念されていたが、明らかな数字の上昇が見られたことをまずは素直に喜ぶたい。紙の場合は、出席者全員から回答用紙を回収可能であるものの、実施日にたまたま欠席した学生は回答することができない。これに対してWEBの場合は、たとえ教室での回答時間中に答えなかったとしても、3週間にわたる回答期間中であれば、いつでもどこでも回答可能である。WEBによるアンケート実施は単なるコスト削減ではなく、学生の声を広く集められる方法であることを今回の結果は示している。

評価項目については、教員の授業力・教授能力を問う質問が、Q16～Q18に新設された。Q16「板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすかったですか」、Q17「教員は静粛な授業環境づくりに配慮していましたか」、Q18「教員は学生からの意見や質問に対して適切に対応していましたか」という3項目である。これらに対する回答結果を見ると、わずかな差ではあるが、Q16のスコアが最も低い。Q16-Q17-Q18のスコアを1年生から4年生まで順に並べると、1年生(3.9-4.0-4.0)、2年生(3.9-4.1-4.1)、3年生(3.9-4.1-4.0)、4年生(4.0-4.2-4.1)となる。このアンケート結果からすると、板書やスライドを見やすいものに改善することが、多くの教員にとって授業力を向上させるための優先事項であると考えられる。

他に、Q10「受講を決める際にシラバスは役立ちましたか」という項目も新設された。これは、従来からあるQ11「授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていましたか」と対をなす設問であり、今日の大学教育におけるシラバスの重要性をふまえた追加であると考えられる。しかし、学年別の回答を検討する際には注意が必要である。Q10のスコアを1年生から4年生まで順に並べると、3.7-3.9-4.0-4.1となり、徐々に高くなっていることが分かる。この変化は、学生が進級するほどきちんとシラバスをしっかりと読むようになることを示しているのだろうか。おそらくそうではなく、進級するにつれて学生番号で履修クラスが決まるような必修授業の数が減ることを示しているだけであろう。Q10のスコア評価にあたっては、必修か選択

か、資格科目かそうでないかなど、科目の性質をふまえた検討が不可欠となる。

アンケート結果は、既に参照した「学年別」に加え、「入試形態別」と「教員の所属学科別」の3通りに集計されている。「入試形態別」については、留学生特別入試と編入学試験で入学した学生の回答が、ほぼすべての設問で最も高いスコアとなっていることを指摘するととどめ、以下では「教員の所属学科別」の集計についてまとめておきたい。

まず、やや荒っぽい数字の操作になるが、Q5「どのような理由でこの授業を履修しましたか(複数選択可)」を除くQ4～Q21のスコアを、学科・専攻・部門ごとに合計してみる。各設問の数値が高いほど授業が成功していると推測されるので、その合計も高いほどよい。合計ポイントが高くなるのは、文学部歴史学科考古学専攻の69.2ポイント、文学部歴史学科外国史学専攻の68.6ポイント、仏教学部禅学科の68.1ポイント、文学部英米文学科の67.7ポイント、法学部政治学科の67.6ポイント、総合教育研究部文化学部門の67.6ポイントなどである。ただし、考古学専攻、外国史学専攻、禅学科、英米文学科の回答数は、それぞれ160、139、149、133にとどまる。回答数の多い総合教育研究部外国語第一部門(8558)や経済学部経済学科(5845)などとの比較には、自ずから限界があろう。とはいえ、政治学科と文化学部門の回答数はそれぞれ834、717であり、特に少ないわけでもない。両学科・部門によい授業が多いからこそ、高い数値になるのだと考えられる。

次に、同じくQ5を除くQ4～Q21のスコアを、専任・非常勤の区別をつけて、学科・専攻・部門ごとに合計する。全28の学科等のうち、今回のデータで専任・非常勤のスコアを比較できるのは、禅学科、仏教学科、国文学科、英米文学科、外国史学専攻、心理学科、スポーツ・健康科学部門を除く21の学科等である。すると、専任のポイントが高くなるのが10、非常勤のポイントが高くなるのが10、同ポイントとなるのが1、という結果になる。全学的に言えば、専任と非常勤で授業の成功度に差はないと結論できる。

アンケート結果の平均値を整理した数表は、一見すると似たような数字が並んでいるばかりで、どのように分析したらよいか迷うことも多い。上記の解釈がどれほどの的を射ているか正直分からないが、数表を讀んでいただく際の一助となれば幸いである。

(東 辰之介)

連載企画：よりよい教育のために

「グループワークと授業支援システムを用いた
インタラクティブな活動」

グローバル・メディア・スタディーズ学部 講師
杉森 建太郎

担当するGMS学部の「グローバル英語概論」では、グループワークと授業支援システムを用いたインタラクティブな活動を目指しています。

1、授業実施方法

①グループ活動と評価

まず、履修者（2015年度は277名）は3名毎のグループになります。毎回の活動はグループ単位で行い、成績評価もグループ毎になされます。

②予習と授業支援システムへの質問・意見提出

各グループは、授業で扱う箇所について予習し、LINE等で相談の上、支援システム上の「予習を踏まえた質問・意見提出場所」にグループの質問・意見を提出します。この際には、既に投稿されている他グループの質問・意見を踏まえた投稿を行います。

③グループプレゼン、グループ相談、Q&A

毎回の授業では、2グループによるプレゼンが行われます。他のグループは、プレゼン内容についてグループで相談を行います。その後、挙手によるQ&Aが行われ、発表グループは質問に答えます。他グループも、挙手して質問に答えたり意見表明を行ったりしてもよいことになっています。

④プレゼンに対する授業支援システムへの質問・意見提出

各グループは、授業で扱えなかった質問や意見を、支援システム上の「グループ●●のプレゼンを聞いての質問・意見提出場所」に提出できます。これについても各グループは、提出済の他グループの質問・意見を踏まえて投稿を行います。

⑤教員コメント

教員は授業終了後に、提出された質問・意見に目を通し、フィードバックを行います。履修者は支援システム上の教員フィードバックに目を通し、今後の授業に備えます。

2、授業の利点・欠点

この授業の利点は、まず第一に、支援システム上で履修者が疑問点や意見を共有し、学び合うことができることです。大人数のクラスで挙手する勇気がないグループも、ネット上では比較的緊張せずに質問や意見表明ができるようです。またグループでの活動は不安を軽減し、グループ内での学び合いも期待できます。

第二の利点は、教員は毎回学生たちの考えを理解し、フィードバックを与えつつ、次回の授業にその情報を生かすことができることです。履修者からも「大人数なのに教員が身近に感じられた」との声が聞かれました。

しかし欠点もあります。まず第一に、一部のグループが「出席すれば単位取得できる」と思いこみ、十分に予習やグループ相談を行わず、表面的な質問や意見提出しかしないことです。こういう学生の学習態度を変えることは、容易ではありません。

また第二に、この方法は教員の負担が大きいことです。すべての質問・意見に目を通してフィードバックを行うために、毎週10時間程度を費やします。

上述したグループ活動と支援システム使用の利点を生かしつつ、これら欠点にどう対処していくかが、今後の課題です。


FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成27年度第5回FD推進委員会小委員会
平成27年10月2日（金） 16：20～
- 平成27年度第4回FD推進委員会
平成27年11月5日（木） 16：20～

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

2015年度「学生による授業アンケート」 (後期)実施のお知らせ

実施期間：平成27年11月9日(月)～28日(土)
対象科目：全科目対象(集中講義科目、演習科目、
受講生が20名未満の科目は除く)

※WEBによるアンケートを実施しています(PC、スマートフォン、携帯電話、タブレット等を使用して回答されます)。

2015年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り11月下旬から12月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術(教授法)について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及びKONMAでお知らせいたします。



編集後記

前期授業の最終回に、「理想的な大学像」について受講生たちに聞いてみた。漠然とした質問にもかかわらず、返ってきたのは意外とシンプルな言葉だった。「『教育』より『共育』する場所」だと。学生同士、先生と学生、そして大学と地域社会……互いに学び合いながら共に育っていく。そのような能動的な「共育体験」こそ、いま求められているのだろう。本号に掲載された授業アンケートの結果からも、同様のメッセージを読み取ることができる。

少子化や国際競争の波を受け、大学は厳しい試練の時代を迎えている。伝統ある駒澤大学も決して安泰ではない。学生一人ひとりの声を大切にしながら理想的な「共育」環境を提供できるよう、変革していかねばならないと痛感している。

(高 媛)

【タイトル横の写真は、本部棟正面】

FD NEWSLETTER Sep. 2015 第44号

発行日：2015年9月30日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)



CONTENTS

- 大学の勉強で教養が身につくのか？
入学センター所長 法学部教授
清滝 仁志
- 平成 27 年度公開授業の実施について
■平成 27 年度「公開授業」を参観して
法学部准教授 田中 優企
医療健康科学部学部長 瀬尾 育武
- なぜ今、アクティブ・ラーニングが
求められるのか？
経営学部教授 青木 茂樹
- FD推進委員会の今後の活動予定
- FD研修会開催のお知らせ

大学の勉強で教養が身につくのか？

入学センター所長
法学部教授 清滝 仁志

カナダでの在外研究時、大学の講義を受けたが、驚くのは、いくら著名な教授であっても、講義アンケートを取り、休講の際はきちんと補講をすることである。そしてオフィスアワーでは丁寧に話を聞いてくれる。講義で私語をする学生はいないが、授業に飽きて、PCで動画を見ている者などはいる。それでも彼らにしっかりと対応することが徹底している。学問的名声だけで、授業はできないのである。

最近の国立文系廃止論議にみられるように、大学での知識と実務で求められる知識との乖離がますます大きくなっている。とくに歴史や思想は、世界的にみても不人気で、その二つが合体した政治思想史という私の担当科目は肩身が狭い。研究者志望でもない限り、古代ギリシアの歴史やマキアヴェッリの政治思想を聞いて何の役に立つのか、と学生が思っても不思議でない。

主に人文学を擁護するのに、洞察力や思考力の養成など、基礎的教養の大切さがよく力説されるが、理念はともかく実際はどうであろうか。難しい本をとにかく読むことが称賛された昔ならばともかく、趣味的知識の披露のような講義を聞いて、教養がついたと信じてくれる素直な学生は希少種である。現在、大学に職を得て、研究し、授業できる機会をもち、先生と呼ばれている教員には、自分の存在意義をわかりやすく、客観的に示す義務がある。入試部門の仕事をしていると、大学に入るとコミュニケーション能力がつくと自賛しながら、意味不明の話を延々としてしまうことの滑稽さが目につくのである。

今の大学で必要なのは、教員が自ら洞察力・思考力・表現力など教養を具体的に学生の前に示して、学問の魅力と意義を理解させることである。学者の仕事は、論文などを書くことだけでなく、次の世代に、自ら得た知的経験を直接伝えることも重要である。本を読む時間を割いて、成長過程の学生の話に耳を傾け、辛抱強く話すことは、ときにはいら立つこともある。しかし、ほんの少しでも彼らの人生に影響をもたらすことができるならば、この仕事に社会的意義があると思われる。

教員がこのような任務を果たすには、大学をしっかりと責任をもって運営する職員の支えが必要であり、教職員の職務分担を明確にしなければならない。FDは教員だけのものでないのである。

平成27年度公開授業の実施について

平成27年度「公開授業」を以下のとおり実施した。「公開授業」は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。公開授業は、各学部等のFD推進部会のご協力により、各学部等主体にて実施された。

学部	担当教員	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	徳野 崇行	11/24 (火)	2	9-179	仏教文化史
	石井 清純 熊本 英人		3	禅研-坐禅堂	坐禅
	山口 弘江	12/3 (木)	1	9-172	仏教漢文入門
文学部	高橋 健太郎	12/7 (月)	1	1-202	村落地理学B
経済学部	吉田 真広	11/24 (火)	1	8-255	国際金融論 b
	増田 幹人			8-361	人口論 b
	松本 典子		2	1-301	非営利組織論 b
	清水 卓		3	9-391	現代西欧経済論
	岩波 文孝	11/25 (水)	1	8-150	企業管理論 b / 経営管理論 b
	矢野 浩一			1-201	経済統計 b
	北口 りえ			9-392	会計学基礎 b
	宮田 惟史			1-401	経済学史 b
	深見 泰孝			8-255	証券市場論 b
	鈴木 伸枝	11/26 (木)	2	9-401	経済外国書講読 I b / 外国書講読 I b 経済外国書講読 II b / 外国書講読 II b
	北口 りえ			9-392	税務会計論 b
	小栗 崇資	11/26 (木)	3	9-392	財務会計論 b
	友松 憲彦		4	8-255	西洋経済史 b
	渡邊 恵一			8-360	日本経済史 b
	鄭 章淵	11/26 (木)	1	8-467	アジア経済論 b
	番場 博之			8-465	流通政策 b
	森田 佳宏		2	8-255	会計監査論 b
	明石 英人			8-151	社会経済学 b
	中濟 光昭		3	1-201	情報・経済ネットワーク論 b
	舘 健太郎			9-391	産業組織論 b
	瀬戸岡 紘		4	1-301	アメリカ経済論 b
	小西 宏美			8-257	グローバル・ファイナンス b
	江口 允崇	11/27 (金)	1	1-301	財政学 b

経済学部	山縣 弘志	11/27 (金)	2	8-151	ロシア・東欧経済論 b
	吉田 真広			8-255	貿易論 b
	明石 英人			8-360	経済理論A・資本の原理
	増田 幹人		3	8-150	福祉経済論
	浅田 進史		4	9-391	経済史 b
	石川 祐二	5	2研-203	管理会計論 b	
	西村 健	11/28 (土)	2	8-152	企業経済学 b
	曾我 信孝		3	2研-203	マーケティング b
	井上 智洋	11/30 (月)	1	1-301	経済政策 b
	代田 純		2	9-391	金融論 b
	長山 宗広			1-301	起業論
	荒木 勝啓		3	8-151	応用ミクロ経済学 b
	姉齒 暁		4	1-202	消費経済論 b
	村松 幹二			8-151	制度の経済学
	齊藤 正		5	1-302	現代銀行事情
	福島 浩治	12/2 (水)	1	1-516	経済外国書講読 I b / 外国書講読 I b 経済外国書講読 II b / 外国書講読 II b
	長山 宗広		2	8-152	地域経済論 b
	小林 正人	12/3 (木)	1	8-255	日本経済論 b
	松井 柳平		2	8-152	ミクロ経済学
	谷敷 正光		3	8-465	教育経済論 b
瀬戸岡 紘	4		1-301	アメリカ経済論 b	
村松 幹二	5		2研-102	契約理論	
福島 浩治	12/4 (金)	3	9-391	国際経済論 b	
光岡 博美		5	9-391	社会政策 b	
吉田 敬一	12/5 (土)	1	2研-102	中小企業政策論	
百田 義治	12/7 (月)	4	8-255	企業経営学 b	
法学部	村井 良太	12/3 (木)	5	1-401	政治史
	奥村 公輔	12/4 (金)	3	8-360	憲法
経営学部	小野瀬 拓	11/18 (水)	3	8-360	経営学
	日野 健太	12/3 (木)	5	8-150	経営組織論
医療健康科学部	保科 正夫	11/16 (月)	3	9-170	応用計測学
GMS学部	テヅカ ヨシハル	12/1 (火)	2	1-204	映像産業論
総合教育研究部	西村 祐子	11/18 (水)	3	1-406	英語ディスカッション II b
	坂野井和代	11/27 (金)	4	8-467	自然環境論

平成27年度「公開授業」を参観して

法学部 准教授 田中 優企

平成27年11月24日(火)1時限(8-255教場)、吉田真広先生による公開授業「国際金融論b」(経済学部各学科選択科目)を参観した。私の担当科目は「刑事訴訟法」であり、「国際金融論」に関係する知識・理解については大学生の一般教養レベルにとどまっている。そのため、今回の参観にあたっては、国際金融論の入門書を懐に忍ばせつつ、主として授業方法・展開に焦点を当てながら拝聴することとした。そのようなこともあり、本稿では、当日の授業の概要を紹介した上で、異なる学問分野の授業でも参考になると思われる諸点についてのみ示していくこととする。

当日の授業は、「国際金融制度」を授業テーマとして、適宜、板書に基づきながら展開された。テキストは指定されていないため(参考書については吉田先生の著作が紹介されているとのこと)、学生のノートの筆記や知識の定着、学生の反応に合わせる形で、全体的にゆったりとしたペースで進められていたように見受けられた。私の授業などでも、授業中の学生の様子を見ていると、教員の話に耳は傾けているものの、その間、手は止まっているという姿を目にすることがある。教員が話している内容を自分なりに整理しながらノートに筆記するということが苦手なのかもしれない。そのようなスキルを学生に身に付けてもらうためにも、教員が授業のペースにより一層の気を配ることが必要となろう。

授業の冒頭、今回の授業テーマの目的・到達点が明確に示された。すなわち、国際金融制度(とりわけ現在の為替相場制度)を正確に理解すること、そして、そのためには、現在の制度に至るまでの変遷とその理由・要因を押さえておく必要があること、というものであった。学生に対して、その日の授業では何を学ぶのか(授業テーマ)ということはもちろん、何のために学ぶのか、そのためには何が必要なのかということについても予め明確にしておくことは、学生の理解の一助となろう。

また、授業を進行するにあたって、適宜、関連する専門用語についての共通理解が形成されていた。経済学と同様、法学の場合も数多くの専門用語が出てくる。私の場合、配当年次が3・4年生ということもあって、「これは既に学んで知っているだろう」という前提で話をしてしまった後に、これを別の機会に学生に確認してみると、実は理解していなかったということがある。学生の出だしでのつまづきを防ぐためにも、この点の配慮も必要となろう。

以上、非常に雑駁であるが、参観して気付いた点を挙げさせて頂いた。私の管見のため、吉田先生が払われた工夫・配慮を多々見落としていると思われるが、ご容赦頂ければ幸い

である。

末筆ながら、今回、異なる学問分野でありながらも、私の参観を快く受け入れて下さった吉田先生に改めて御礼申し上げます。



平成27年度「公開授業」を参観して

医療健康科学部 学部長 瀬尾 育武

平成27年11月16日(月)3時限、保科正夫先生による公開授業「応用計測学」(医療健康科学部3年)を参観させていただきました。本科目は、放射線治療と関わりの深い放射線計測の方法を学ぶものであり、興味深く拝聴した。

もう少し、具体的に言うと、高エネルギーX線や電子線の吸収線量の評価法にかかわる、線量計測のトレーサビリティ(現場で得た測定値と国家標準測定器による測定値とを関係づけることができ、しかもその測定値の持つ不確かさを量的に決められる)についての講義であった。

当日の授業は、最初に学生に先週出した宿題の解答を授業開始前に、黒板に回答を書かせ、その回答を説明するものであった。復習とその理解度をチェックする意味で大変有効であると感じた。私も、授業開始の導入として、是非、取り入れたい。ラグビーの五郎丸選手のようにキック前に両手を合わせるルーチンを思い出した。

テキストは、自作のプリントを配布し、板書を交えながら展開された。

これに加え、授業の実施上の工夫として、

- ・実際の治療現場との対応を混ぜ、学生に興味を持たせ、話の進め方がうまい。
- ・説明はゆっくりで、板書もゆっくりで大きな字で読みやすい。
- ・時々、学生に質問をして、一方方向の授業にならないよう、また、理解度をチェックしている。

・途中で休憩をはさみ、また、立ち止まって振り返って、要点を説明している。

改善点をあえて言うなら、些細なことであるが、

・マイクを使用しているが、時々、ハウリングを起している。マイクの位置をもっと口に近づけてボリュームを下げるとうまいかもしれない。

・赤色のチョークは見づらく、後ろの席からだとよく見えないので、白か黄色のチョークが良い。

以上、私の私見で述べさせていただいたが、保科先生が払われた工夫・配慮を多々見落としていると思うが、ご容赦いただければありがたい。今回、貴重な機会を頂けたことに保科先生に改めて感謝いたします。

最後に、それにしても、参観者が少なかったのは問題である。教員がもっと真剣にFDに取り組むような工夫が必要と感じた。次回は、参観者を教員100%にして、その日のうちに、プラス思考のディスカッションができよう改善したい。



連載企画：よりよい教育のために

なぜ今、アクティブ・ラーニングが求められるのか？

経営学部 教授 青木 茂樹

大学の講義科目での従来の一斉学習に加えて個別学習・協働学習へ、教えられる学びから主体的・創造的学びへの転換が始まっている。これらをアクティブ・ラーニング（能動的学修）というが、大学教員となる方は、学生時代、一斉学習の中でもそもそも主体的な問題意識を持って講義に臨んでいた方が多く、それこそがめざすべきアクティブ・ラーニングだと言う方も少なくない。

しかし、大学進学率が50%を超えた今日、多くの大学生が初めからそうした関心を持つことができている現状は認

めざるを得ない。大学の教員の気質は、むしろ今日は少数派であり（昔も？）、その意味ではアクティブ・ラーニングの必要性を感じにくいのが大学教員なのかもしれない。

ただ、2020年より一斉受験のセンター試験ではなく、大学入学希望者学力評価テストが導入されることとなり、多角的な能力評価をできているかどうかが各大学のアドミッション・ポリシーに必要となった。と同時に、社会に求められる人材ニーズも高度成長期とは異なってきており、文科省の学力の定義も変わるようだ（中教審答申 2014.12.22）。学力の三要素として、①Performance（知識、技能）、②Competency（思考力 判断力 表現力）、③Attitude（主体性・多様性・協働性）が掲げられている。従来、①知識、技能という成績評価として表に出る力のみで測定していたが、これらを基礎に②思考力、判断力、表現力としてどのように活用できるかが問われている。さらに、単独ではなく、③多様な人々との協働の中で主体性を発揮して解決策を講じる人間像が求められている。

これまでの文科省の「学士力」や経産省の「社会人基礎力」といった新しい能力の概念化と調査研究の中で、粗方この方向性で大学教育が進むことが見えてきた現在、これに対応できない大学はこの業界から退出せざるを得ないだろう。

今年度、FD推進委員として初めてこれらを学ぶ機会を得て、私情協のセミナーで様々な実践例を知ることとなった。山梨大学の反転授業では、パワーポイントに解説を加えた15分程度のスライドショーの動画を準備して事前学習させ、講義ではグループ学習をさせている。理系科目でのテストの正解率の変化を見たが、いずれも伸び率が高いことが実証されており、会場でも反響を呼んでいた。

FD推進委員として視察に伺った多摩市の愛和小学校では、生徒が一人一台のタブレット型PCで調べものや算数をしたり、各自がタブレットに解いた答えを大型の液晶モニターに並列に映し出し、比較し合っていた。また、お絵描きソフトの利用は美術や図工ではなく、国語の物語の続きを各々で想像して描いているときもあるようだ。LEGOを使ったロボットのプログラミングは、算数・理科・図工の総合力である。こうした超領域・学際的なテーマに多くの子がそれぞれのペースで無我夢中となる姿を見た。このとき、授業設計は以前とは異なるものとなるだろう。そして、何よりも彼（女）らが数年後には大学の門をくぐるのだ。

さて、年明けの2月1日（月）14時からのFD研修会には、このアクティブ・ラーニングを熟知された湯浅且敏氏をお招きしている。皆さんの疑問や悩みをぶつける場となることを今から楽しみにしている。

FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成27年度第6回FD推進委員会小委員会
平成28年1月27日(水)
- 平成27年度第7回FD推進委員会小委員会
平成28年2月16日(火)
- 平成27年度第5回FD推進委員会
平成28年3月10日(木)

*FD活動についてご意見がありましたら、各学部等のFD推進委員会小委員会委員まで申し出てください。

平成27年度FD研修会のお知らせ

平成27年度FD研修会を下記のとおり開催いたします。

記

日時：平成28年2月1日(月) 午後2時
場所：1-301教場
テーマ：「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」
講師：湯浅且敏(青山学院大学情報メディアセンター)
中嶋真也(文学部教授)
長山宗広(経済学部教授)

(敬称略)

以上

※詳細については、後日、ご案内いたします。



編集後記

FD NEWSLETTER 第45号をお届けします。今号は、巻頭で入学センター長からの教員に向けた熱いメッセージから始まり、全学あげての積極的な「公開授業」、連載企画にみられる熱心な取り組みなど、寒いこの季節に芯から暖かくなる先生方の熱気が伝わって来る号となりました。先生方のFD活動に対するこの様な前向きな意欲に対する手応えを感じ、年々本学のFD活動への取り組みが、順調に軌道に乗ってきていると考えています。公開授業に取り組んで下さった先生方、ご出席頂いた先生方、振り返りシートにご協力下さった先生方本当にどうもありがとうございました。今後とも駒澤大学のFD活動が、より活性化していくよう皆様とともにFD委員全員で努力してまいりますので、どうかよろしく願い申し上げます。

(熊坂さつき、田中優企)

【タイトル横の写真は、禅文化歴史博物館】

FD NEWSLETTER Dec. 2015 第45号

発行日：2015年12月15日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 「アクティブ・ラーニング」
への取り組み
FD推進委員会小委員会委員長
仏教学部教授 飯塚 大展
- 2015 年度「学生による授業アンケート」
(後期) 集計結果
- 「駒澤大学における
(アクティブ・ラーニング型授業)」
FD推進委員会小委員会
「新しい教育方法に関するWG」
経済学部教授 小林 正人
- 平成27年度FD研修会

「アクティブ・ラーニング」への取り組み

FD推進委員会小委員会委員長 仏教学部教授 飯塚 大展

平成 27 年度FD推進委員会小委員会（以下「小委員会」）の活動は、「駒澤大学教育に関する施策体系『中期事業計画』」（以下『中期事業計画』）への取り組みから始まった。

私にとって、『中期事業計画書』の作成は、「教員の職能開発（FD）」の意味を批判的に検討し、自発的な取り組みとしての「教育の質の改善」へと向かわせることを意味した。それはなかなか困難な過程であり、現在もその途次にある。「教育の本質」を問うような根源的な問い掛けに、しばしばたじろぐ自分がいた。しかし、それは同時に私が今まで触れてこなかった、新たな教育の仕組みや情報伝達手段及びその機器との邂逅であり、遅きに失したかも知れないが、小さな驚きの連続であった。

自画自賛になるが、「アクティブ・ラーニング」を遡る「小委員会」の議論や、ワーキンググループの討議は特に刺激的であった。『中期事業計画』においては「学士課程教育の一層の充実」を行動目標としているが、その具体的な行動計画の一つが「対面授業（学習）の多様化推進」であり、とりわけ「アクティブラーニング・PBLの推進」を掲げている以上、その定義は避けては通れない課題であった。そして、これらの用語を駒澤大学としてどのように定義するかということは急務であると実感した。

そこで、各学部において既に実践されている「アクティブ・ラーニング」「PBL」の授業実態の把握、学外組織との連携に関する調査も同時に行われ、これらの調査を通じて、多くの教員の協力が得られた。さらに、本年度FD研修会は「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」をテーマとして実施され、140名を超える参加者を得て活発な意見交換が行われ、本学のFD活動活性化の一面を目の当たりにすることとなった。

一方「小委員会」は、「アクティブ・ラーニング」と密接不可分である「ICT機器活用」に関して、学内の環境整備の必要性を痛感しており、その一貫として130周年記念棟の教育環境整備について提言を行っている。

最後に今年度、本学では「FD Circle」を制定した。各教員によるPlan⇒Do⇒Check⇒Actionという改善の循環を、FD Supportと連関して機能させる、本学の制度的取り組みと言える。因みに「Circle」とは、教職員と学生が手を携え創意工夫していく自発的な活動にこそ根源があるとの考えに基づくものである。

2015年度「学生による授業アンケート」(後期) の集計結果について

2015年度「学生による授業アンケート」(後期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成27年11月9日(月)～11月28日(土)
対象科目	1,756科目
対象者数	143,137人(延べ人数)
実施科目数	1,756科目
有効回答数	58,722件(41.0%)

【質問項目】

Q1. 所属学部学科等

20: 仏教 19: 国文 18: 英米文 17: 地理 16: 日本史学
15: 外国史学 14: 考古学 13: 社会学 12: 社会福祉学
11: 心理 10: 経済 9: 商 8: 現代応用経済 7: 法律A
6: 法律B 5: 政治 4: 経営 3: 市場戦略
2: 診療放射線技術科 1: グローバル・メディア

Q2. 学年

5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他

Q3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

11: 一般入試 10: 大学入試センター試験利用入試
9: 一般推薦入試 8: スポーツ推薦入試 7: 指定校推薦
6: 附属校推薦入試 5: 留学生特別入試
4: 帰国生特別入試 3: 編入学試験 2: その他
1: 回答しない

Q4. この授業に何回欠席しましたか。

5: 0回 4: 1～2回 3: 3～4回 2: 5～6回 1: 7回以上

Q5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)

5: 授業内容に興味を持った
4: 資格の取得
3: 周りの人に勧められた
2: 必修科目または選択必修科目だったから
1: その他

Q6. この授業の予習・復習にあてた時間は1週間に何時間くらいでしたか。

5: 4時間以上
4: 3時間以上～4時間未満
3: 2時間以上～3時間未満
2: 1時間以上～2時間未満
1: 1時間未満

Q7. 授業に熱心に取り組みましたか。

Q8. 授業はほぼ定刻通りに行われていましたか。

Q9. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

Q10. 受講を決める際にシラバスは役立ちましたか。

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていたか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

Q13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的でしたか。

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。

Q15. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすかったですか。

Q16. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすかったですか。

Q17. 教員は静粛な授業環境づくりに配慮していましたか。

Q18. 教員は学生からの意見や質問に対して適切に対応していましたか。

Q19. この科目の授業内容についてよく理解できましたか。

Q20. 授業内容に興味を持ってましたか。

Q21. あなたの学修目標を十分に達成できたと思いますか。

(Q7～21 選択肢)

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

Q22. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q23. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1 年	2 年	3 年	4 年
Q 4 平均値	4.2	4.2	4.0	3.5
Q 5 平均値	3.0	3.4	3.7	3.9
Q 6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.6
Q 7 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9
Q 8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.4
Q 9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.5
Q10 平均値	3.8	4.0	4.0	4.1
Q11 平均値	3.9	4.1	4.1	4.3
Q12 平均値	3.9	4.0	4.0	4.2
Q13 平均値	3.9	4.0	4.0	4.2
Q14 平均値	4.1	4.2	4.2	4.4
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3
Q18 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2
Q19 平均値	3.8	3.9	3.8	4.0
Q20 平均値	3.8	3.9	3.9	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.8	3.9
有効回答数	22,664	16,688	8,896	2,769

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q3）。なお、回答は任意とした（回答率99.2%）。（表2 入試形態別の項目別平均値）

表2 入試形態別の項目別平均値

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1	4.1	4.4	3.8	3.9	4.3	4.2
Q5 平均値	3.3	3.2	3.3	3.0	3.3	3.2	3.8	3.3	3.4	3.5	3.4
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	2.0	1.8	1.5	1.5	1.6
Q7 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	4.3	3.9	3.9	3.8	3.6
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2	4.3	4.2	4.2
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.2	4.5	4.3	4.3
Q10 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	4.4	3.8	4.1	3.9	3.8
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	4.0	4.2	4.0	3.9
Q12 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	4.0	4.2	3.9	3.8
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.3	4.1	4.2	3.9	3.8
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.4	4.4	4.3	4.0
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.2	4.0
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.4	4.0	4.2	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.5	4.2	4.3	4.2	4.0
Q18 平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.4	4.2	4.3	4.1	4.0
Q19 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	3.8	4.0	3.8	3.6
Q20 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	4.2	4.0	4.1	3.9	3.7
Q21 平均値	3.8	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	4.1	3.7	4.0	3.8	3.6
有効回答数	27,050	5,261	5,131	1,400	5,572	4,610	766	65	418	333	411

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.0	4.0	3.7	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2
Q5 平均値	2.4	2.4	2.3	2.6	2.6	3.6	3.0	2.5	3.1
Q6 平均値	1.3	1.3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.4
Q7 平均値	3.5	3.5	3.8	3.7	3.6	4.1	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.0	3.9	4.3	4.1	4.1	4.5	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	4.3	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	4.1	4.0
Q13 平均値	3.8	3.8	4.2	3.9	3.9	4.3	4.2	4.3	4.2
Q14 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値	3.8	3.8	4.2	3.8	3.8	4.2	4.1	4.2	4.1
Q17 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	4.3	4.0	4.0	4.4	4.2	4.2	4.3
Q19 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0	3.9
Q20 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.1	4.0	4.2	4.0
Q21 平均値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	4.0	3.9	3.9	3.9
有効回答数	1,332			1,694			1,129		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.1
Q5 平均値	2.9	2.6	3.2	3.6	3.4	3.9	3.8	3.7	4.1
Q6 平均値	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.2
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.6
Q8 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.1
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.1
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9
Q14 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.2	4.0	3.9	4.1
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	4.0	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	3.9
Q21 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8
有効回答数	798			1,060			782		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.2	4.3	4.1	4.2	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4
Q5 平均値	3.5	3.2	3.8	3.4	2.8	3.8	3.3	2.8	3.7	3.7
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4	1.4
Q7 平均値	3.8	3.9	3.7	3.7	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.1	3.7	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.6	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1
Q12 平均値	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.6	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	3.9	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
Q15 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	3.9	4.3	4.0	3.9	4.1	4.1
Q16 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2
Q19 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.4	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9
Q20 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9
有効回答数	1,273			712			562			

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1
Q5 平均値	3.6	3.1	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	3.4	3.9	3.9
Q6 平均値	1.4	1.3	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3
Q7 平均値	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
Q8 平均値	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4	4.4
Q10 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9
Q11 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0
Q12 平均値	3.9	4.0	3.8	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	3.8	4.1	3.5	4.2	4.4	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0
Q14 平均値	4.1	4.3	4.0	4.3	4.5	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値	4.0	4.2	3.7	4.2	4.5	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1
Q16 平均値	3.6	3.8	3.5	4.1	4.3	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.8	4.2	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.9	3.9	3.8	4.1	4.3	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
有効回答数	539			632			2,116			

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2
Q5 平均値		3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.9	3.6	3.4	3.9
Q6 平均値		1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.7	1.4	1.4	1.4
Q7 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値		4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3
Q9 平均値		4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値		4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値		4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値		4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値		4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値		4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値		3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値		4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q20 平均値		3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値		3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
有効回答数		3,951			1,536			1,751		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
Q5 平均値		3.4	3.1	3.7	3.4	3.3	3.5	3.2	3.1	3.5
Q6 平均値		1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
Q7 平均値		3.7	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8
Q8 平均値		4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q9 平均値		4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.2
Q10 平均値		3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.8	3.8	3.9
Q11 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9
Q12 平均値		3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0
Q13 平均値		3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値		4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q15 平均値		4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2
Q16 平均値		3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0
Q17 平均値		4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
Q18 平均値		4.0	3.9	4.0	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
Q19 平均値		3.7	3.6	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.8
Q20 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	3.7	3.9
Q21 平均値		3.6	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8
有効回答数		4,839			2,658			3,572		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	4.7	4.7	4.7	4.1	4.1	4.2
Q5 平均値	3.4	3.3	3.8	2.2	2.2	2.2	3.3	3.5	3.0
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.5	1.4	1.7
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	4.0	3.9	4.2
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	3.8	3.8	4.0	3.7	3.7	3.6	4.0	4.0	4.0
Q11 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	3.8	4.1	4.1	4.2
Q12 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.0	4.0	4.1
Q13 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.6	4.1	4.0	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	3.8	4.2	4.1	4.5
Q16 平均値	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	3.8	4.1	4.1	4.3
Q19 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.5	4.0	3.9	4.1
Q20 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.1	4.0	4.2
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.9	3.9	4.0
有効回答数	1,553			960			1,169		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0
Q5 平均値	3.6	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値	3.6	3.7	3.6	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0
Q8 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	3.8	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q11 平均値	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	4.3
Q14 平均値	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.0	4.2	3.9	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
Q16 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2
Q19 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1
Q20 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0
有効回答数	3,664			1,827			965		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4
Q5 平均値		2.3	2.8	2.2	2.7	2.9	2.6	3.2	3.4	2.9
Q6 平均値		1.6	1.7	1.5	1.6	1.6	1.7	1.2	1.2	1.1
Q7 平均値		3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.4	4.4	4.3
Q8 平均値		4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値		4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.2
Q10 平均値		3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9
Q11 平均値		3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値		3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値		4.0	3.8	4.0	4.1	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8
Q14 平均値		4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値		4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値		3.9	3.7	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9
Q17 平均値		4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q18 平均値		4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2
Q19 平均値		3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	4.3	4.3
Q20 平均値		3.8	3.7	3.8	3.9	4.0	3.9	4.3	4.3	4.3
Q21 平均値		3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	4.2	4.2	4.2
有効回答数		4,909			2,393			1,109		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.3	4.3	4.3
Q5 平均値		3.9	3.8	4.0
Q6 平均値		1.3	1.4	1.2
Q7 平均値		3.9	3.9	3.9
Q8 平均値		4.3	4.4	4.3
Q9 平均値		4.4	4.5	4.3
Q10 平均値		4.0	4.1	4.0
Q11 平均値		4.1	4.2	4.0
Q12 平均値		4.1	4.1	4.1
Q13 平均値		4.1	4.2	4.1
Q14 平均値		4.3	4.4	4.2
Q15 平均値		4.2	4.3	4.2
Q16 平均値		4.0	4.1	4.0
Q17 平均値		4.1	4.2	4.1
Q18 平均値		4.1	4.2	4.0
Q19 平均値		4.0	4.1	4.0
Q20 平均値		4.0	4.0	4.0
Q21 平均値		3.9	4.0	3.9
有効回答数		1,449		

「学生による授業アンケート（後期）」集計結果の概況について

（全般的状況）

2015 年度の「学生による授業アンケート（後期）」は、前期と同じ内容・方法で、昨年 11 月 9 日（月）から 28 日（土）の期間にかけて実施された。

対象科目数は専任・非常勤あわせて 1,756 科目、対象者数（延べ人数）は 143,137 人、有効回答数は 58,722 件であった。学生回答率は 41.0%で、前期（58.7%）からの落ち込みが大きい、昨年度も前期 56.2%に対して後期 40.6%となっており、例年とほぼ同じ傾向にあるといえる。

学年別の回答率をみると、これも例年と同様、学年が進むにつれて回答率が下がる傾向がみられる。1 年生の 56.2%に対して、2 年生は 42.2%、3 年生は 32.3%、そして 4 年生は 16.9%と極端に低くなっている。

教員の所属別にみた学生回答率では、ほとんどの学部学科等で 30%台後半から 50%台となっており、仏教学部、文学部、医療健康科学部、総合教育研究部（外国語・スポーツ・教職）のように比較的履修学生数の少ない科目が多い部門において回答率が高くなる傾向もみられる。専任・非常勤別では、専任担当科目 39.8%、非常勤担当科目 42.3%となっているが、所属学部等によるばらつきも大きい。

アンケート対象科目を担当する教員の C-Learning へのログイン状況（授業アンケート開始後）は 42.3%（専任 54.9%、非常勤 35.2%）となっており、前期と比較してログイン状況は若干低下している。教員のログイン状況別の学生回答率では、授業アンケート開始後にログインした教員の担当科目が 45.2%、未ログインの教員の担当科目が 36.0%となっている。

（設問項目と今回の回答状況）

設問項目は前期同様 21 項目で、「学生の属性（Q1～Q3）」、「学生自身の自己評価（Q4～Q7）」、「休講・開始（終了）時間（Q8～Q9）」、「シラバス（Q10～Q11）」、「授業内容・配布資料等（Q12～Q13）」、「教員の熱意・授業運営（Q14～Q18）」、「学生自身の理解度・興味・達成度（Q19～Q21）」に大別される。示されたデータは 2015 年度後期のみデータではあるが、以下、設問項目のいくつかについて、今回の結果（全体の平均）を学生の属性別に見てみたい。

学生の出席状況（Q4）は、学年別にみると 1 年生・2 年生が 4.2、3 年生が 4.0、4 年生が 3.5 で、例年同様、学年が進むにつれて出席状況は悪くなる傾向がみられる。

学部学科別では、医療健康科学部が 4.7 と突出して高いが、同学部は理系の学部であり、また国家資格の指定科目が多いことも影響していよう。また入試形態別では、留学生入試の入学者が 4.4 と最も高い。

シラバス関連の設問では、1 年生の評価が低く、学年が進むにつれて評価が高くなる傾向がみられる。これは、入学したばかりの 1 年生は授業の履修やシラバスについて不慣れであることも一因であると考えられる。

教員の熱意・授業運営では、おおむね学年が進むほど評価も高くなる傾向がみられる。これは、大学では中等教育機関に比べて受講者数の多い科目が増え、同時に学習面でも学生の主体性・能動性が求められるため、特に 1 年生ではそれまでの受動的な面が強い学校教育と比較して物足りなさを感じやすいと思われること、学年が進むほど大学の授業環境に慣れてくることも背景として考えられよう。

学生自身の理解度・興味・達成度でも、同様に学年が進むにつれて評価が高くなる傾向がみられる。学年が高くなるほど、周辺知識も増えて授業が理解しやすくなることなどが関係しているものと思われる。

なお、本学の教育力の変化をみるには、今回示されたような単年度のデータだけではなく、時系列データの分析も有効であろう。設問・選択肢の内容が同様で比較可能と考えられる項目のいくつかについてみてみると、「休講は少なく通常通り授業は実施されていましたか」については前年度からほぼ変動はない。「授業に熱心に取り組みましたか」「担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか」についても大きな変動はないものの、一昨年度に比べてごくわずかながら上昇している。今後、回答傾向の経年変化（個別・全体）を把握するための設問項目・選択肢の工夫も求められる。

（今後に向けて）

FD 推進委員会及び小委員会においては、今年度の授業アンケートの実施状況を踏まえ、次年度に向けてアンケート項目を改善すべく検討が進められているところである。現時点では、設問の文言修正のほか、一部設問における選択肢の拡充、教員自由設定質問の復活、などが検討されている。

本学で、学生による授業アンケートが導入されて 12 年になる。設問項目や実施方法等については、議論の積み重ねによって毎年少しずつ修正が加えられてきた。これからも、大学における FD の一環として授業アンケートがよりよく改善され、本学の教育力の向上に役立てられていくことを期待したい。

（長尾 譲治）

連載企画：よりよい教育のために

「駒澤大学における
〈アクティブ・ラーニング型授業〉」

FD 推進委員会小委員会

「新しい教育方法に関するWG」

経済学部 教授 小林 正人

今年度のFD推進委員会は、「アクティブ・ラーニングの活性化」をテーマにさまざまな活動を行なった。その一つはFD研修会（2月1日）であるが、その準備の過程で、専任教員を対象に、「学外組織と連携したアクティブ・ラーニング実施状況調査」（2015年11月）を行ない、24件の回答をいただいた。これにより、駒澤大学でも、学外組織（企業、病院、博物館など）と連携したさまざまなアクティブ・ラーニング（学生による能動的学習）が実現していることが分かった。調査に御協力いただいた先生方に感謝申し上げるとともに、以下では学部ごとに、アンケート結果の概略をまとめておきたい。

文学部には、公文書館や資料館で実際の史料を見聞する授業があるほか、古墳の発掘や、見学者にたいする説明会の講師役に学生が参加する実習授業がある。また、奄美大島や石垣島の文化、歴史、自然環境などを学生が調査研究する授業もある。

経済学部には、特定の企業の特許の活用法についてアイデアを出すプロジェクトに学生が参加するゼミがある。

経営学部には、特定の企業の商品企画、新製品開発、販売戦略の策定に学生が参加するゼミがあるほか、商店街の各商店の品揃えや店主の個性を紹介する情報誌を学生が編集した授業もある。

医療健康科学部では、病院から実際の検査画像等を提供してもらい、画像診断や解剖にかかわる学生の能力の養成に役立てている授業があるほか、複数の学生がチーム（模擬企業）をつくり、たがいに競争しながら新システムの販売提案書を作成するという「職業体験シミュレーション」を組み込んだ授業がある。

GMS学部には、企業の商品の特徴を生かせる販売促進策を学生が立案し、その内容をグループ間で競いあうことにより、よりよいアイデアに仕上げるワークショップ型の授業がある。

さて、今回の調査は「学外組織と連携した」実例である。本学の演習（ゼミ）ならば、学生のプレゼンテーションや学生どうしのディスカッションなど「学生による能動的学習」の時間が含まれているのは普通であろう。

このように、アクティブ・ラーニングの形は多様である。アクティブ・ラーニングには成績評価の上で難があるものの、これを組み込んだ授業、つまりアクティブ・ラーニング型授業が、学生の能動的学習意欲を活性化する効果があることは確かである。

今後は、一般の大人数授業についても、可能などころでは、授業の中にアクティブ・ラーニングの時間を組み込んで、学生の能動的な学習意欲をかき立てる試みが求められていると言えよう。

 平成27年度FD研修会

平成27年度FD研修会は、2月1日（月）午後2時から5時まで1-301教場で行われた。テーマは「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」で、青山学院大学情報メディアセンターの湯浅且敏先生に基調講演をしていただいた後、本学の長山宗広先生（経済学部現代応用経済学科）と中嶋真也先生（文学部国文学科）に実践報告をしていただき、さらに3人の先生によるパネルディスカッションに十分な時間をとった。

湯浅且敏先生は、「アクティブ・ラーニングがなぜ必要なのかー「アクティブ・ラーニング型授業」とは何かー」というタイトルで、アクティブ・ラーニングの定義と必要性、青山学院大学での取組みについてお話して下さった。社会構成主義の考え方にしたがえば、学習とは「他者との協調を通して」「自身の経験や知識を元に情報を解釈し、自身の知識として構築する活動」であるが、これを大規模授業で実現するためにはLMS（Learning Management System）などのICT活用が有効であり、LMSによってグループワークの可視化とプロセスの評価が可能になる、という説明は明快で説得的であった。

長山宗広先生は、「産学連携により学生の社会人基礎力を高める」というタイトルで、文部科学省の「就業力GP」に採択された経済学部・GMS学部の就業力育成科目群（2011～2014年度）にあった産学連携事業「ビジネスマッチング交流会」を中心に、いくつかの事例とその成果をご報告された。産学連携は、学生にアポイント・企業訪問・取材といった社会経験を与えるだけでなく、企業にとっても自社のPRになるなど、WIN-WINの関係になり得るという指摘は印象に残った。

中嶋真也先生は、「日本古典文学をアクティブ・ラーニングで学ぶ」というタイトルで、2015年3月27日に法政大学で行われた5大学合同の「わくわく♪文学ワークショップ」と、その経験を生かした新入生セミナーでの実践をご報告された。歌物語を創って演じたり、和歌の

キャッチコピーをプレゼンしたりすることには、コミュニケーション力を伸ばし、文学の楽しみを再発見する効果があるが、グループワークの成功には、それに先立つしっかりと個人ワークが不可欠であるという重要な指摘もあった。

パネルディスカッションでは、湯浅先生から長山先生と中嶋先生の実践についてコメントをいただいた後、両先生に補足説明や湯浅先生への質問など自由に発言していただいた。会場からは、学生や教員におけるICT習熟度のばらつき、グループワークを好まない学生の存在、従来型授業との関係など、多数の質問が出された。

参加者147名の盛会となり、本学におけるFD活動の活発化を実感できる研修会であった。

(FD推進委員会小委員会「新しい教育方法に関するWG」

東辰之介)



(パネルディスカッションの様子)

平成28年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「平成28年度新規採用教員オリエンテーション」を、平成28年4月1日(金)に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただきたいこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。

編集後記

『FD NEWSLETTER 第46号』が発行の運びとなりました。

第46号では、「巻頭言」をFD推進委員会小委員会委員長の飯塚大展先生にご執筆頂きました。また「FD研修会報告」につきましても、東辰之介先生にご執筆頂きました。ご執筆頂いた先生方に心より感謝申し上げます。なお連載企画「よりよい教育のために」は46号編集委員の小林正人先生が、「学生による授業アンケート(後期)集計結果の概況について」は同じく編集委員の長尾が担当いたしました。

本学の今年度のFD活動をふり返ると、学生による授業アンケートについては、結果が学長・副学長及び所属学部等の長に公開されることとなりました。また、次年度からシラバスに「学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について」という項目が新設されました。

公開授業については、公開授業実施者と参加者の双方の研修という観点から、「実施結果報告書」を第三者が記入・提出することとされ、また教授会で実施結果についての報告がなされることとなりました。

FD研修会については、教育界においてアクティブ・ラーニングの推進が課題となっており、中教審も推進の方向性を掲げていることから、今年度は「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」と題して2月1日(月)に開催されました。教員に出欠を取り、半日かけての充実した研修会となりました。

本学では、教育改革を主体的に推進するとともに、その成果を「私立大学等改革総合支援事業」の採択に結び付けていくことが目指されています。FDの分野では、シラバスの充実とチェック体制、学生による授業評価結果の活用と公開、アクティブ・ラーニングの推進、学生の学修成果の把握などが重点目標として掲げられています。FDの趣旨、及び教授会・委員会等での審議に基づく全学教員の合意を前提としながら、次年度に向けた課題に取り組んでいくことが求められています。

(小林正人、長尾諺治)

【タイトル横の写真は、FD研修会の様子】

FD NEWSLETTER Mar. 2016 第46号

発行日：2016年3月15日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

【付録資料】

- 駒澤大学 F D 推進委員会規程
- 平成 27 年度 駒澤大学 F D 推進委員会委員名簿
- 平成 27 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿
- 平成 27 年度 駒澤大学 F D 推進部会委員名簿

○駒澤大学FD推進委員会規程

〔平成16年4月1日
制 定〕

改正 平成21年4月1日

改正 平成25年4月1日

改正 平成27年4月1日

(趣旨及び設置)

第1条 駒澤大学学則第1条の3第2項に定める組織的な研修及び研究について、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進するため、駒澤大学FD推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(FDの定義)

第2条 この規程において「FD」とは、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるために行う、各学部等の組織的な取り組みをいう。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業評価の実施に係る企画・運営に関すること。
- (2) 教員の教授方法等の改善のための支援に関すること。
- (3) 各学部等が行うFDの支援に関すること。
- (4) FDに係る、施設・設備等の改善に関すること。
- (5) 講演会及び研修会等に関すること。
- (6) その他FDの推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
 - (2) 各副学長
 - (3) 各学部長等
 - (4) 各学部等から選出された者各1人。ただし、総合教育研究部は3人 計10人
 - (5) 教務部長
 - (6) 幹事 若干人
- 2 委員会の委員長は学長とし、副委員長は教育・研究担当の副学長とする。
 - 3 第1項第4号によって選出された委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 4 欠員を補充するために選出された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 委員会は、委員長がこれを召集し、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

4 F D推進委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決議し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(小委員会)

第6条 委員会が必要と認めるときは、委員会に小委員会を設置することができる。

2 審議事項、構成、運営等については、委員会で制定する内規に定める。

(F D推進部会)

第7条 各学部等にF D推進部会を設置する。

2 部会長は各学部長等とし、構成員については各学部等が決める。

(事務所管)

第8条 委員会の事務所管は、教務部とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

平成27年度駒澤大学FD推進委員会委員名簿

平成27年4月1日現在

委員長	学 長	廣 瀬 良 弘
副委員長	教育・研究担当の副学長	桑 田 禮 彰
委 員	学生支援担当の副学長	久 保 田 昌 希
〃	仏 教 学 部 長	金 沢 篤
〃	文 学 部 長	谷 口 泰 富
〃	経 済 学 部 長	姉 齒 暁
〃	法 学 部 長	高 橋 洋 城
〃	経 営 学 部 長	兼 村 栄 哲
〃	医療健康科学部長	瀬 尾 育 式
〃	グローバル・メディア・ スタディーズ学部長	各 務 洋 子
〃	総合教育研究部長	池 上 良 正
〃	仏 教 学 部 教 授	飯 塚 大 展
〃	文 学 部 准 教 授	長 尾 讓 治
〃	経 済 学 部 教 授	小 林 正 人
〃	法 学 部 准 教 授	田 中 優 企
〃	経 営 学 部 教 授	青 木 茂 樹
〃	医療健康科学部教授	熊 坂 さ つ き
〃	グローバル・メディア・ スタディーズ学部准教授	高 媛
〃	総合教育研究部准教授	東 辰之介
〃	総合教育研究部准教授	山 口 良 博
〃	総合教育研究部教授	遠 藤 司
〃	教 務 部 長	猿 山 義 広
		(以上 委員22名)
幹 事	教 務 部 事 務 部 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 学 務 課 長	秋 沢 久 美 子
〃	教 務 部 教 務 課 長	桜 田 千 津
		(以上 幹事3人)
書 記	教 務 部 係 長	芳 垣 恵 美 子
〃	教 務 部	板 橋 幸 子
〃	教 務 部	杉 浦 秀 利
		(以上 合計28人)

平成27年度駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿

平成27年4月1日現在

委 員	仏 教 学 部 教 授	飯 塚 大 展
〃	文 学 部 准 教 授	長 尾 讓 治
〃	経 済 学 部 教 授	小 林 正 人
〃	法 学 部 准 教 授	田 中 優 企
〃	経 営 学 部 教 授	青 木 茂 樹
〃	医 療 健 康 科 学 部 教 授	熊 坂 さ つ き
〃	グ ローバル・メディア・ スタディーズ学 部 准 教 授	高 媛
〃	総 合 教 育 研 究 部 准 教 授	東 辰 之 介
〃	総 合 教 育 研 究 部 准 教 授	山 口 良 博
〃	総 合 教 育 研 究 部 教 授	遠 藤 司
〃	教 務 部 長	猿 山 義 広
		(以上 委員 11 名)
幹 事	教 務 部 事 務 部 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 学 務 課 長	秋 沢 久 美 子
〃	教 務 部 教 務 課 長	桜 田 千 津
		(以上 幹事 3 人)
書 記	教 務 部 係 長	芳 垣 恵 美 子
〃	教 務 部	板 橋 幸 子
〃	教 務 部	杉 浦 秀 利
		(以上 合計 17 人)

平成27年度 駒澤大学FD推進部会委員名簿

(平成27年4月1日現在)

学部等	部会長	委員
仏教学部	金 沢 篤	角 田 泰 隆 奥 野 光 賢 飯 塚 大 展 岩 永 正 晴 熊 本 英 人
文学部	谷 口 泰 富	勝 原 晴 希 唐 沢 一 友 平 井 幸 弘 中 村 淳 淳 長 尾 讓 治 八 巻 秀 秀
経済学部	姉 齒 暁	番 場 博 之 小 林 正 人 岩 波 文 孝
法学部	高 橋 洋 城	中 濱 義 章
経営学部	兼 村 栄 哲	青 木 茂 樹 飯 田 哲 夫 小 野 瀬 拓 高 井 徹 雄 日 野 健 太
医療健康科学部	瀬 尾 育 弉	青 木 清 熊 坂 さつき 原 田 和 正 近 藤 啓 介 保 科 正 夫
グローバル・ メディア・ スタディーズ学部	各 務 洋 子	高 媛 絹 川 真 哉 芝 崎 厚 士 テヅカ ヨシハル
総合教育研究部	池 上 良 正	滝 沢 正 之 坂野井 和 代 内 藤 寿 子 西 村 祐 子 三 好 俊 介 山 口 良 博 豊 田 千 代 子

平成 27 年度
F D 活動報告書

発行日	平成 28 年 3 月 31 日
発行	駒澤大学 F D 推進委員会 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1 丁目 23 番 1 号 TEL 03-3418-9444 FAX 03-3418-9114
事務局	駒澤大学教務部

 清華大學